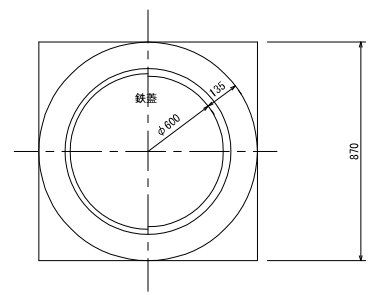
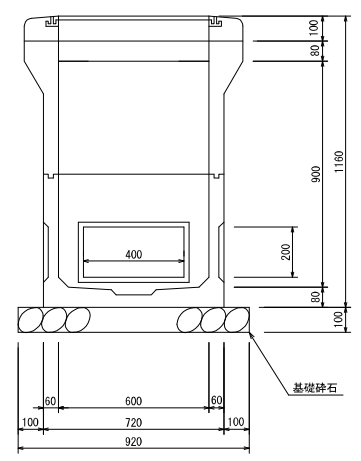


信号用ハンドホール構造図 S=1:10
(600×600×900)

平面図



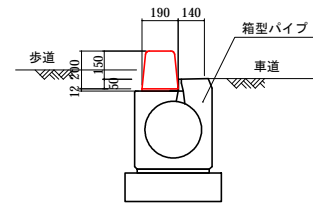
断面図



構造図

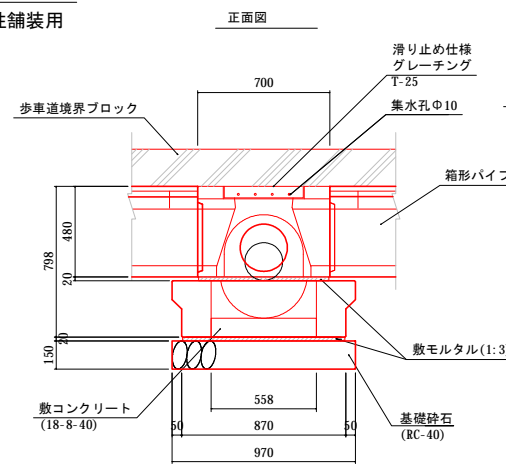
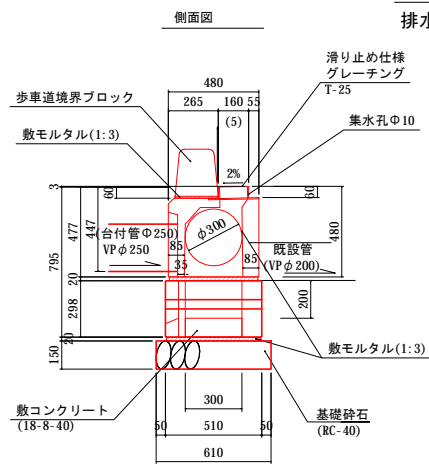
S=1:20

箱型パイプ



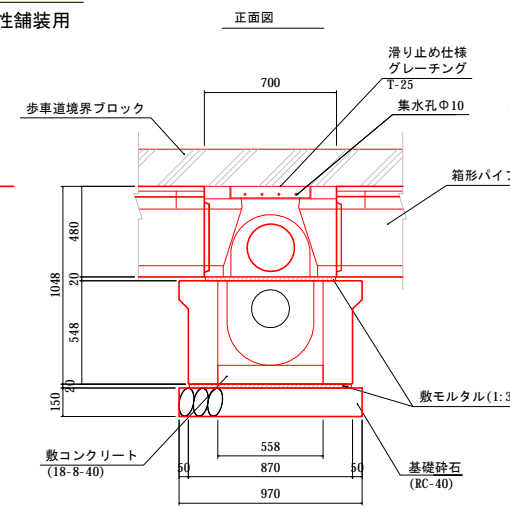
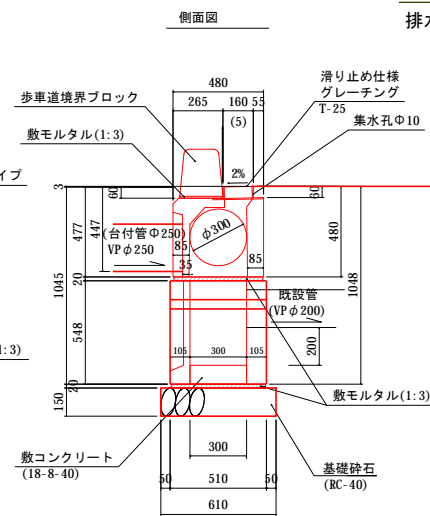
側溝用柵1

(h=750用)
排水性舗装用



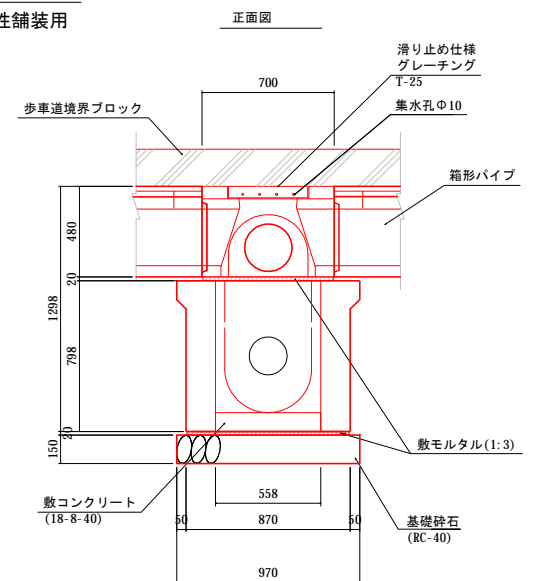
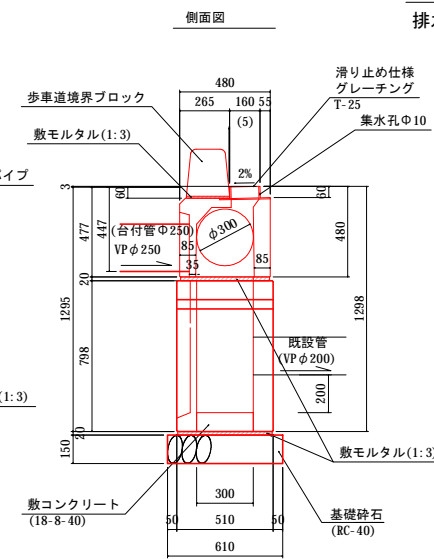
側溝用柵2

(h=1000用)
排水性舗装用



側溝用柵3

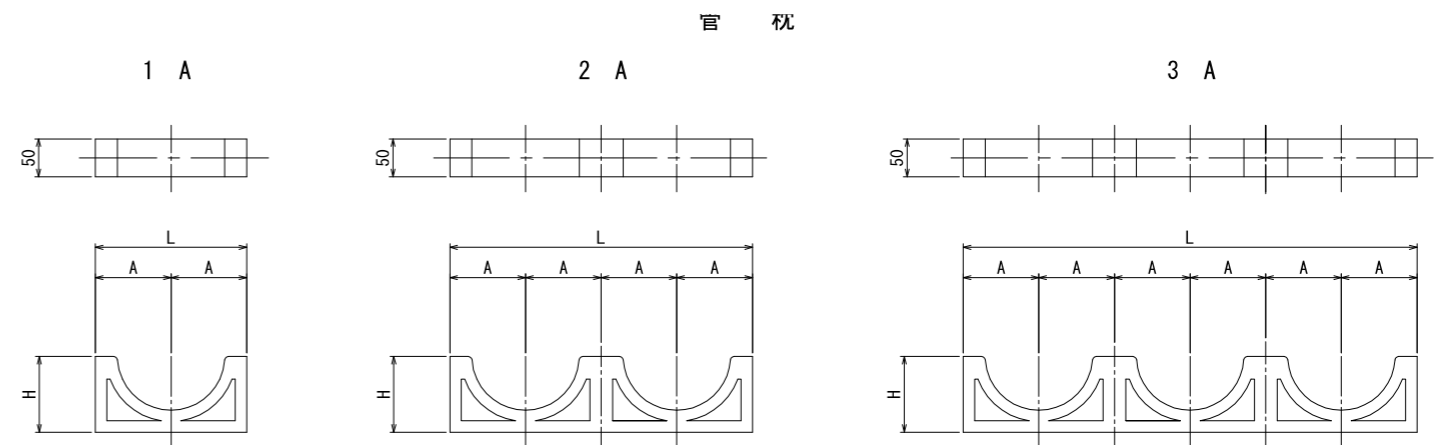
(h=1250用)
排水性舗装用



- ※ 柵深さは、既設管の深さに応じ決定する。
- ※ 歩道乗入部は、接続管を台付管とする。

管路材構造図 (2) S=NON

(電力用亜鉛メッキ鋼管:KGP)



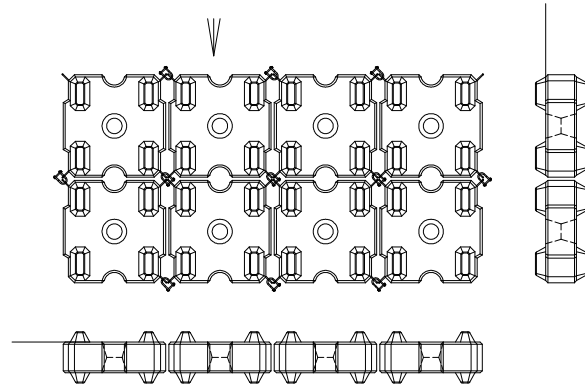
単位: mm

管の呼び径・型別	寸法	A	H	L
100	1 A	90	90	180
	2 A	90	90	360
	3 A	90	90	540

※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

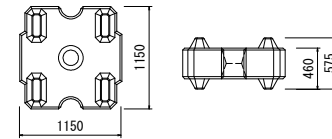
リーフロック I 型 1.0 t 標準図

標準配列図 S=1:30

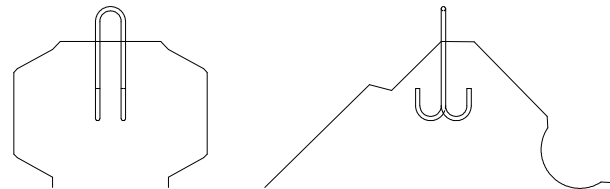


注：必要に応じて吸出防止材を設置する。

規格寸法図 S=1:30



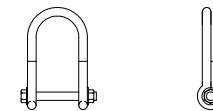
連結鉄筋（フック）詳細図 S=1:10



(1個当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
連結鉄筋	鉄筋φ16	kg	1.91	全長121cm

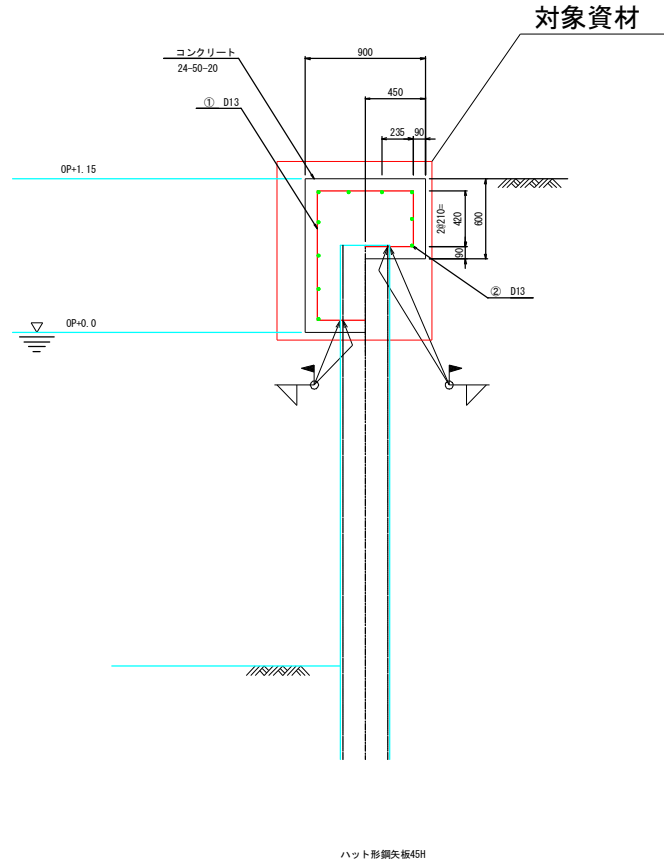
連結金具（シャックル）詳細図 S=1:5



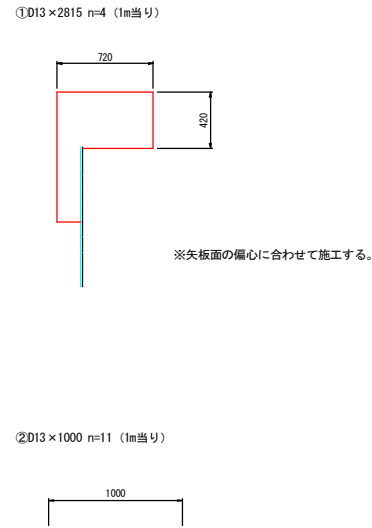
(1個当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
連結金具（シャックル）	鉄筋φ16	kg	1.18	全長60cm

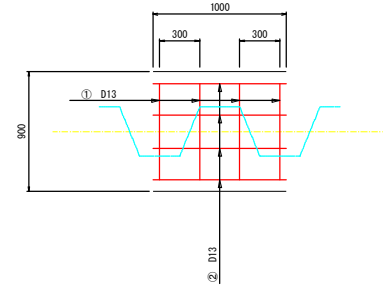
現場打ち断面図



配筋加工図



平面図



鉄筋表 1m当り

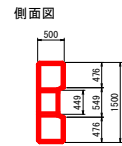
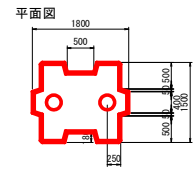
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	摘要
		[mm]	[本]	[kg/m]	[kg/本]	[kg]	
①	D13	2815	3.33	0.995	2.80	9.33	
②	D13	1000	10.00	0.995	1.00	10.00	
合計						19.33	

※採用した笠コンクリートブロックの寸法の記載をお願いします。(mあたりで換算するため)
 ※同等品以上のプレキャストコンクリートブロックとする。
 ※伸縮目地は10mに1箇所設置する。
 ※1個当りに必要な中詰め材(水中コンクリート)の参考数量を記載すること。

根固めブロック構造図 S=1:50

護床ブロック 2t型

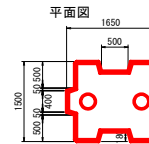
標準型



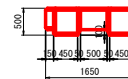
正面図



端部型



正面図

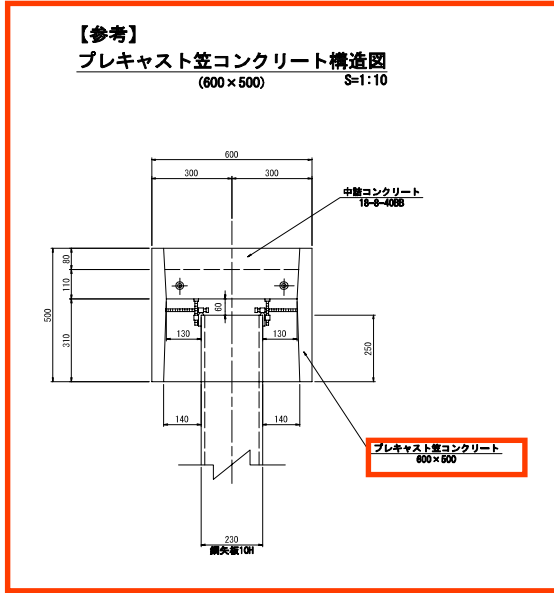


(注記) 各護床ブロックは連結金具にて連結すること。

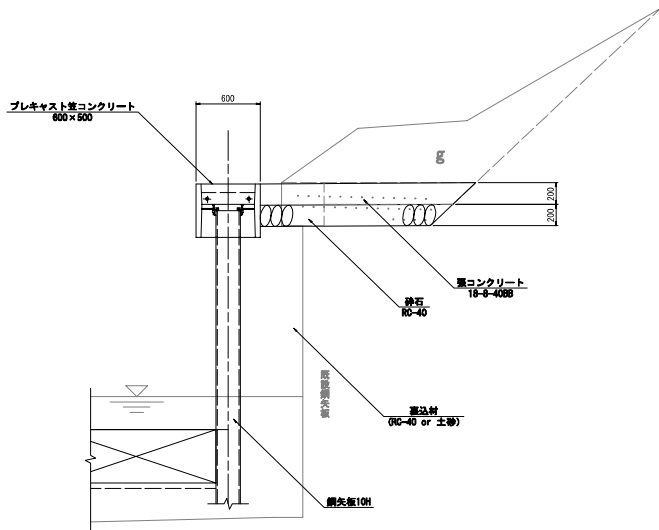
参考図 3

令和3-4年度	図面番号	3 / 13
河川名	二級河川 石津川	
工事名	護岸補強工事R3-1工区(津久野大橋上下流)	
施工地名	堺市西区鶴田町地内	
図面名	根固めブロック構造図縮尺	1:50
大阪府鳳土木事務所		

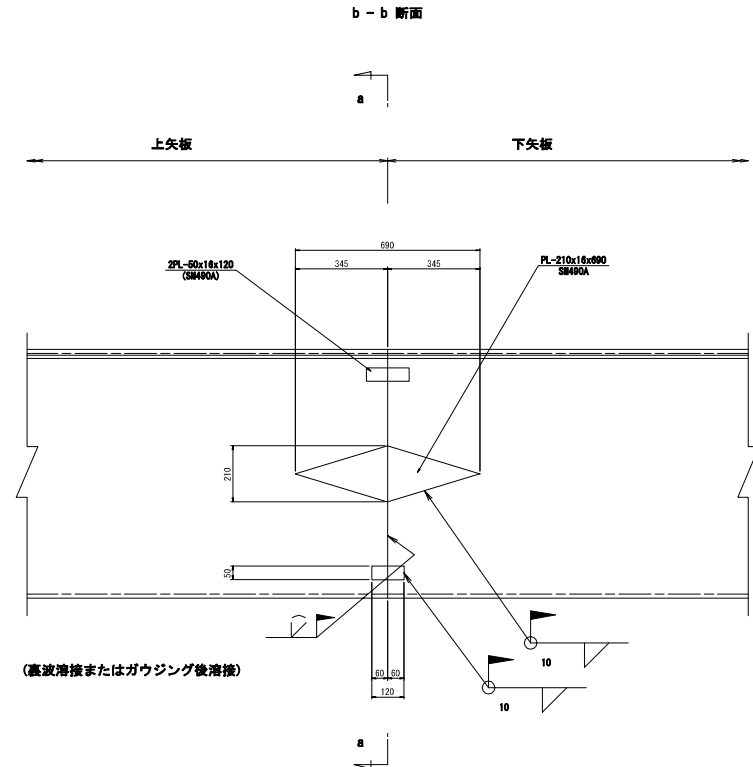
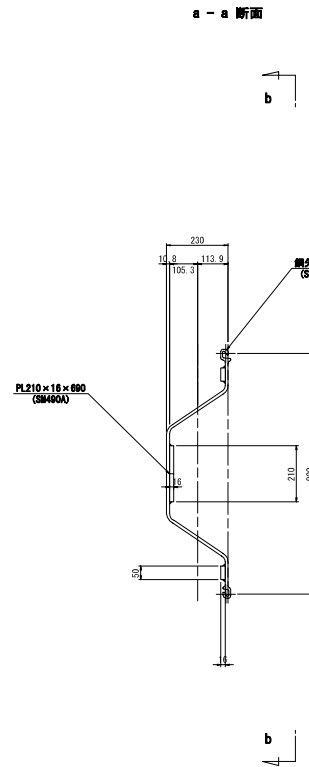
護岸工詳細図



低水護岸構造図
S=1:25

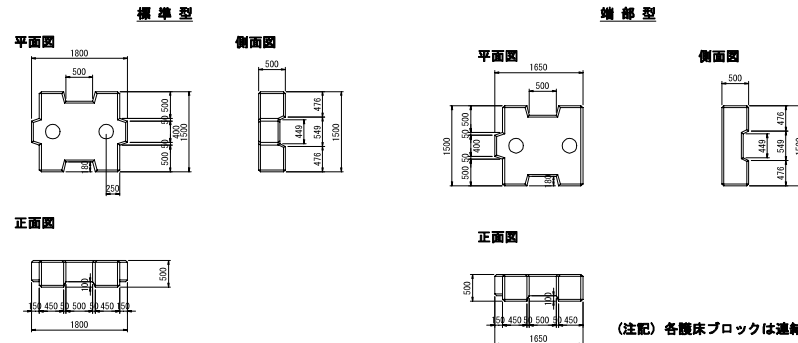


鋼矢板(ハット10H型)継手詳細図
S=1:10



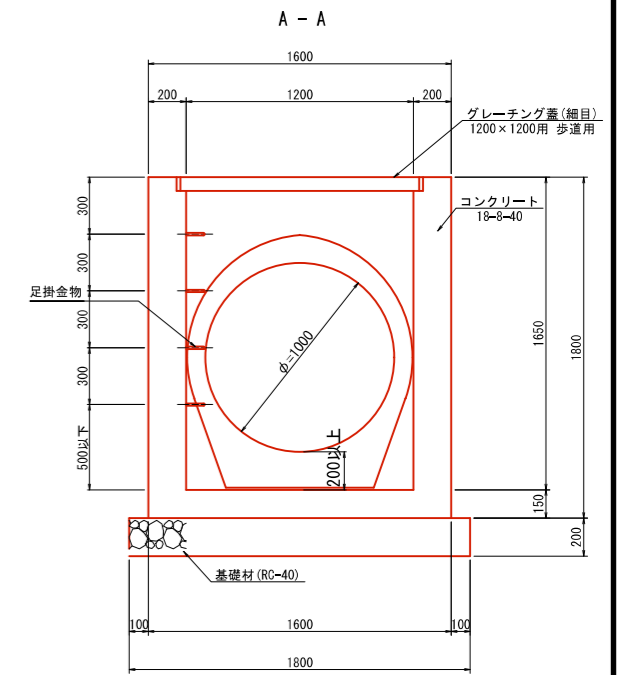
(備考) 現場溶接継手位置仕様は鋼管杭・鋼矢板技術協会の鋼矢板の溶接継ぎ標準仕様に従う

【参考】
護床ブロック 2t型
 S=1:50

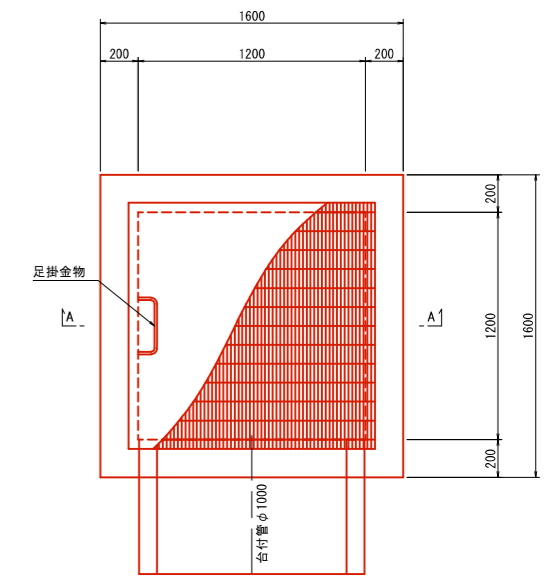


構造図(3) S=1:20

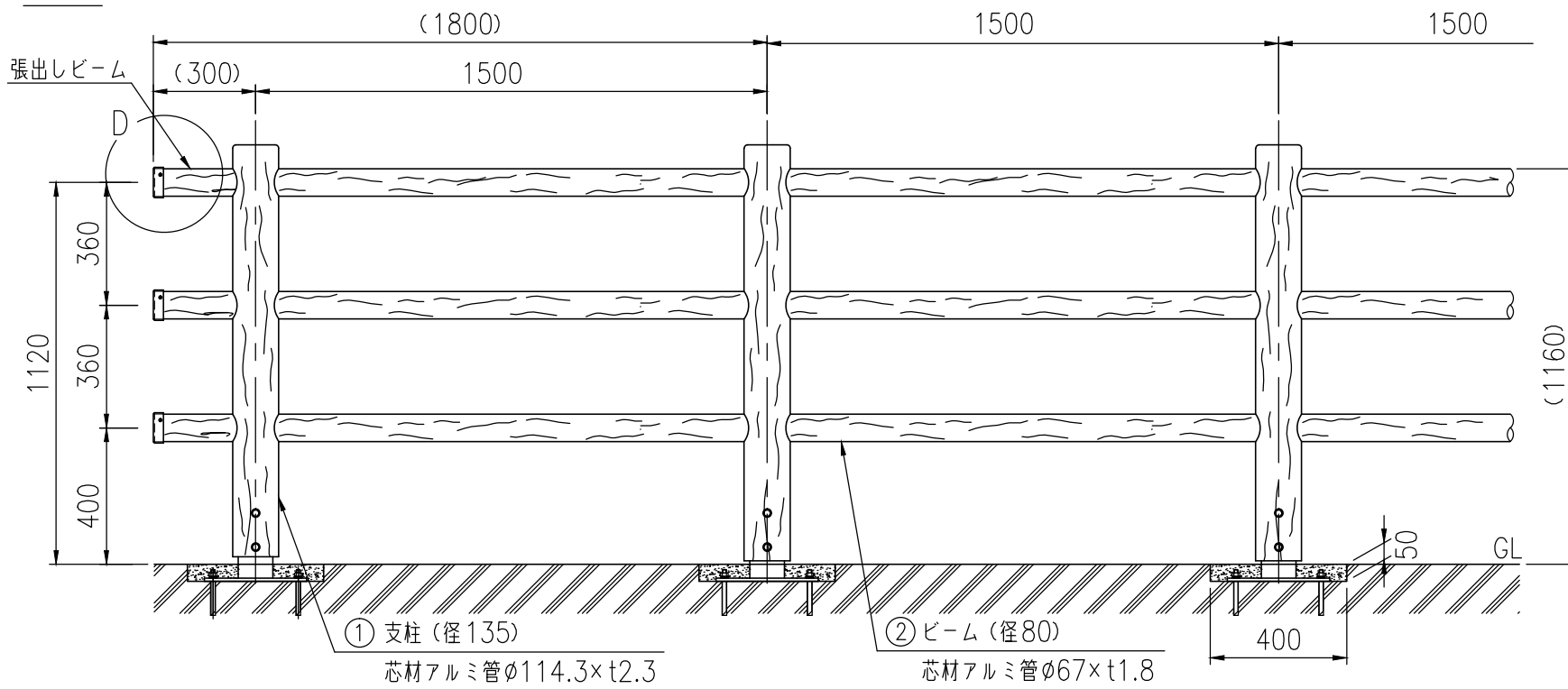
集水桝D



平面図



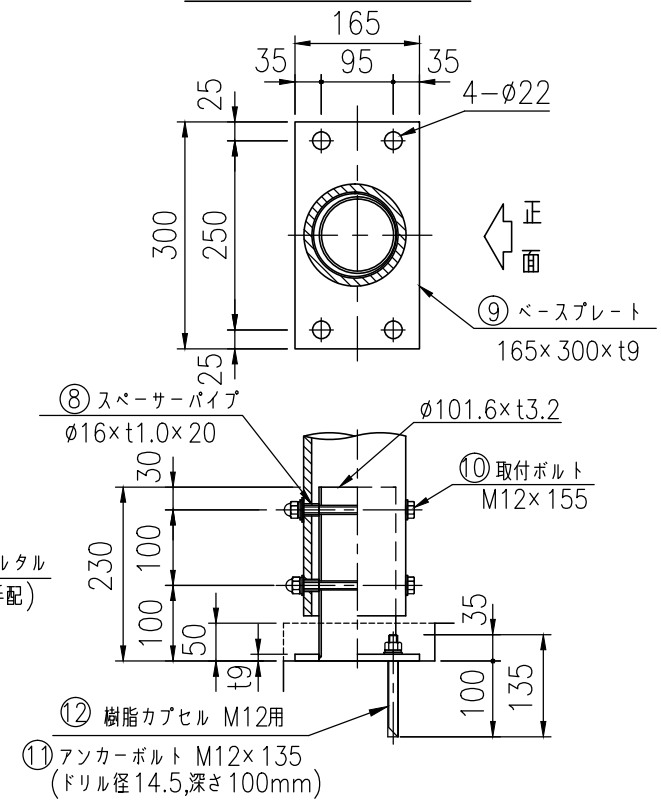
設置図 (1/20)



<連続基礎式>
RAC-3121-15PLトク

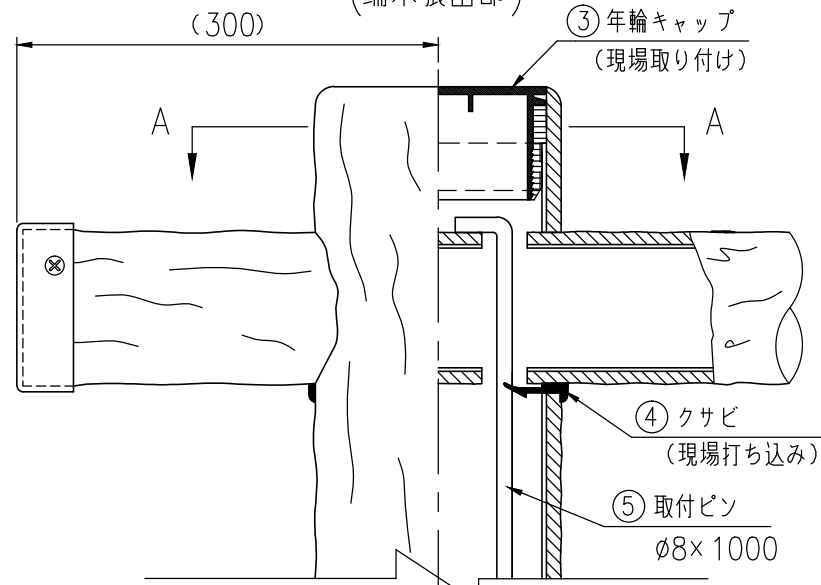
タイプ	テンダーウッドレコオーク超軽量横木柵
品番	RAC-3121-15PLトク
図面番号	ARE170092

ベースプレート詳細図 (1/10)



取付部詳細 (1/4)

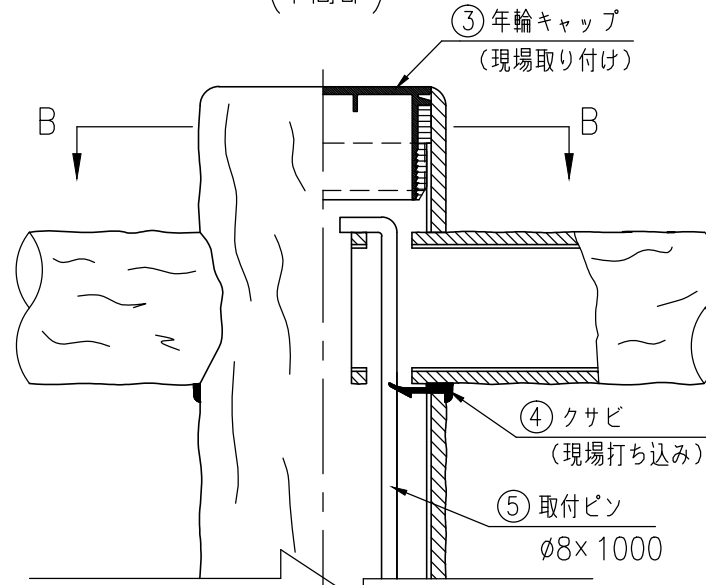
(端末張出部)



A-A断面 (1/4)

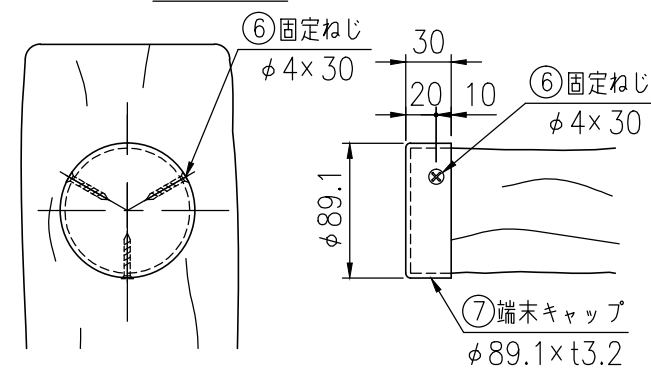
取付部詳細 (1/4)

(中間部)

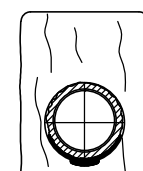


B-B断面 (1/4)

D部詳細図 (1/5)



C部詳細図 (1/8)



※特注項目

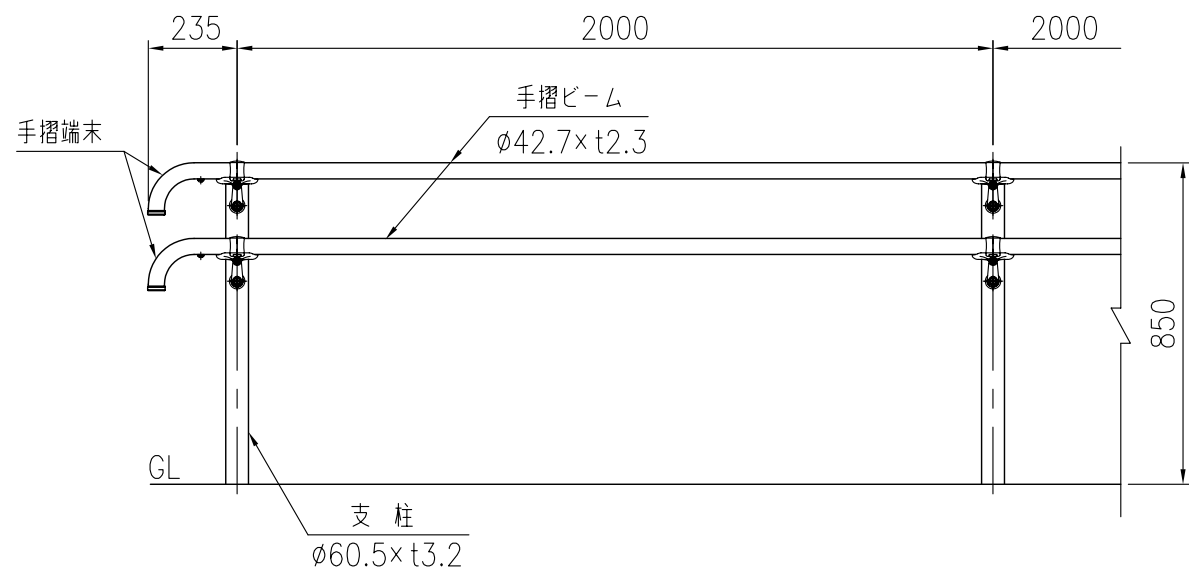
1	端末張出しビーム
2	端末キャップ
3	支柱長さトク
4	ベースプレート165×300×t9
5	樹脂アンカー M12

※注記：支柱及び横木の外径は凸部の平均値です。
：仕様は予告なく変更することがあります。
：端末張出しビームは、支柱にビームを通してから支柱の根固めを行ってください。
※基礎は（水平・垂直）地耐力200kN/m²の場合の参考寸法です。

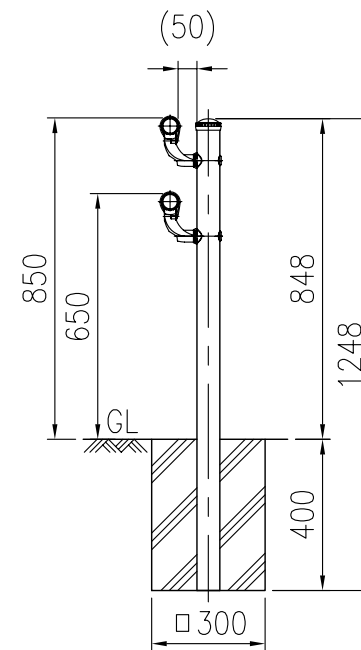
部材表

部番	部材名	材質	摘要
1	支柱	A6063S-T5+再生ポリエチレン	アルミ+樹脂被覆
2	ビーム	A6063TE-T5+再生ポリエチレン	アルミ+樹脂被覆
3	年輪キャップ	ポリエチレン	
4	クサビ	ポリエチレン	クロ
5	取付ピン	SS400	亜鉛めっき
6	固定ねじ(φ4×30)	SUS	十字穴付皿ドリルネジ
7	端末キャップ	STK400,SS400	亜鉛めっき+塗装
8	スペーサーパイプ	SUS	
9	ベースプレート t9.0	SS400, STK400	溶融亜鉛めっき
10	取付ボルトM12×155	強度区分4.6,溶融亜鉛めっき+塗装	B1,袋N1,W2,大W1,SW1
11	アンカーボルトM12×135	4.6相当	溶融亜鉛めっき
12	樹脂アンカー M12	M12用	

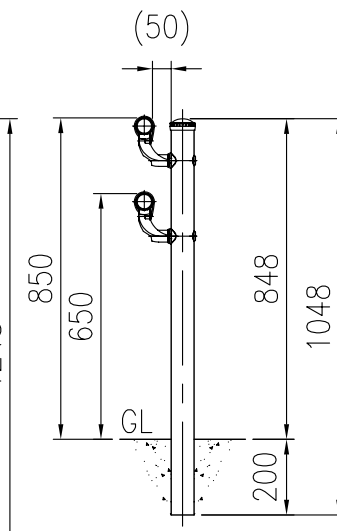
設置図 (1/20)



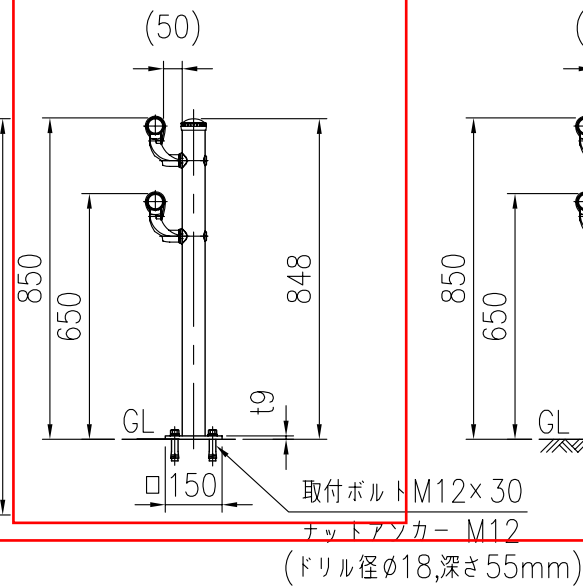
TR61F-APS285-C20



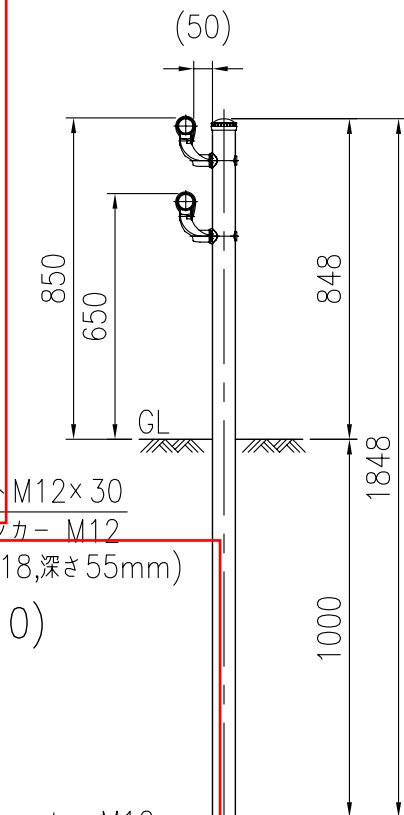
TR61F-APS285-W20



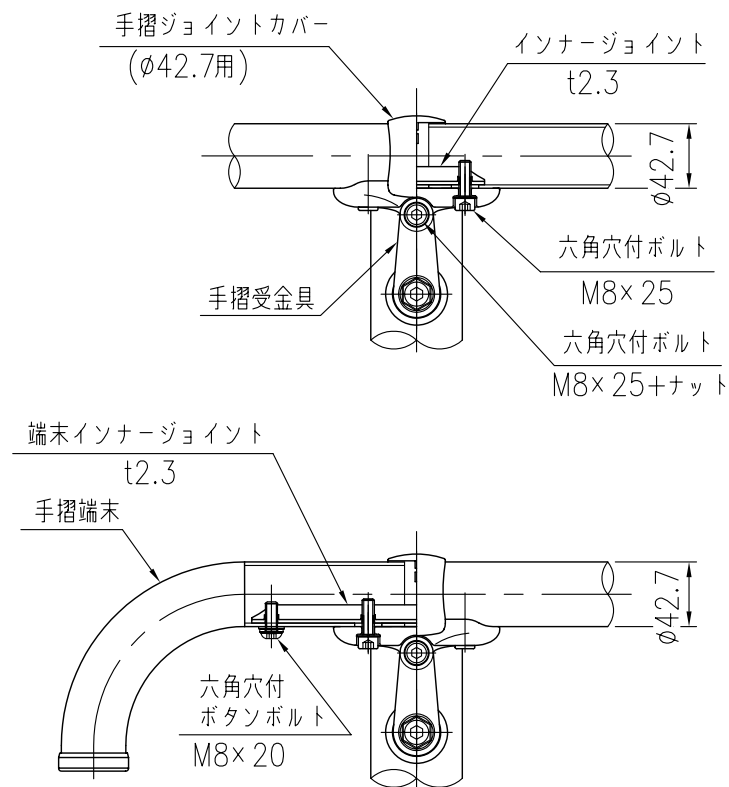
TR61F-APS285-PL20



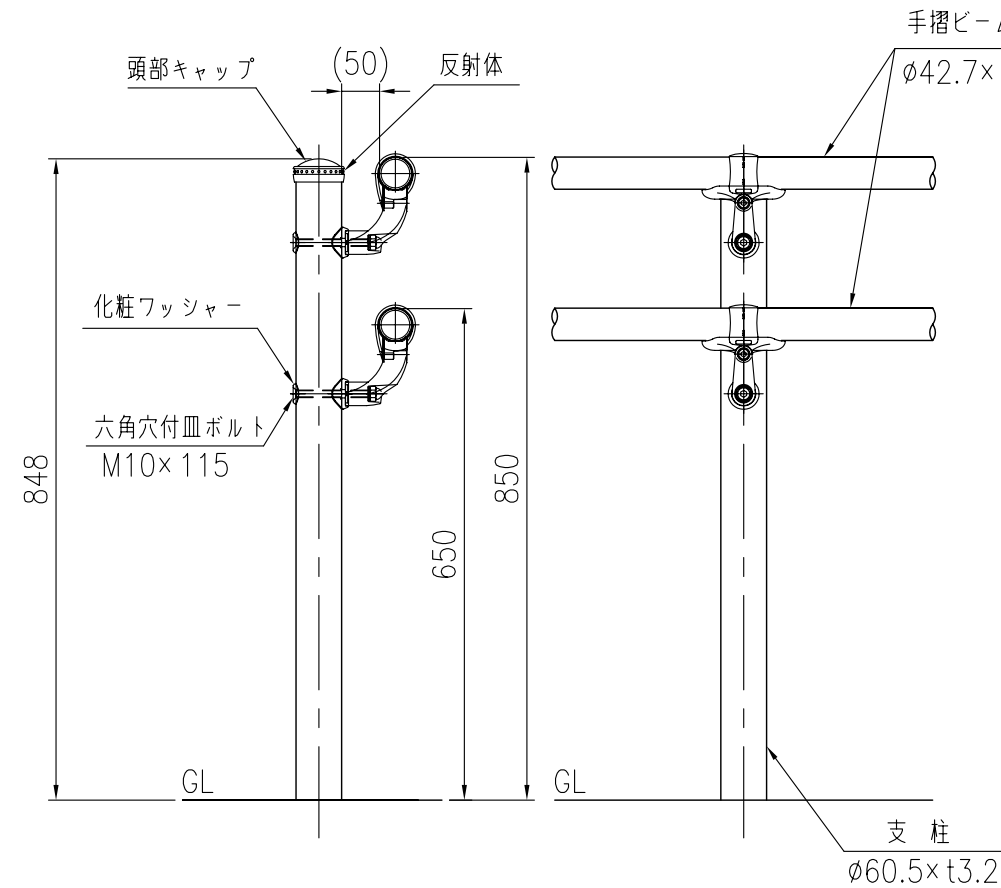
TR61F-APS285-E20



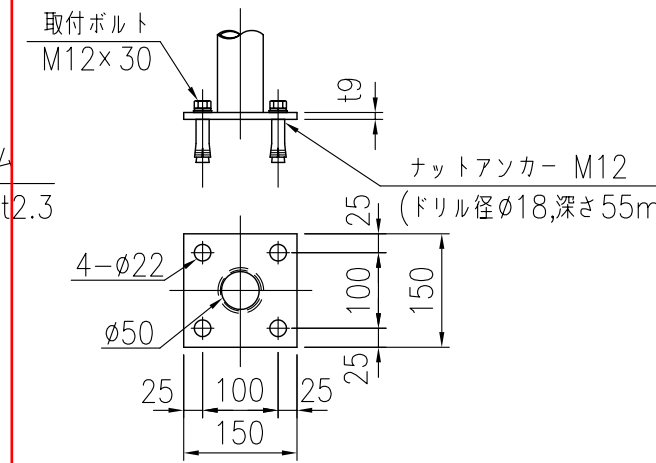
取付部詳細図 (1/5)



支柱図 (1/10)



ベースプレート詳細図 (1/10)

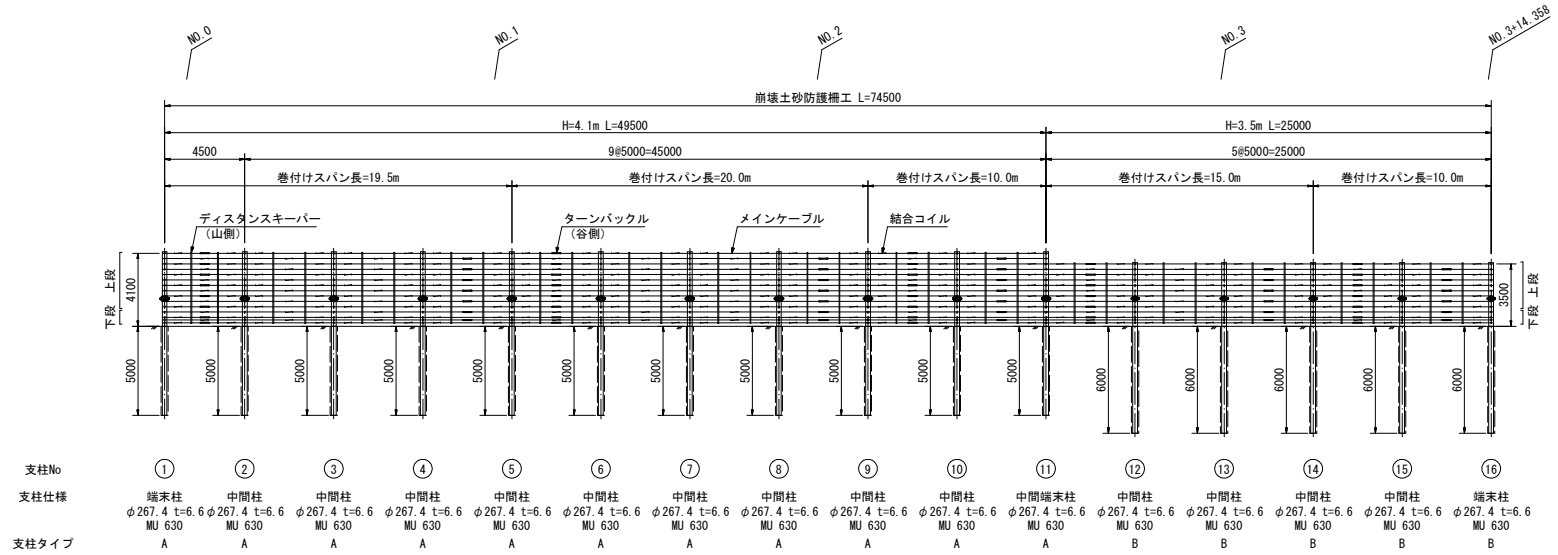


品名	材質	摘要
支柱	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
手摺ビーム	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
頭部キャップ	PE	着色樹脂
反射体	ガラスビーズ	ベース 黒・反射体 黄
手摺末端	STK400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
手摺受金具	アルミ合金	焼付塗装
インナージョイント	SGH400相当	高耐食溶融めっき鋼板
末端インナージョイント	SGH400相当	高耐食溶融めっき鋼板
手摺ジョイントカバー	PC	ポリカーボネート
六角穴付ボルト	SUS	M8x25
六角穴付ボルト	SUS	M8x25+ナット
六角穴付ボタンボルト	SUS	M8x20
六角穴付皿ボルト	SUS	M10x115 + 袋ナット
化粧フッシャー	SUS	
ナットアンカー		溶融亜鉛めっき M12
取付ボルト	4.6相当	溶融亜鉛めっき M12x30

崩壊土砂防護柵工展開図(1)

S=1:150

参考図



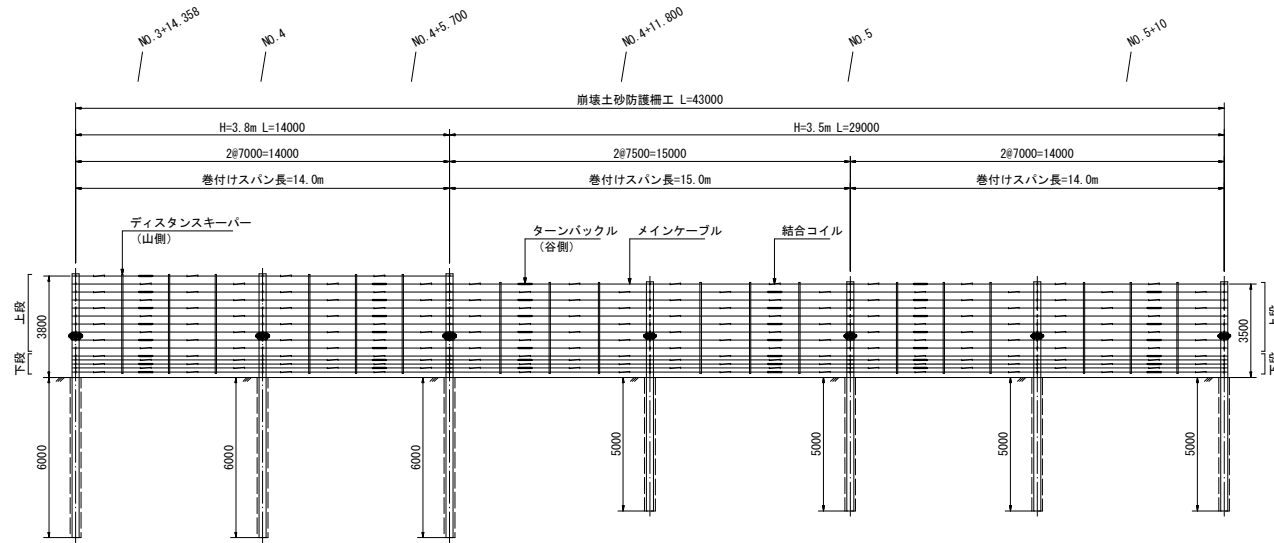
崩壊土砂防護柵工数量表

名称	仕様・寸法	単位	数量	摘要
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9580mm	本	1	分割支柱 タイプB
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9180mm	本	1	分割支柱 タイプA
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9580mm	本	4	分割支柱 タイプB
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9180mm	本	9	分割支柱 タイプA
中間端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9180mm	本	1	分割支柱 タイプA
ディスタンスキーバー	H=4.1m用	セット	20	
ディスタンスキーバー	H=3.5m用	セット	10	
ターンバックル	W5/8×18	個	51	
ターンバックル	W7/8×18	個	20	
U形金網	φ4×50mm	m ²	290.45	
メインケーブル	7×19 φ18 L=40.70m	本	4	
メインケーブル	7×19 φ18 L=39.70m	本	4	
メインケーブル	7×19 φ18 L=30.70m	本	4	
メインケーブル	7×19 φ18 L=20.70m	本	8	
メインケーブル	7×19 φ12 L=40.68m	本	11	
メインケーブル	7×19 φ12 L=39.68m	本	11	
メインケーブル	7×19 φ12 L=30.68m	本	9	
メインケーブル	7×19 φ12 L=20.68m	本	20	
結合コイル	φ4×φ50×P50-400	個	330	

※1 支柱間隔は斜長距離
 ※2 図中の測点位置は、計画時の目安
 ※3 展開図は谷側から山側を以ての表示

崩壊土砂防護柵工展開図(2) S=1:100

参考図



支柱No	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓
支柱仕様	端末柱 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間端末柱 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 MU 630	中間柱 φ267.4 t=6.6 MU 630	端末柱 φ267.4 t=6.6 MU 630
支柱タイプ	C	C	C	D	D	D	D

崩壊土砂防護柵工数量表

名称	仕様・寸法	単位	数量	摘要
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=8580mm	本	1	分割支柱 タイプD
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9880mm	本	1	分割支柱 タイプC
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=8580mm	本	3	分割支柱 タイプD
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9880mm	本	1	分割支柱 タイプC
中間端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9880mm	本	1	分割支柱 タイプC
ディスタンスキーパー	H=3.8m用	セット	6	
ディスタンスキーパー	H=3.5m用	セット	12	
ターンバックル	W5/8*18	個	28	
ターンバックル	W7/8*18	個	15	
ひし形金網	φ4×50mm	m ²	154.7	
メインケーブル	7×19 φ18 L=30.70m	本	5	
メインケーブル	7×19 φ18 L=28.70m	本	10	
メインケーブル	7×19 φ12 L=30.68m	本	9	
メインケーブル	7×19 φ12 L=28.68m	本	19	
結合コイル	φ4×φ50×P50-400	個	172	

※1 支柱間隔は斜長距離
 ※2 図中の測点位置は、計画時の目安
 ※3 展開図は谷側から山側を以ての表示

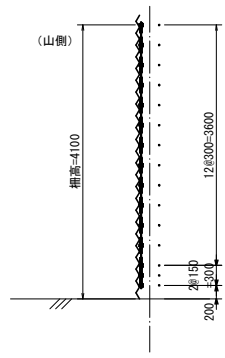
崩壊土砂防護柵構造図(1)

S=1:40

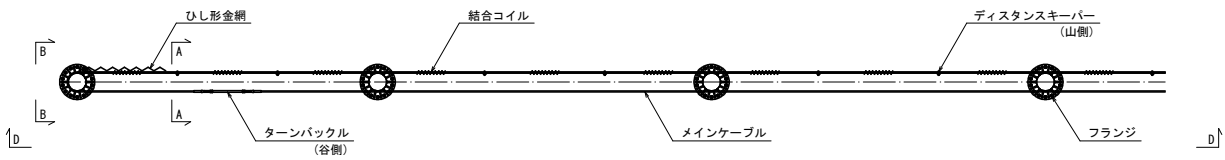
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 4.1 m)

参考図

A - A 矢視図



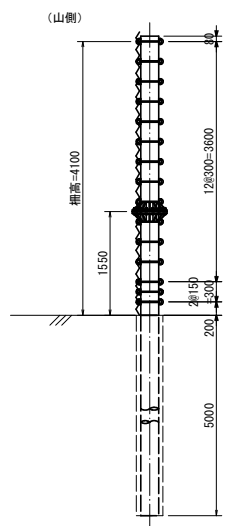
C - C 矢視図



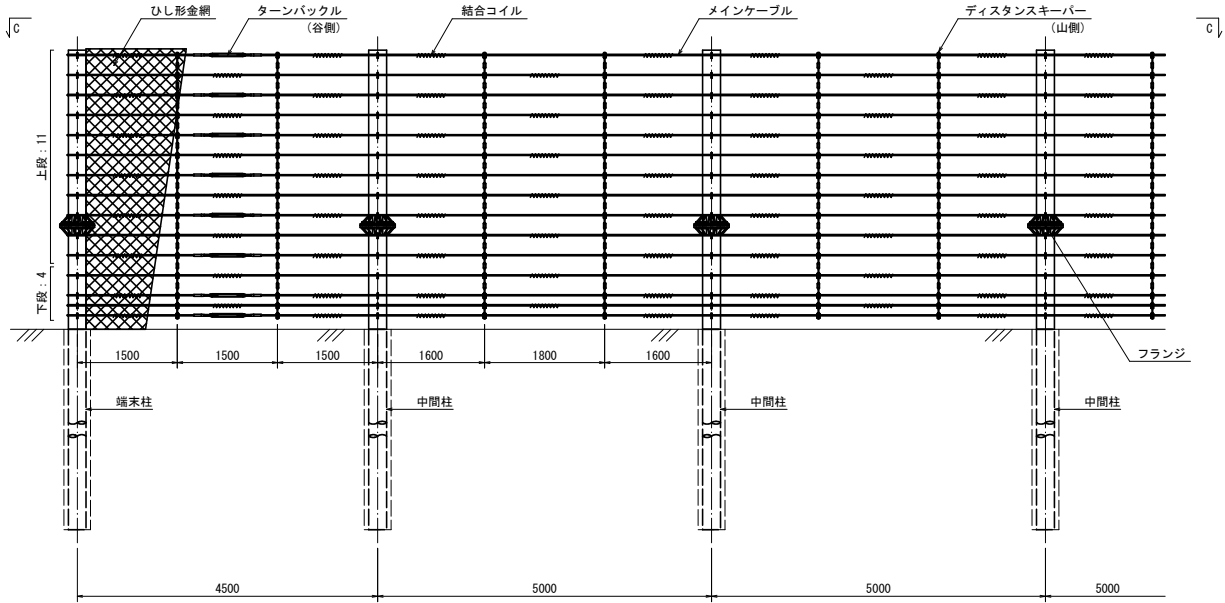
部材仕様一覧

部材名称	仕様
端末および中間柱	φ=267.4 mm t= 6.6 mm (Mu=630 kN-m)
分割支柱(支柱タイプA)	L=5000 + 4100 + 80 = 9180 mm
メインケーブル	上段 φ=12 mm 7×19
	下段 φ=18 mm 7×19
ひし形金網	φ=4 mm 50×50mm

B - B 矢視図



D - D 矢視図

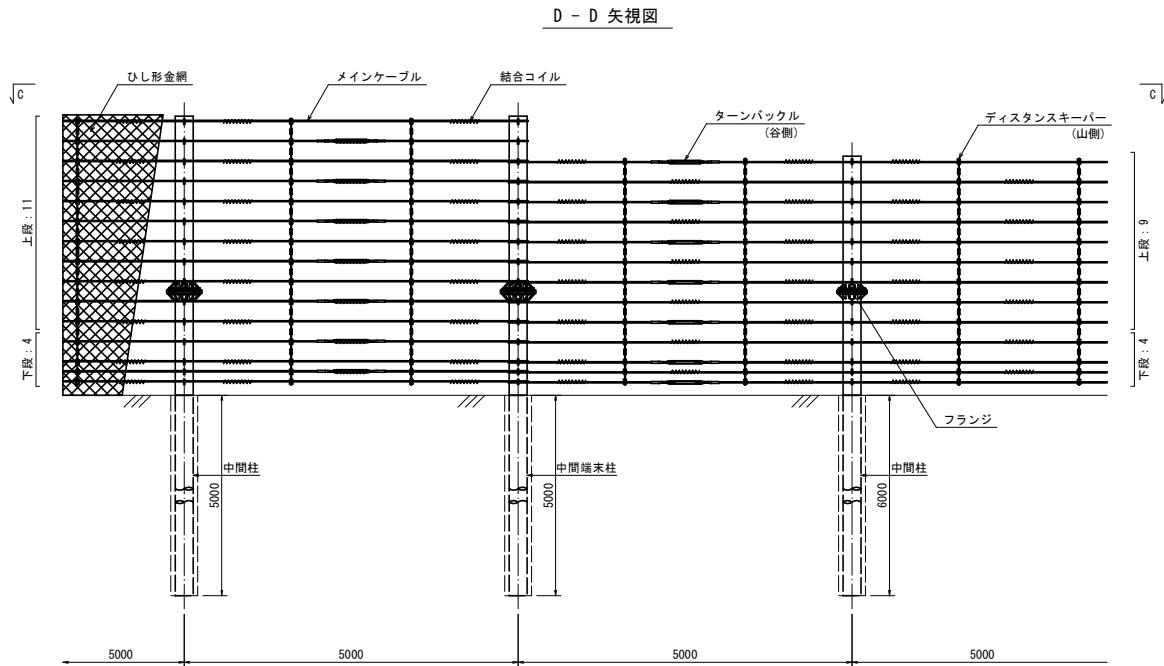
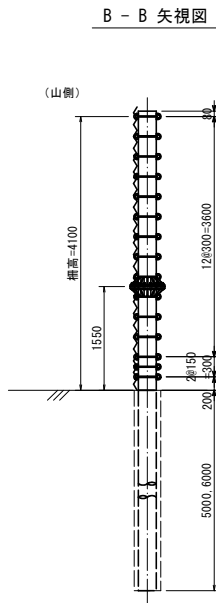
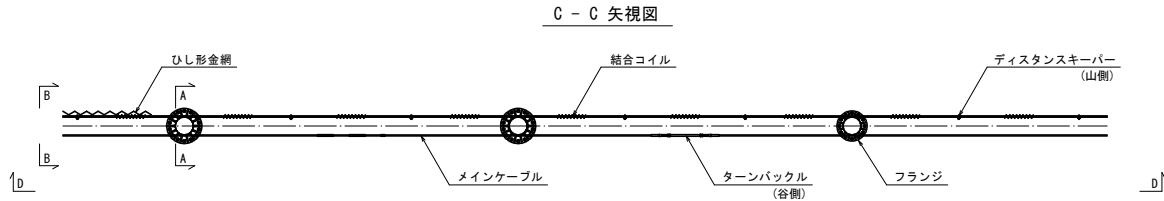
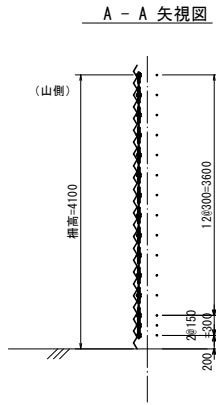


メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
4スパン巻き	

崩壊土砂防護柵構造図(2) S=1:40
 (スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 4.1 m ~ 3.5 m)

参考図



部材仕様一覧

部材名称	仕様
中間および中間端末柱 分割支柱<支柱タイプA>	φ=267.4 mm t= 6.6 mm (Mu=630 kN-m) L=5000 + 4100 + 80 = 9180 mm
中間柱 分割支柱<支柱タイプB>	φ=267.4 mm t= 6.6 mm (Mu=630 kN-m) L=6000 + 3500 + 80 = 9580 mm
メインケーブル	上段 φ=12mm 7×19
	下段 φ=18mm 7×19
ひし形金網	φ=4 mm 50×50mm

メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
2スパン巻き	
3スパン巻き	

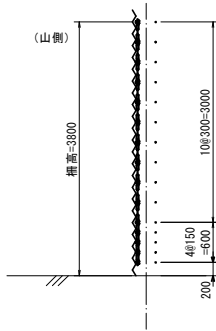
崩壊土砂防護柵構造図(3)

S=1:40

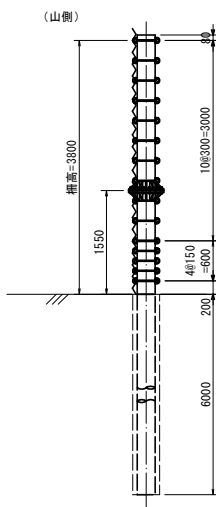
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.8 m ~ 3.5 m)

参考図

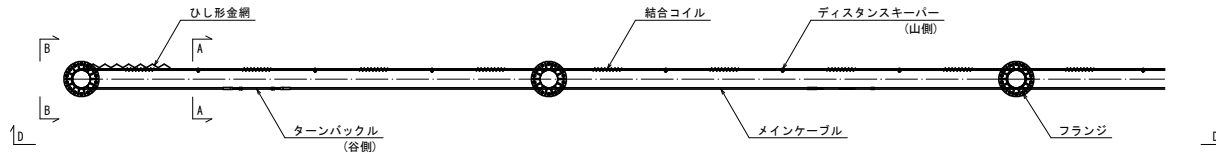
A - A 矢視図



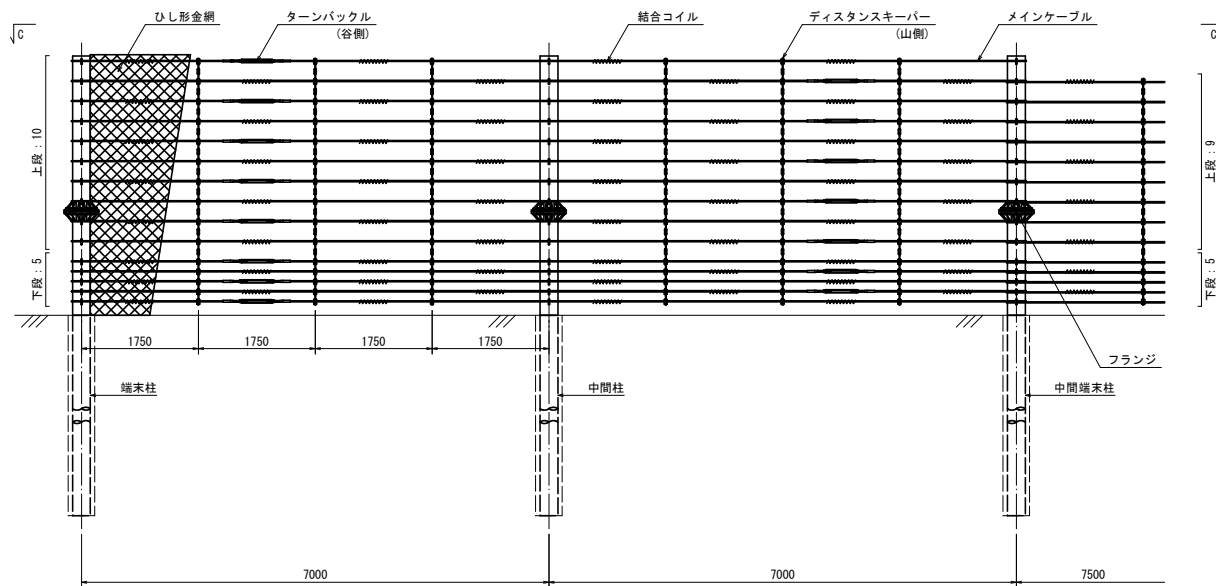
B - B 矢視図



C - C 矢視図



D - D 矢視図



部材仕様一覧

部材名称	仕様
端末柱・中間柱 および中間端末柱	$\phi = 267.4 \text{ mm}$ $t = 6.6 \text{ mm}$ ($M_u = 630 \text{ kN}\cdot\text{m}$)
分割支柱(支柱タイプC)	$L = 6000 + 3800 + 80 = 9880 \text{ mm}$
メインケーブル	上段 $\phi = 12 \text{ mm}$ 7×19
	下段 $\phi = 18 \text{ mm}$ 7×19
ひし形金網	$\phi = 4 \text{ mm}$ $50 \times 50 \text{ mm}$

メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
2スパン巻き	

特記事項

崩壊土砂防護柵構造図(4)

(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.5 m)

S=1:40

参考図

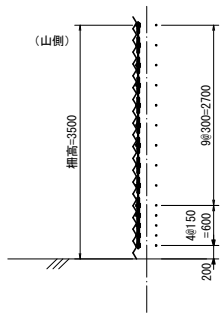
部材仕様一覧

部材名称	仕様
中間柱	$\phi=267.4\text{ mm}$ $t=6.6\text{ mm}$ ($M_u=630\text{ kN}\cdot\text{m}$)
分割支柱(支柱タイプD)	$L=5000+3500+80=8580\text{ mm}$
メインケーブル	上段 $\phi=12\text{ mm}$ 7×19
	下段 $\phi=18\text{ mm}$ 7×19
ひし形金網	$\phi=4\text{ mm}$ $50\times 50\text{ mm}$

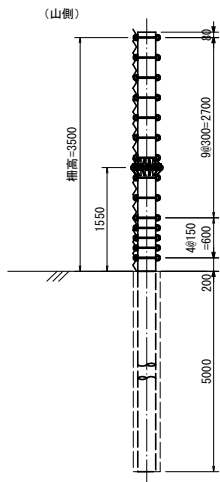
メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
2スパン巻き	

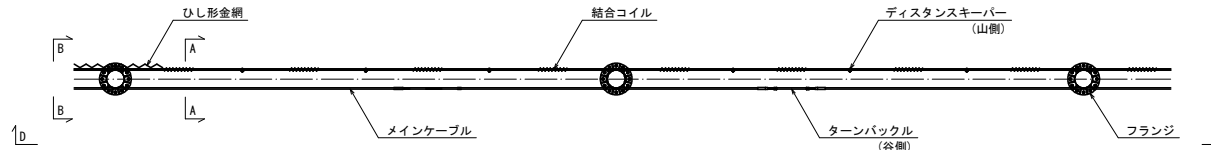
A - A 矢視図



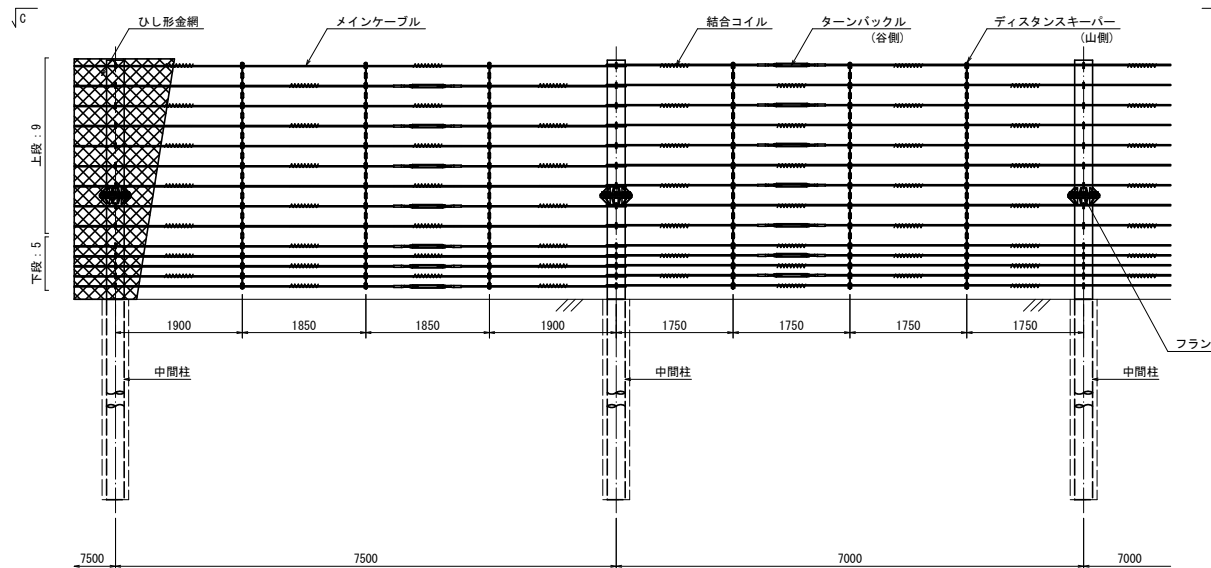
B - B 矢視図



C - C 矢視図



D - D 矢視図

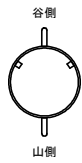


崩壊土砂防護柵部材詳細図(1)

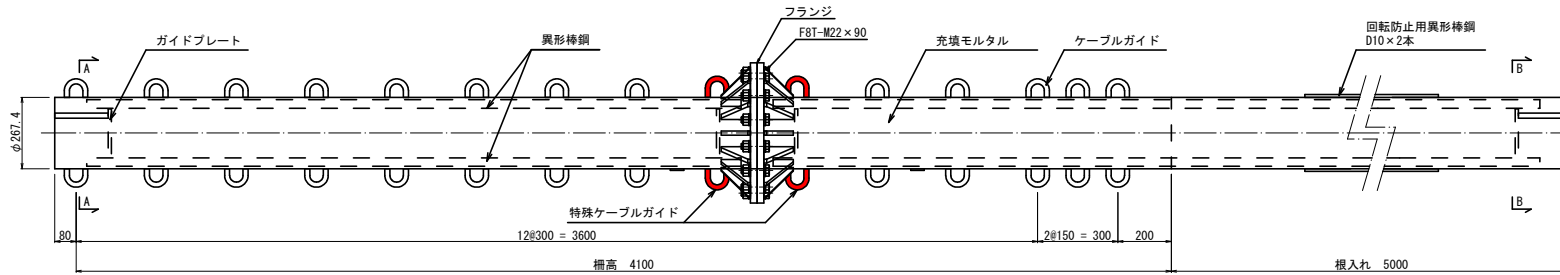
端末柱・中間および中間端末柱 ?支柱タイプA?
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 4.1 m)

参考図

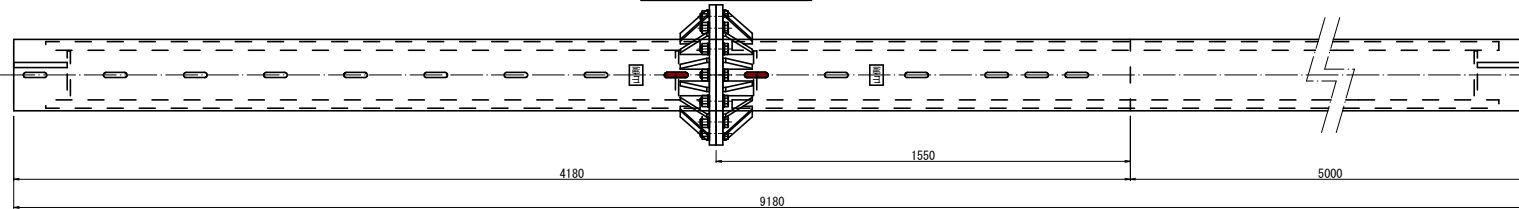
支柱平面図 S=1:10



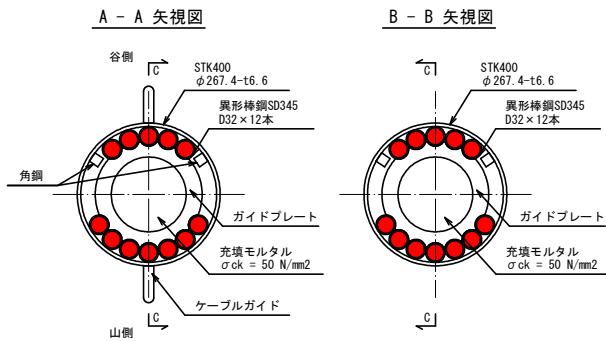
支柱正面図 S=1:10



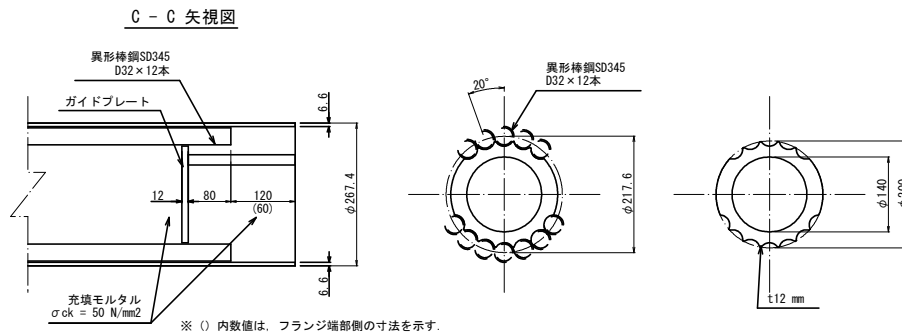
支柱側面図 S=1:10



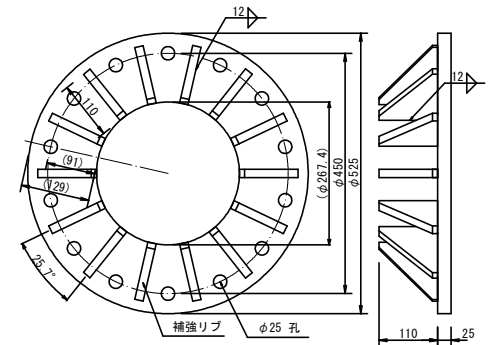
支柱断面図 S=1:5



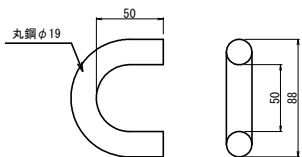
ガイドプレート詳細図 S=1:5



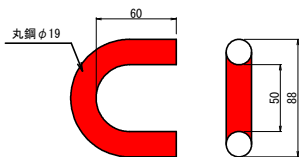
フランジ詳細図 S=1:5



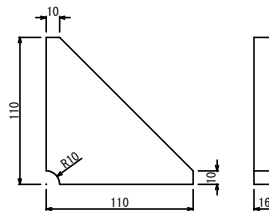
ケーブルガイド詳細図 S=1:2



特殊ケーブルガイド詳細図 S=1:2



補強リブ詳細図 S=1:2

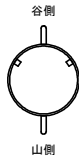


崩壊土砂防止柵部材詳細図(2)

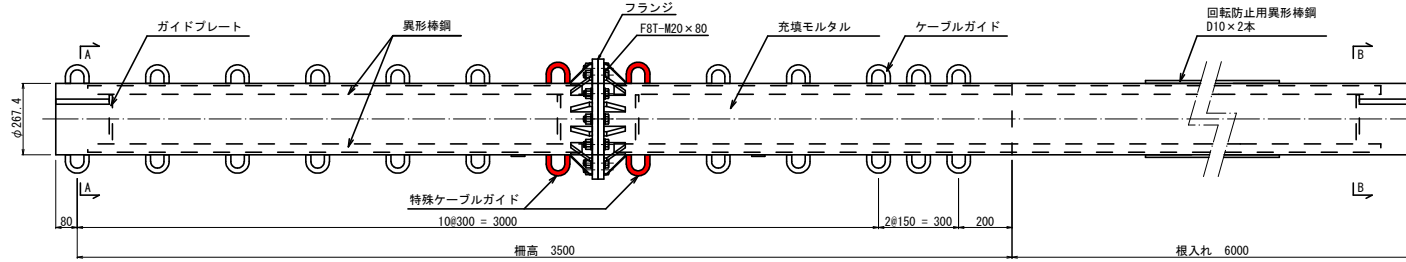
端末および中間柱 <支柱タイプB>
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.5 m)

参考図

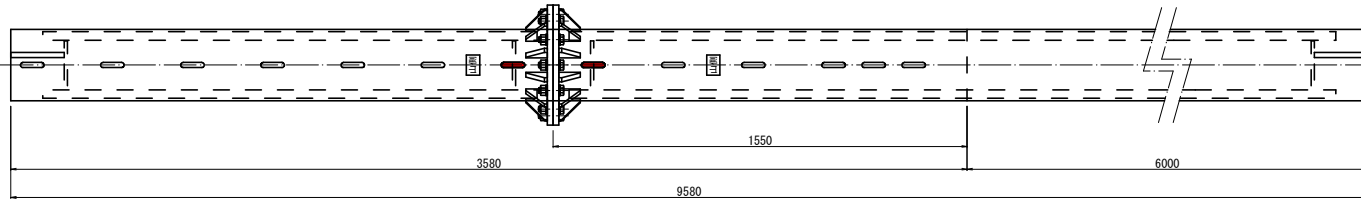
支柱平面図 S=1:10



支柱正面図 S=1:10



支柱側面図 S=1:10

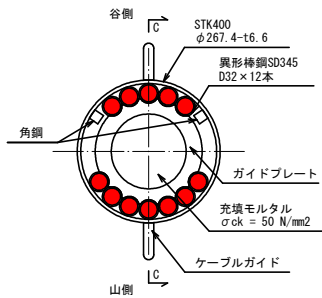


支柱断面図 S=1:5

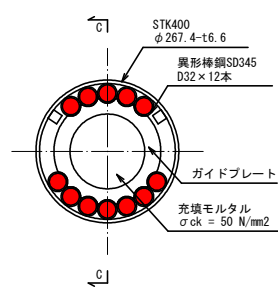
ガイドプレート詳細図 S=1:5

フランジ詳細図 S=1:5

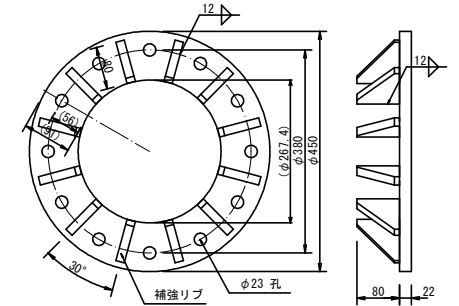
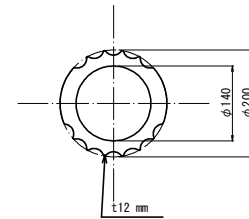
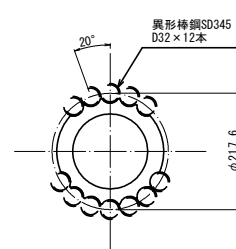
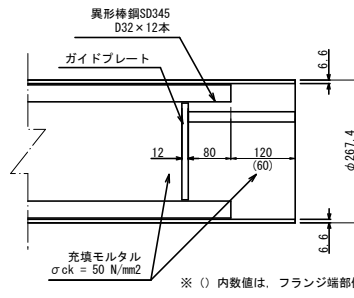
A-A 矢視図



B-B 矢視図

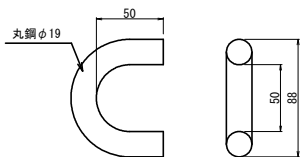


C-C 矢視図

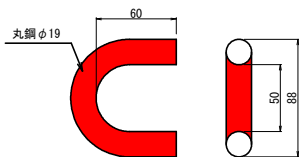


※ () 内数値は、フランジ端部側の寸法を示す。

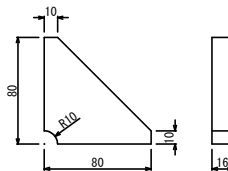
ケーブルガイド詳細図 S=1:2



特殊ケーブルガイド詳細図 S=1:2



補強リブ詳細図 S=1:2

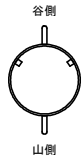


崩壊土砂防護柵部材詳細図(3)

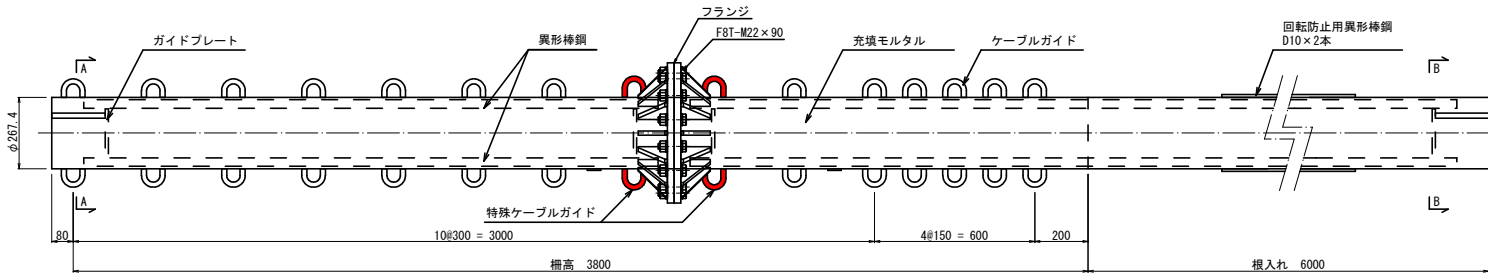
端末柱・中間および中間端末柱 <支柱タイプC>
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.8 m)

参考図

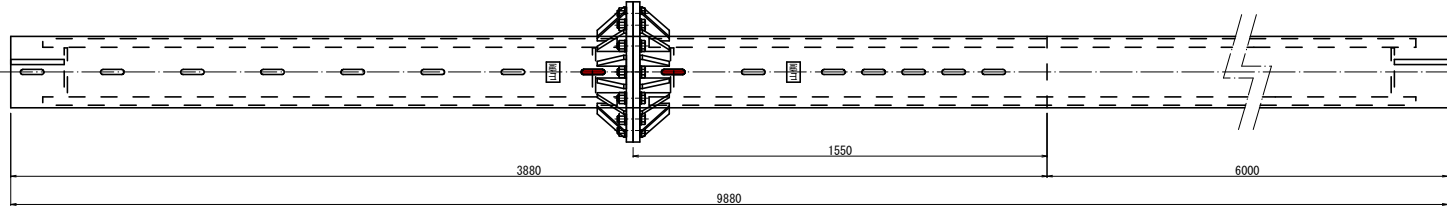
支柱平面図 S=1:10



支柱正面図 S=1:10



支柱側面図 S=1:10

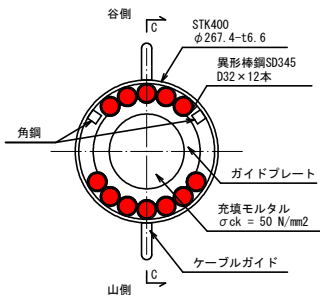


支柱断面図 S=1:5

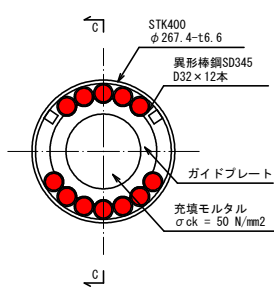
ガイドプレート詳細図 S=1:5

フランジ詳細図 S=1:5

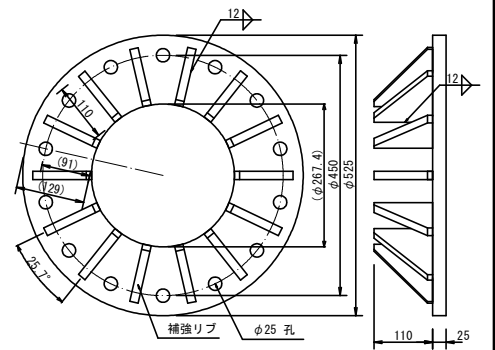
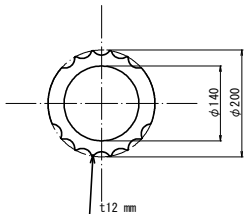
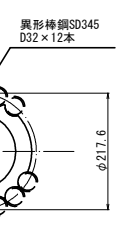
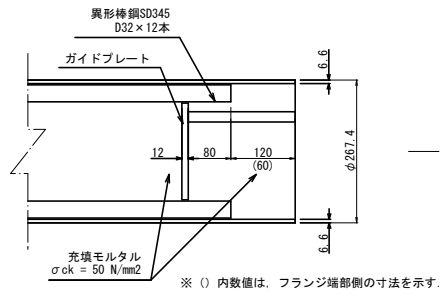
A-A 矢視図



B-B 矢視図



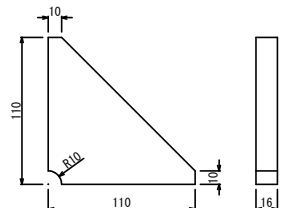
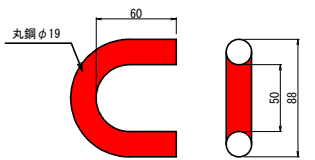
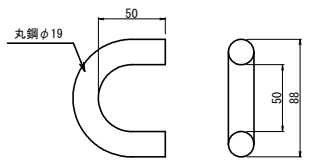
C-C 矢視図



ケーブルガイド詳細図 S=1:2

特殊ケーブルガイド詳細図 S=1:2

補強リブ詳細図 S=1:2

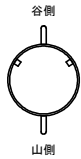


崩壊土砂防護柵部材詳細図(4)

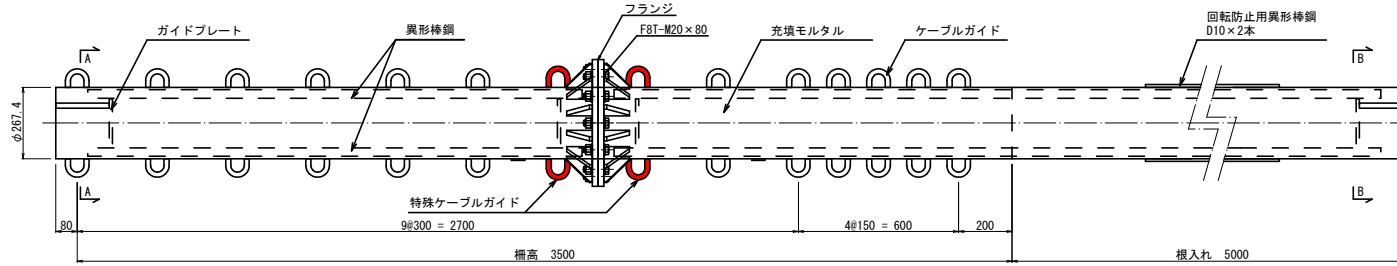
参考図

端末および中間柱 <支柱タイプD>
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.5 m)

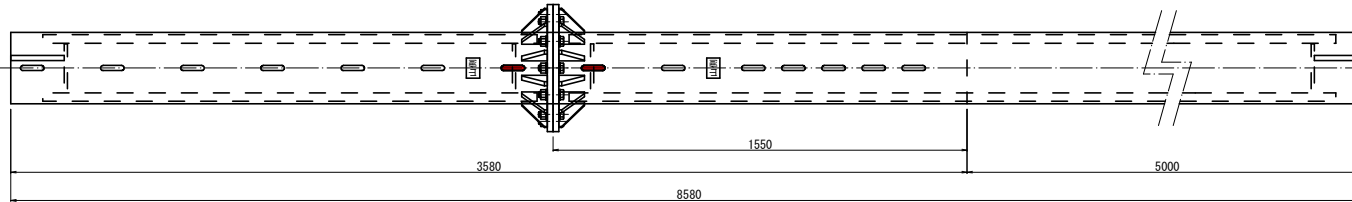
支柱平面図 S=1:10



支柱正面図 S=1:10



支柱側面図 S=1:10

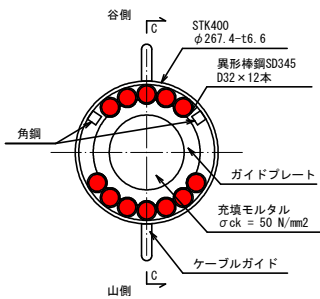


支柱断面図 S=1:5

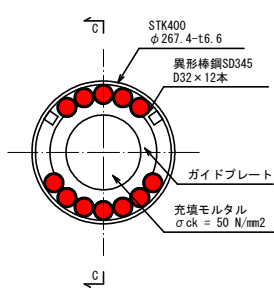
ガイドプレート詳細図 S=1:5

フランジ詳細図 S=1:5

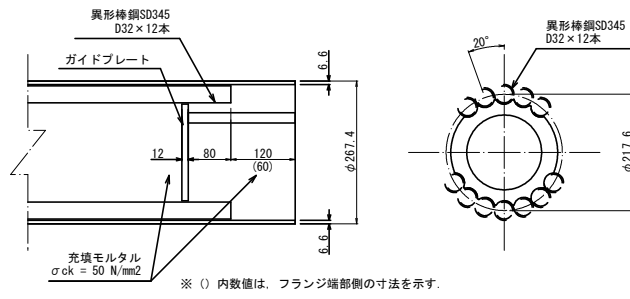
A-A 矢視図



B-B 矢視図

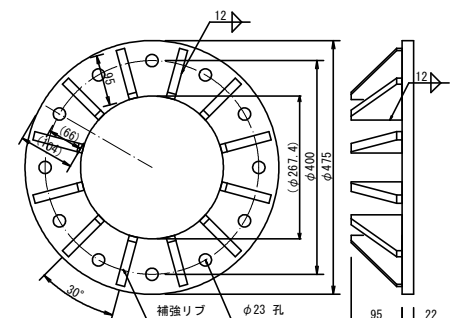


C-C 矢視図

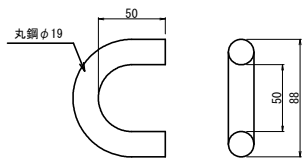


ガイドプレート詳細図 S=1:5

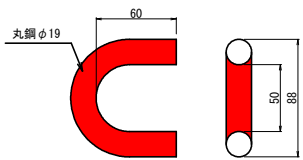
フランジ詳細図 S=1:5



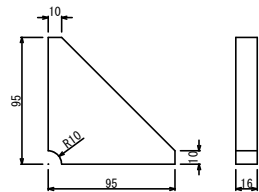
ケーブルガイド詳細図 S=1:2



特殊ケーブルガイド詳細図 S=1:2



補強リブ詳細図 S=1:2

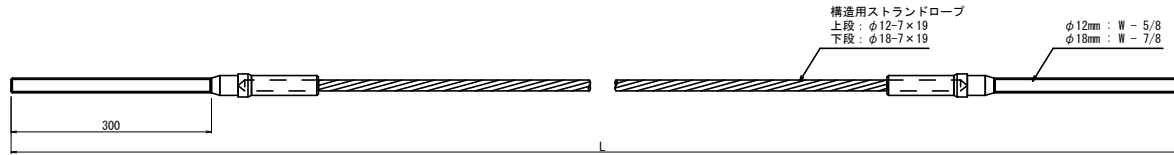


崩壊土砂防護柵部材詳細図(5)

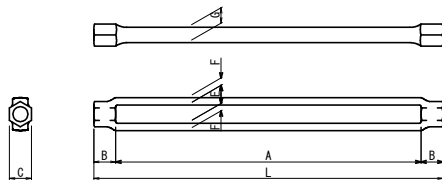
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高H=3.5m, 3.8m, 4.1m)

参考図

メインケーブル概要図 S=1:4



ターンバックル詳細図 S=1:4



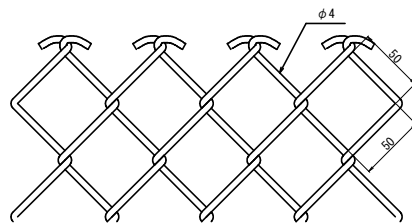
ターンバックル寸法

D Inches	寸長(公差±3%)		頭部長	頭平長	一 間 幅	一 間 幅	一 間 幅	備考
	A Inches (mm)	L (L=A+B)						
5/8	18"							
	457		25	25	21	9	19	$\phi 12\text{mm}$ 用
7/8		523	33	33	27	11	23	$\phi 18\text{mm}$ 用

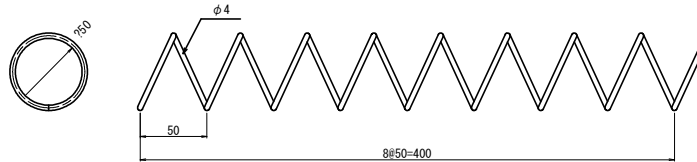
メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
4スパン巻き	
3スパン巻き	
2スパン巻き	

ひし形金網 詳細図 S=1:2



結合コイル 詳細図 S=1:2

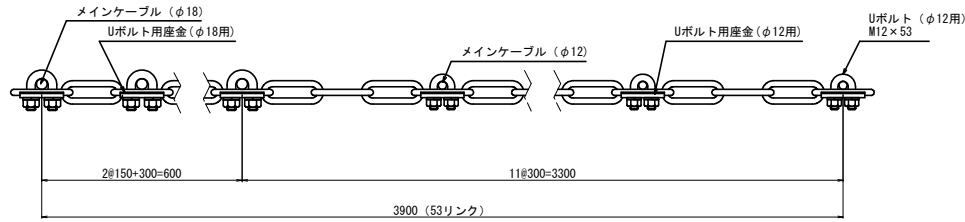


崩壊土砂防護柵部材詳細図(6)

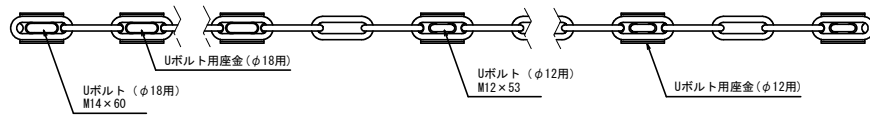
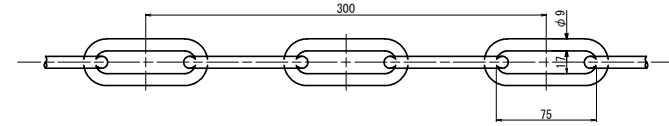
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 4.1 m)

参考図

ディスタンスキーパー構造図 S=1:4

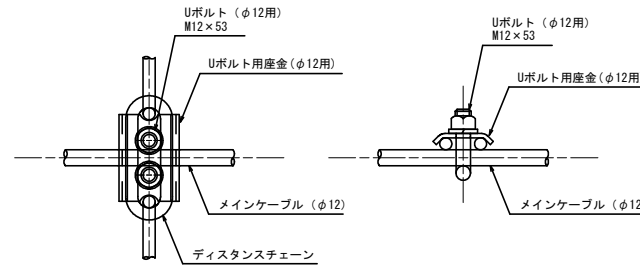
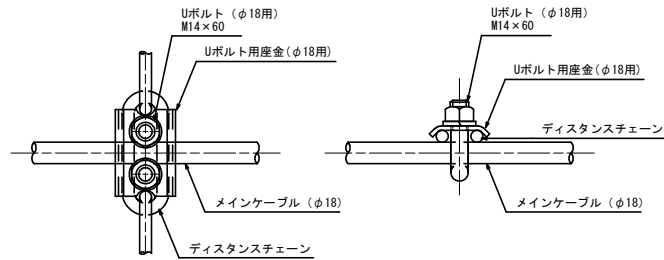


ディスタンスチェーン詳細図 S=1:2



ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

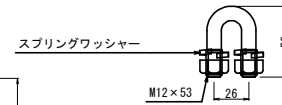
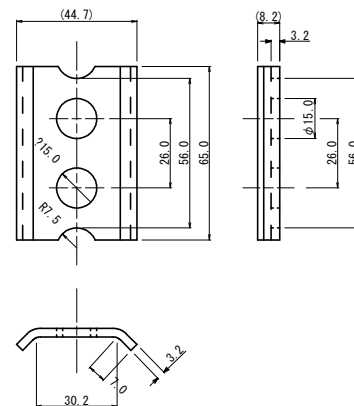
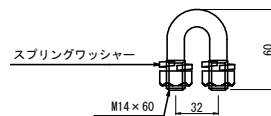
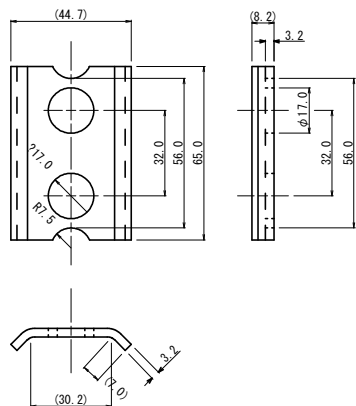


Uボルト用座金(φ18用)詳細図 S=1:1

Uボルト(φ18用)詳細図 S=1:2

Uボルト用座金(φ12用)詳細図 S=1:1

Uボルト(φ12用)詳細図 S=1:2

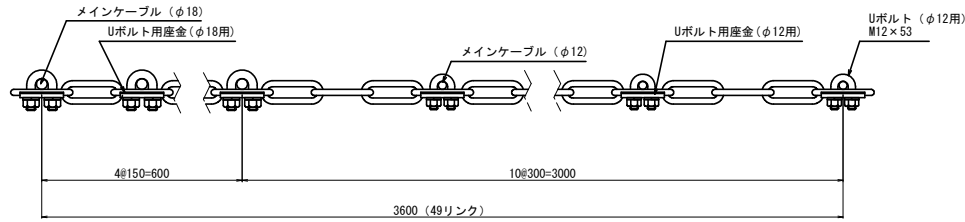


崩壊土砂防護柵部材詳細図(7)

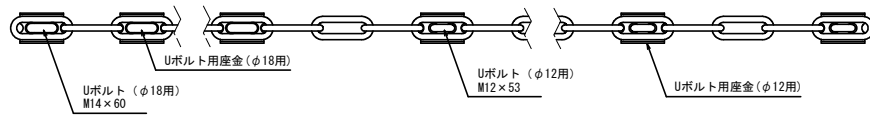
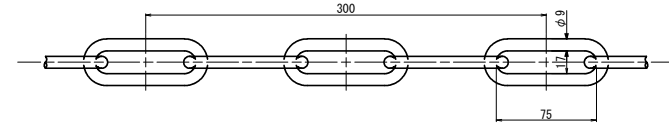
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.8 m)

参考図

ディスタンスキーパー構造図 S=1:4

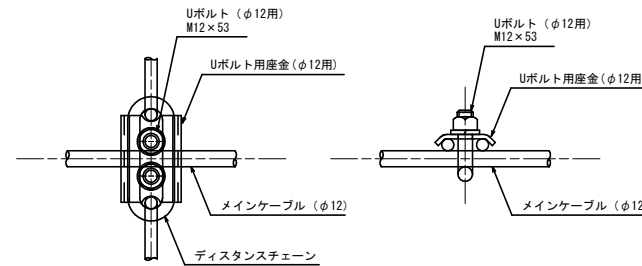
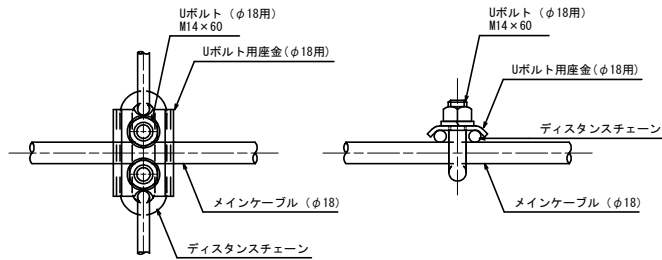


ディスタンスチェーン詳細図 S=1:2



ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

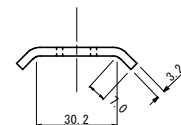
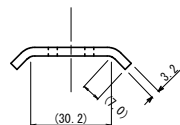
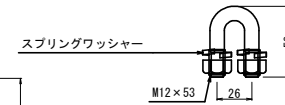
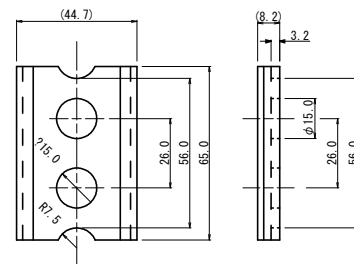
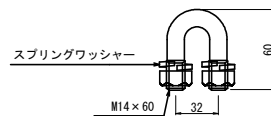
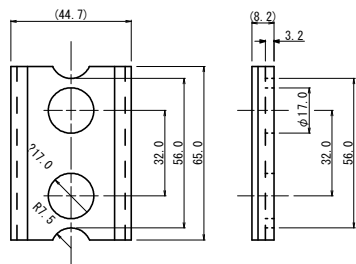


Uボルト用座金(φ18用)詳細図 S=1:1

Uボルト(φ18用)詳細図 S=1:2

Uボルト用座金(φ12用)詳細図 S=1:1

Uボルト(φ12用)詳細図 S=1:2

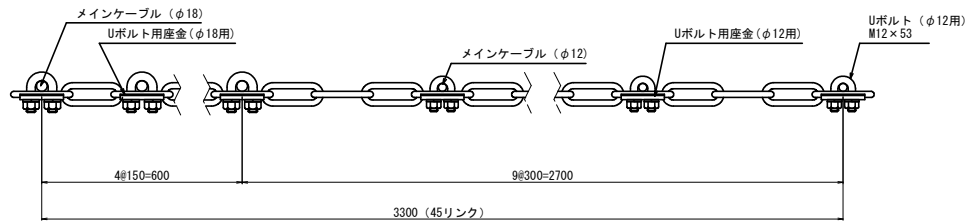


崩壊土砂防護柵部材詳細図(9)

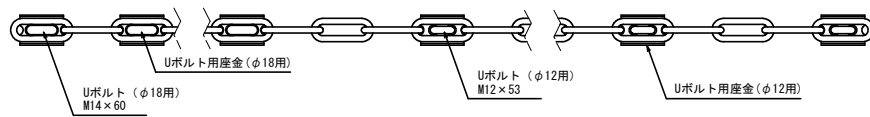
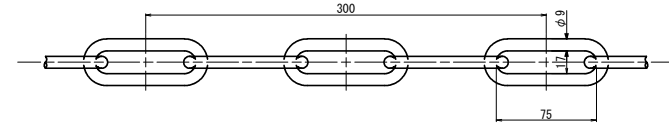
(スロープガードフェンス Eタイプ/柵高 H= 3.5 m
 <終点側区間>

参考図

ディスタンスキーパー構造図 S=1:4

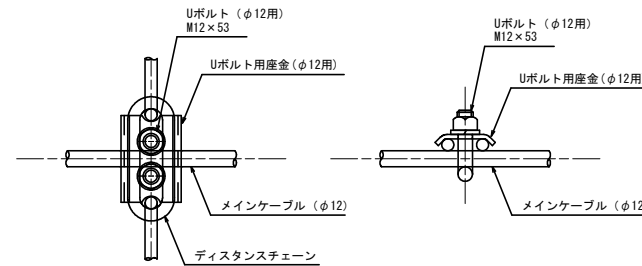
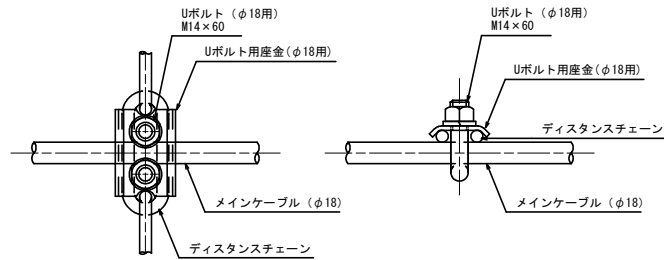


ディスタンスチェーン詳細図 S=1:2



ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

ディスタンスチェーン組合せ図 S=1:2

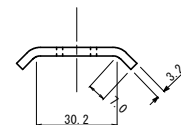
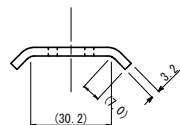
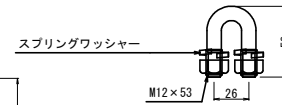
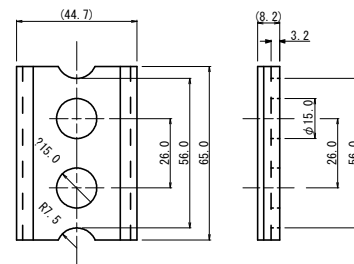
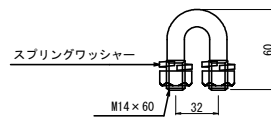
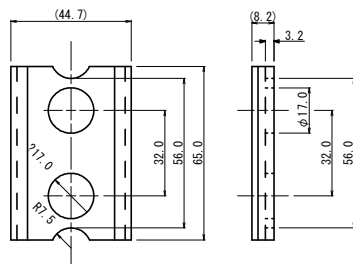


Uボルト用座金 (φ18用) 詳細図 S=1:1

Uボルト (φ18用) 詳細図 S=1:2

Uボルト用座金 (φ12用) 詳細図 S=1:1

Uボルト (φ12用) 詳細図 S=1:2

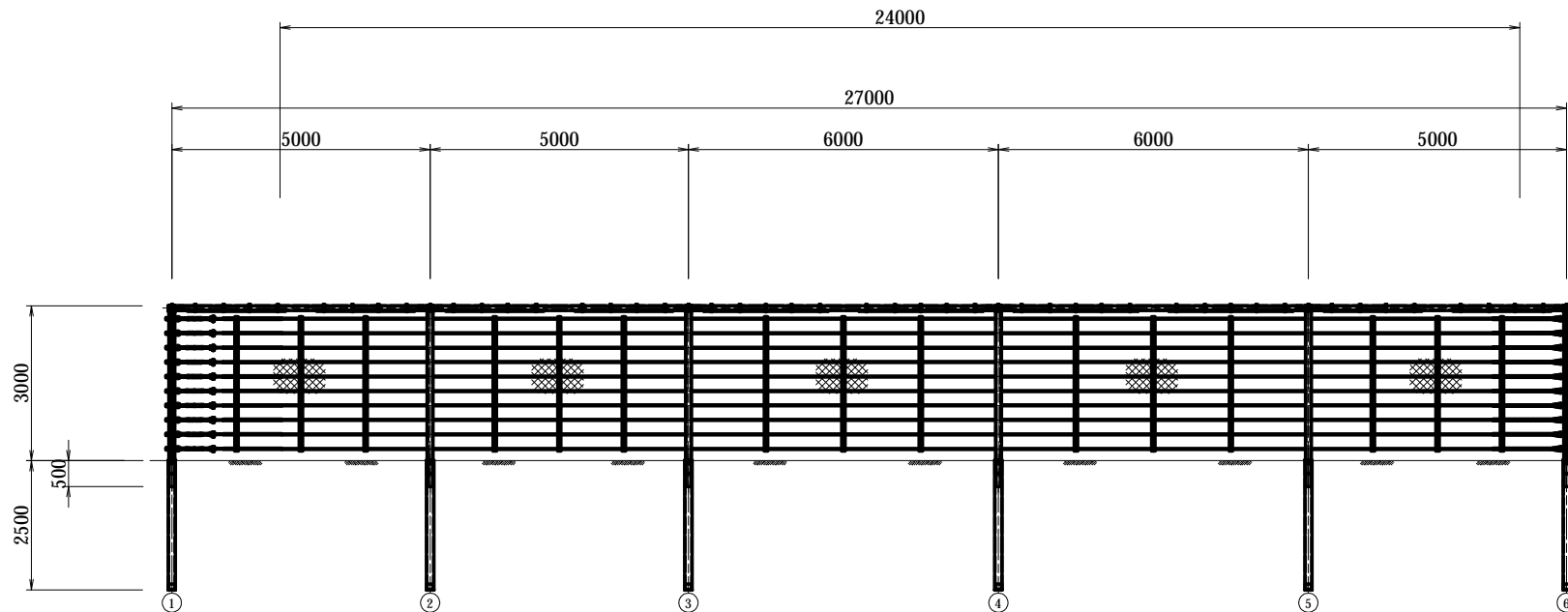


鋼管杭式落石防護柵展開図(1) S=1:50 【参考図】
区間①

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 φ0.18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×90 H=2.85m	m	26.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	4
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	2
	89.1φ×3.2-4748	本	3
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	15
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-2500	本	6
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m ²	28.9
結合コイル	3.2φ×50×300	個	52
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	27

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
1	-187,611.008	-79,675.880
2	-187,608.241	-79,680.044
3	-187,606.480	-79,684.724
4	-187,603.774	-79,690.079
5	-187,602.001	-79,695.811
6	-187,601.847	-79,700.808

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

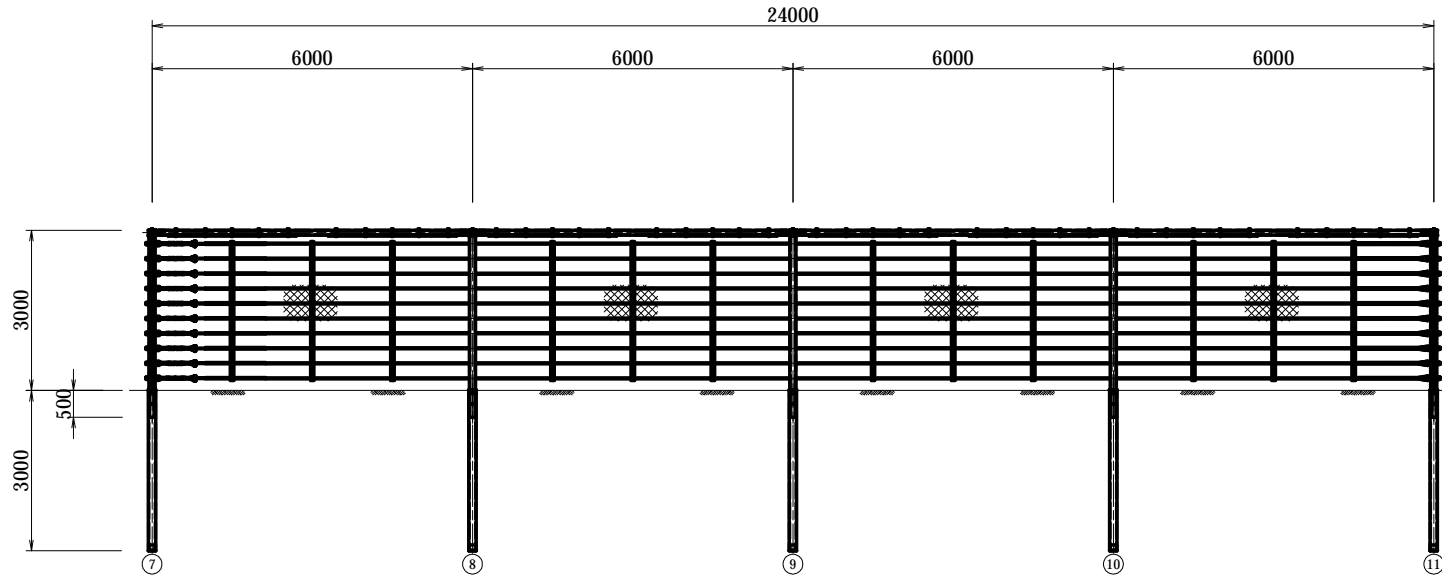
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵展開図(1)		
縮尺	1:50	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(2) S=1:50 【参考図】
区間②

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 φ0.18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	24.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	3
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	4
	89.1φ×3.2-4748	本	0
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	12
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-3000	本	5
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m ²	26.6
結合コイル	3.2φ×50×300	個	48
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	25

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
7	-187,599.244	-79,698.984
8	-187,597.295	-79,704.658
9	-187,595.250	-79,710.301
10	-187,593.541	-79,716.051
11	-187,592.627	-79,721.982

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

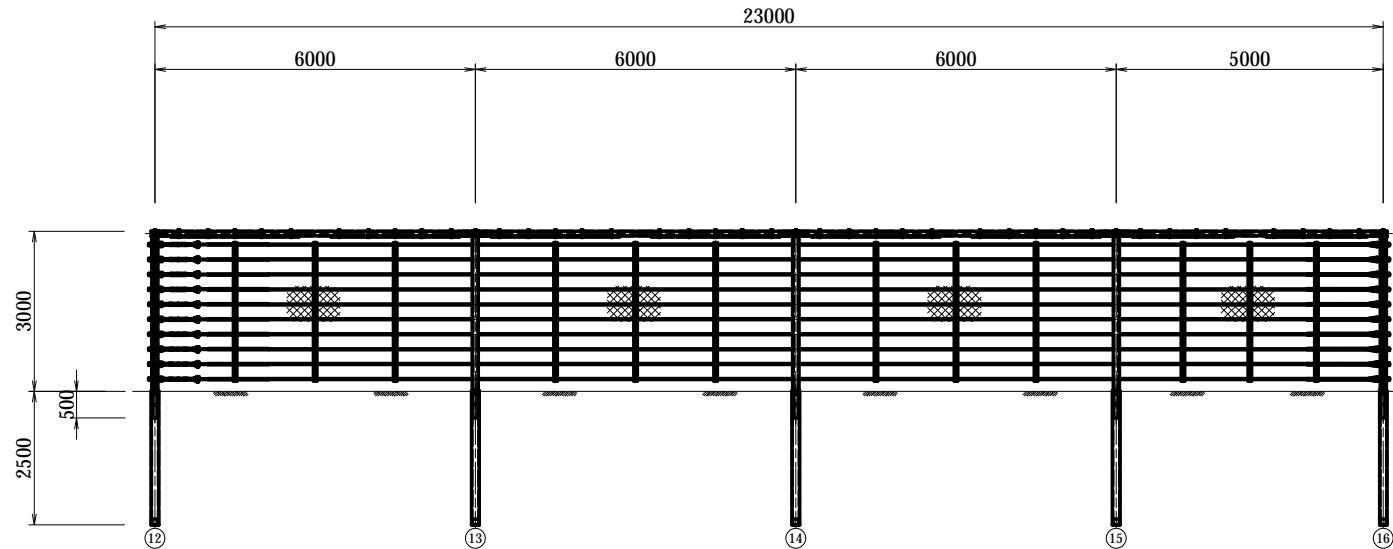
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵展開図(2)		
縮尺	1:50	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(3) S=1:50 【参考図】
区間③

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 φ0.18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	23.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	3
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	3
	89.1φ×3.2-4748	本	1
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	12
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-2500	本	5
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m ²	25.5
結合コイル	3.2φ×50×300	個	46
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	24

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
12	-187,990.997	-79,720.482
13	-187,989.317	-79,726.242
14	-187,987.637	-79,732.002
15	-187,986.519	-79,737.897
16	-187,984.516	-79,742.479

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

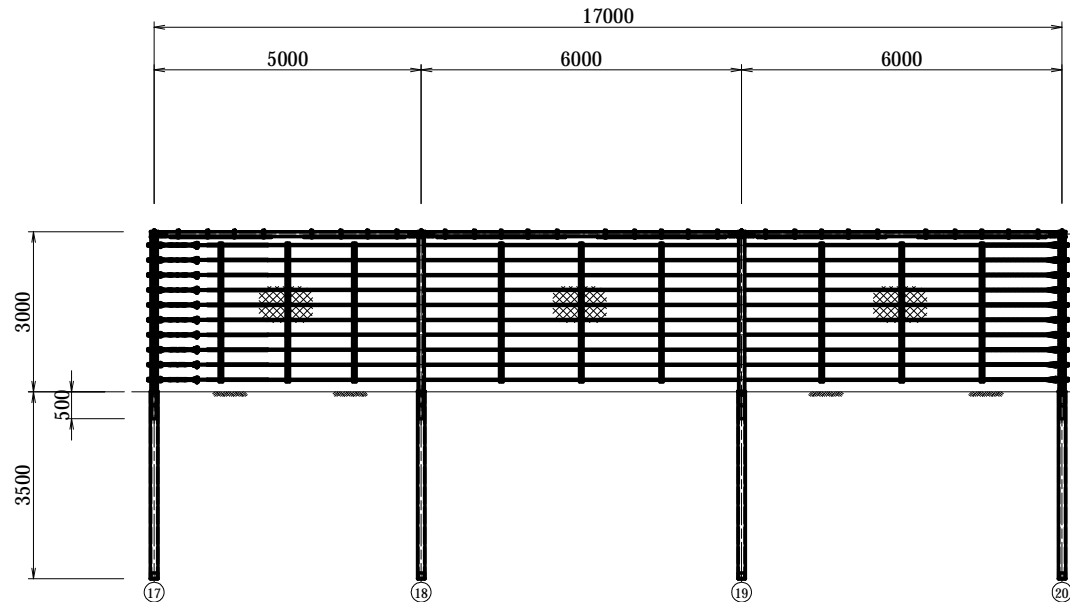
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵展開図(3)		
縮尺	1:50	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(4) S=1:50 【参考図】
区間④

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 6.0 18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	17.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	2
	89.1φ×3.2-4748	本	1
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	9
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-3500	本	4
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m ²	18.9
結合コイル	3.2φ×50×300	個	34
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	18

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
17	-187,989.525	-79,741.176
18	-187,985.430	-79,744.045
19	-187,983.478	-79,749.719
20	-187,981.527	-79,755.392

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

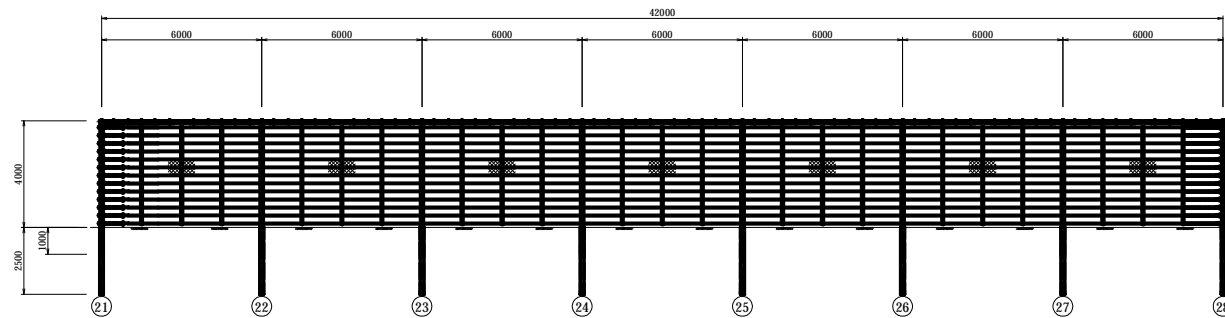
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵展開図(4)		
縮尺	1:50	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(5) S=1:50 【参考図】
区間⑤

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 G0.18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=3.85m	m	42.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-5000	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-5000	本	6
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	7
	89.1φ×3.2-4748	本	0
間隔保持材構成	PL-65×4.5-980	本	21
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-2500	本	8
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m ²	46.6
結合コイル	3.2φ×50×300	個	42
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	43

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
21	-187,980.368	-79,753.694
22	-187,927.999	-79,759.208
23	-187,925.633	-79,764.722
24	-187,922.976	-79,770.101
25	-187,920.140	-79,775.389
26	-187,918.069	-79,781.020
27	-187,915.634	-79,786.504
28	-187,913.199	-79,791.987

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

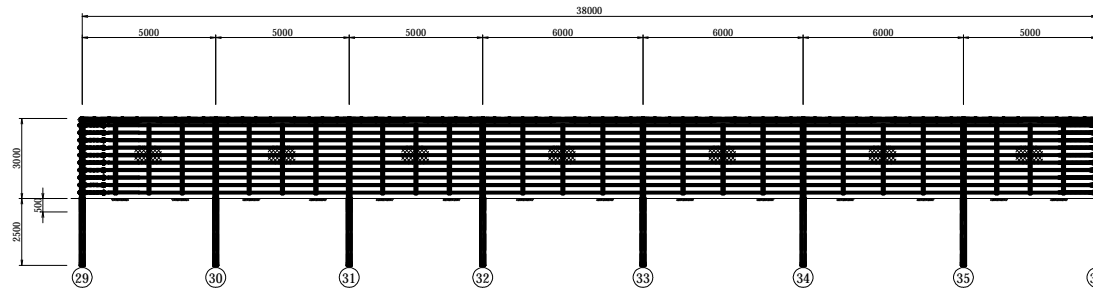
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵展開図(5)		
縮尺	1:100	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(6) S=1:100 【参考図】
区間⑥

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 6.0 18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	38.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	6
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	3
	89.1φ×3.2-4748	本	4
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	21
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-2500	本	8
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m ²	42.2
結合コイル	3.2φ×50×300	個	76
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	39

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
29	-187,914.001	-79,791.725
30	-187,911.446	-79,796.016
31	-187,908.992	-79,800.314
32	-187,906.337	-79,804.613
33	-187,903.216	-79,809.770
34	-187,900.749	-79,715.214
35	-187,898.263	-79,820.675
36	-187,896.192	-79,825.226

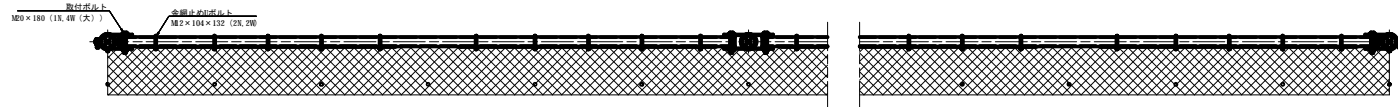
※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵展開図(6)		
縮尺	1:100	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵構造図(2) S=1:25 【参考図】
 (柵高3.0m、支柱間隔6.0m)

平面図 S=1/25

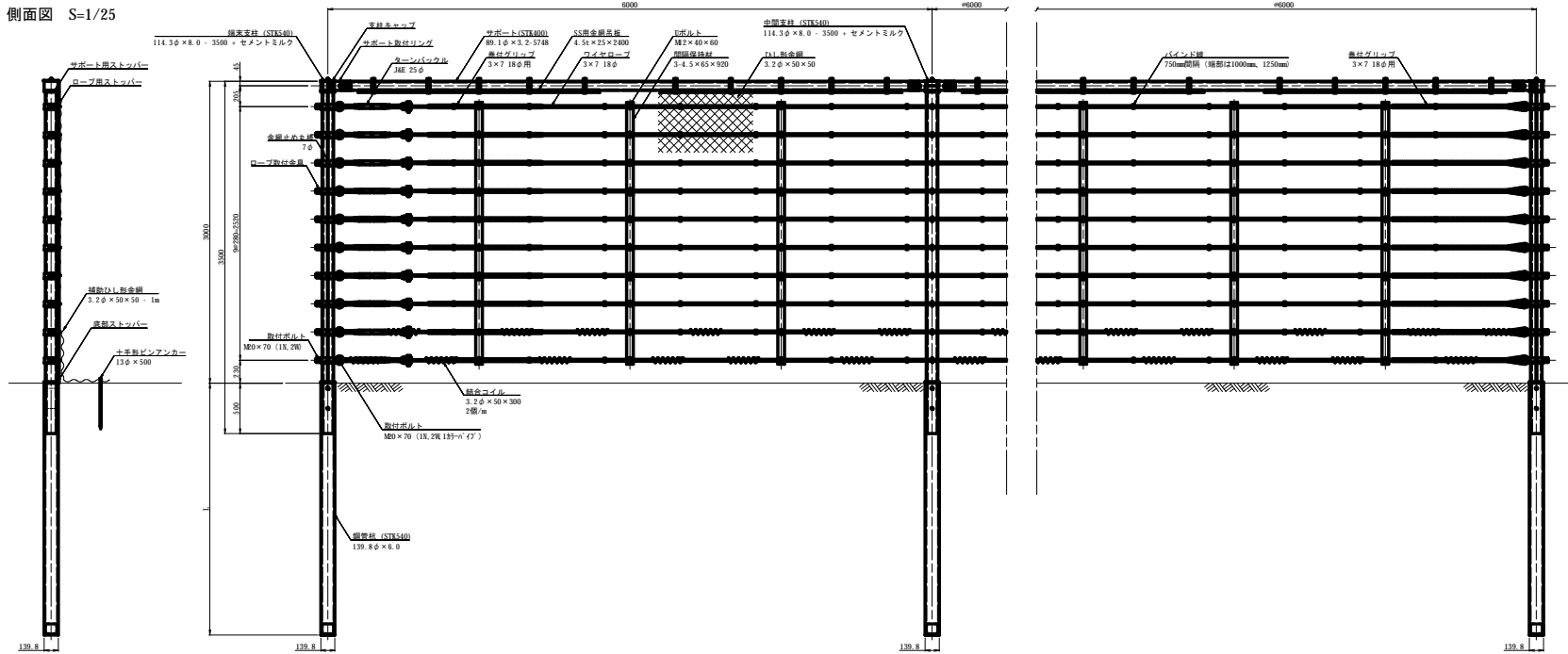
(道路側)



(山側)

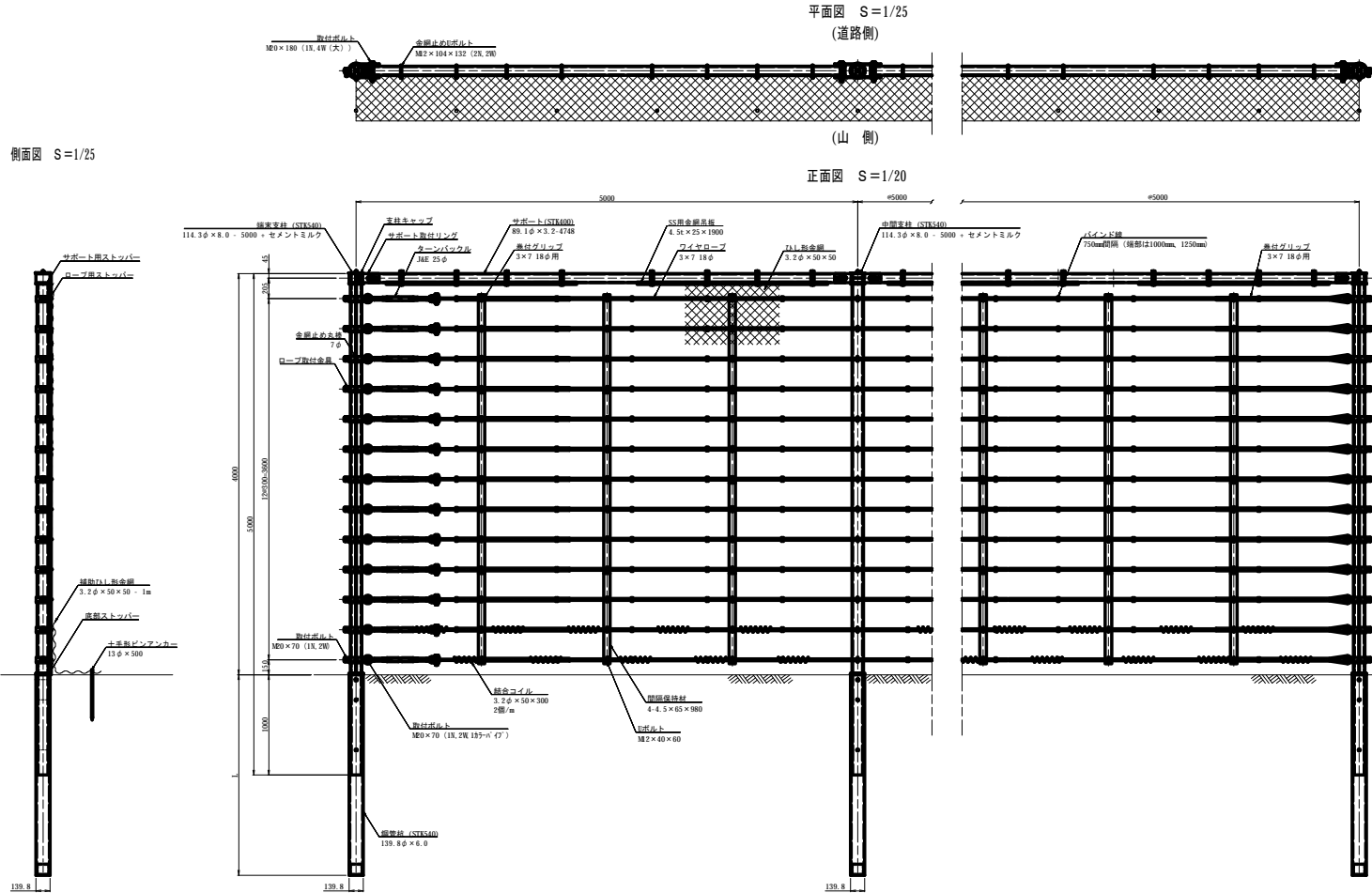
正面図 S=1/20

側面図 S=1/25



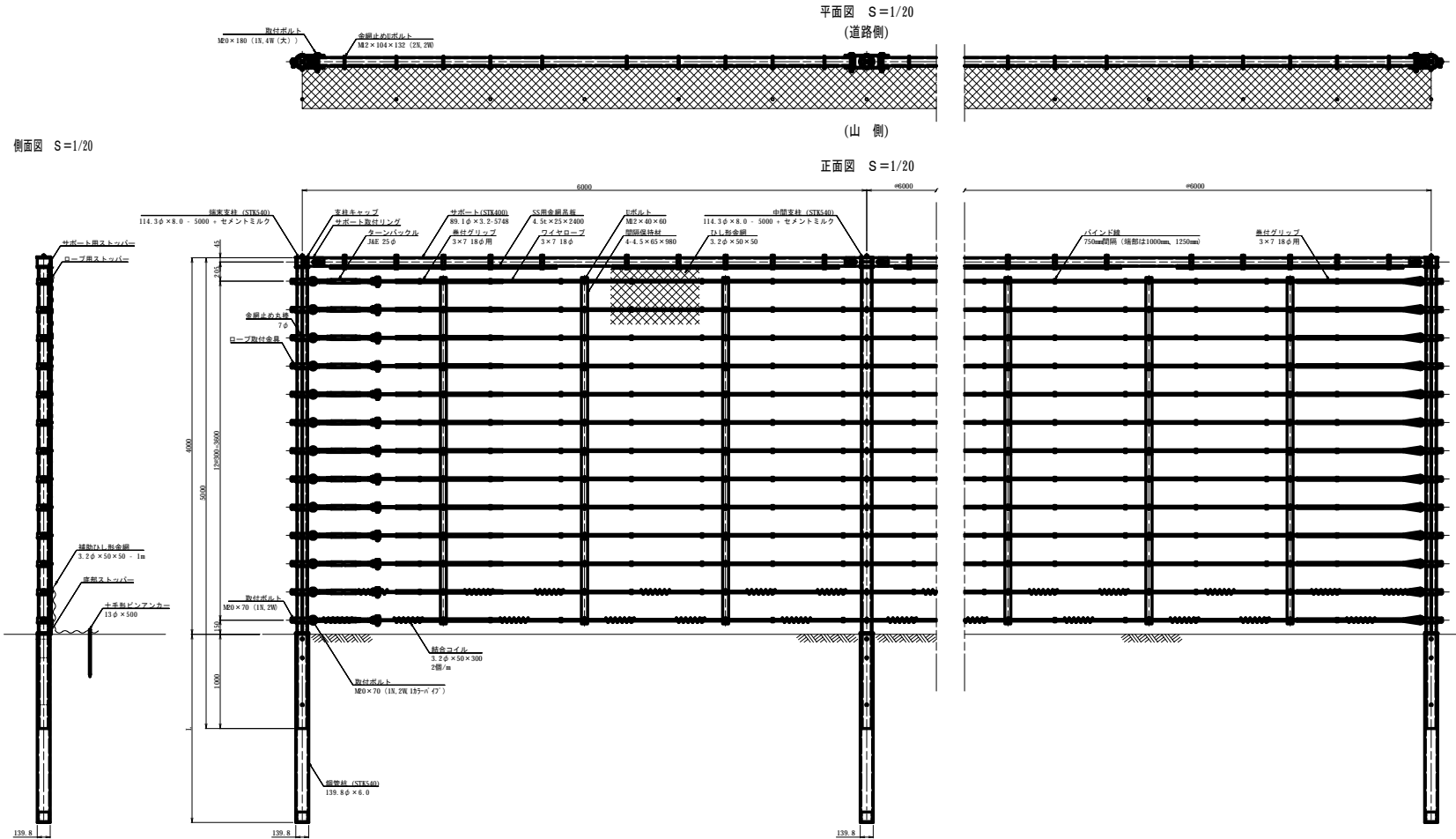
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵構造図(2)		
縮尺	1:25	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵構造図(3) S=1:25 【参考図】
 (柵高4.0m、支柱間隔5.0m)



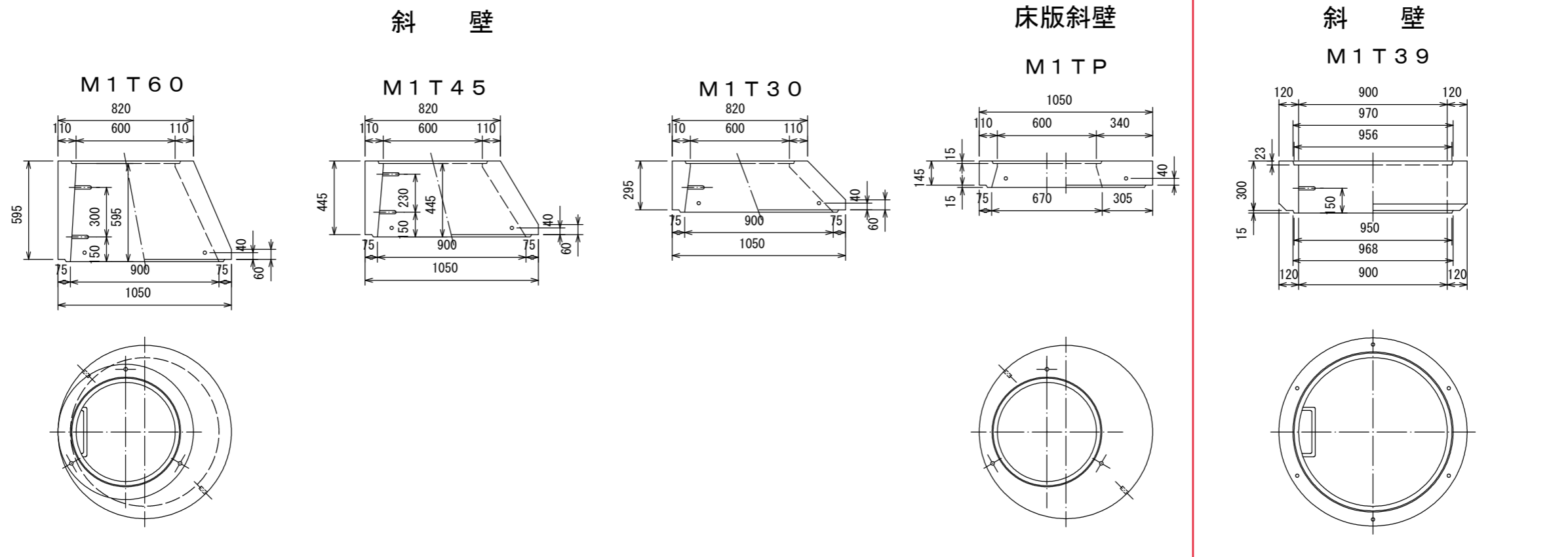
年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵構造図(3)		
縮尺	1:25	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

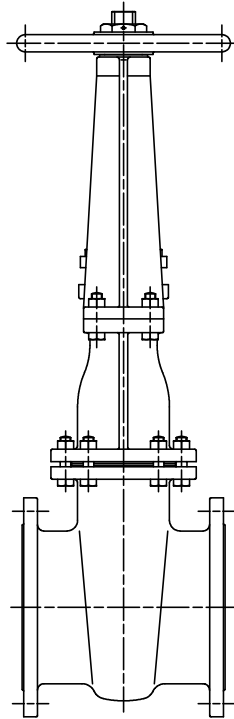
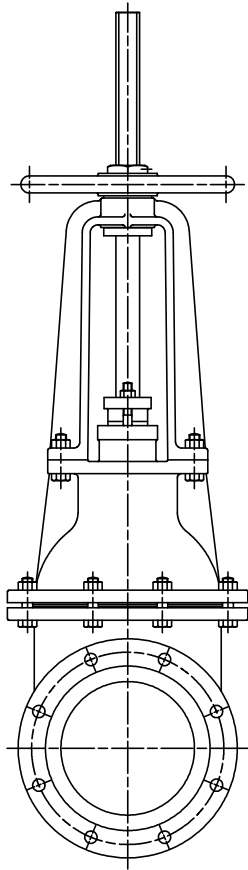
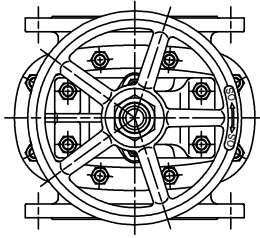
鋼管杭式落石防護柵構造図(4) S=1:25 【参考図】
 (柵高4.0m、支柱間隔6.0m)



年度		番号	/
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	鋼管杭式落石防護柵構造図(4)		
縮尺	1:25	作成年月	令和3年3月
大阪府岸和田土木事務所			

組立マンホール構造図 (内径 900mm)

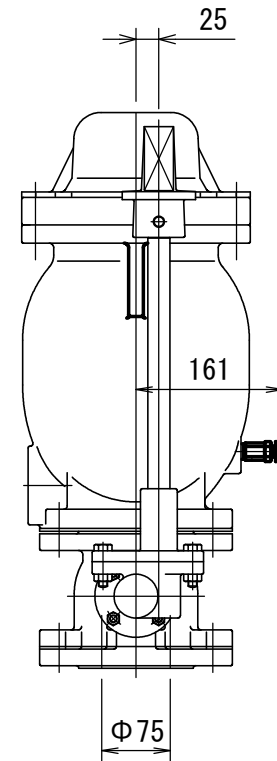
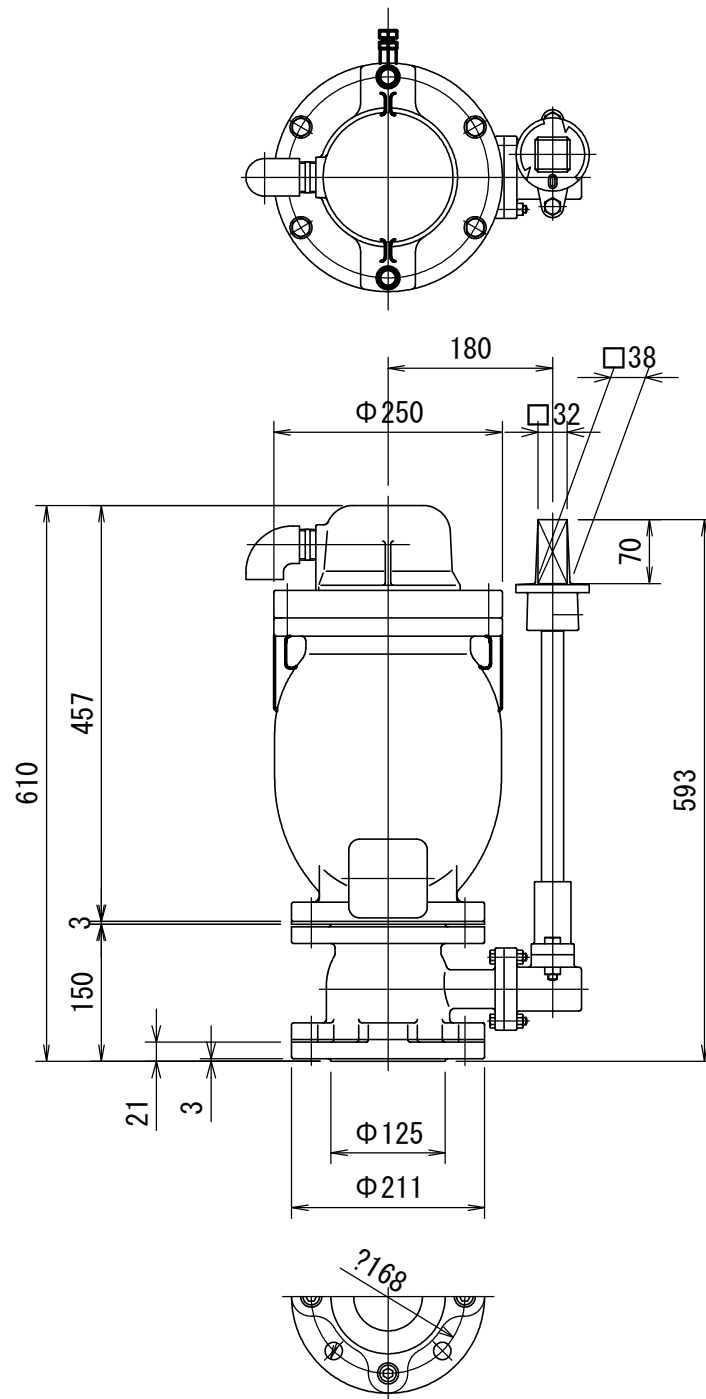




JIS B 2062 準拠 $\phi 250$
外ねじ仕切弁
SO-0125D/9

来歴 CAREER

符号 MARKS	改訂理由 ALTERATION	日付 DATE	担当 DESIGNED BY	承認 APPROVED BY
△				
△				
△				



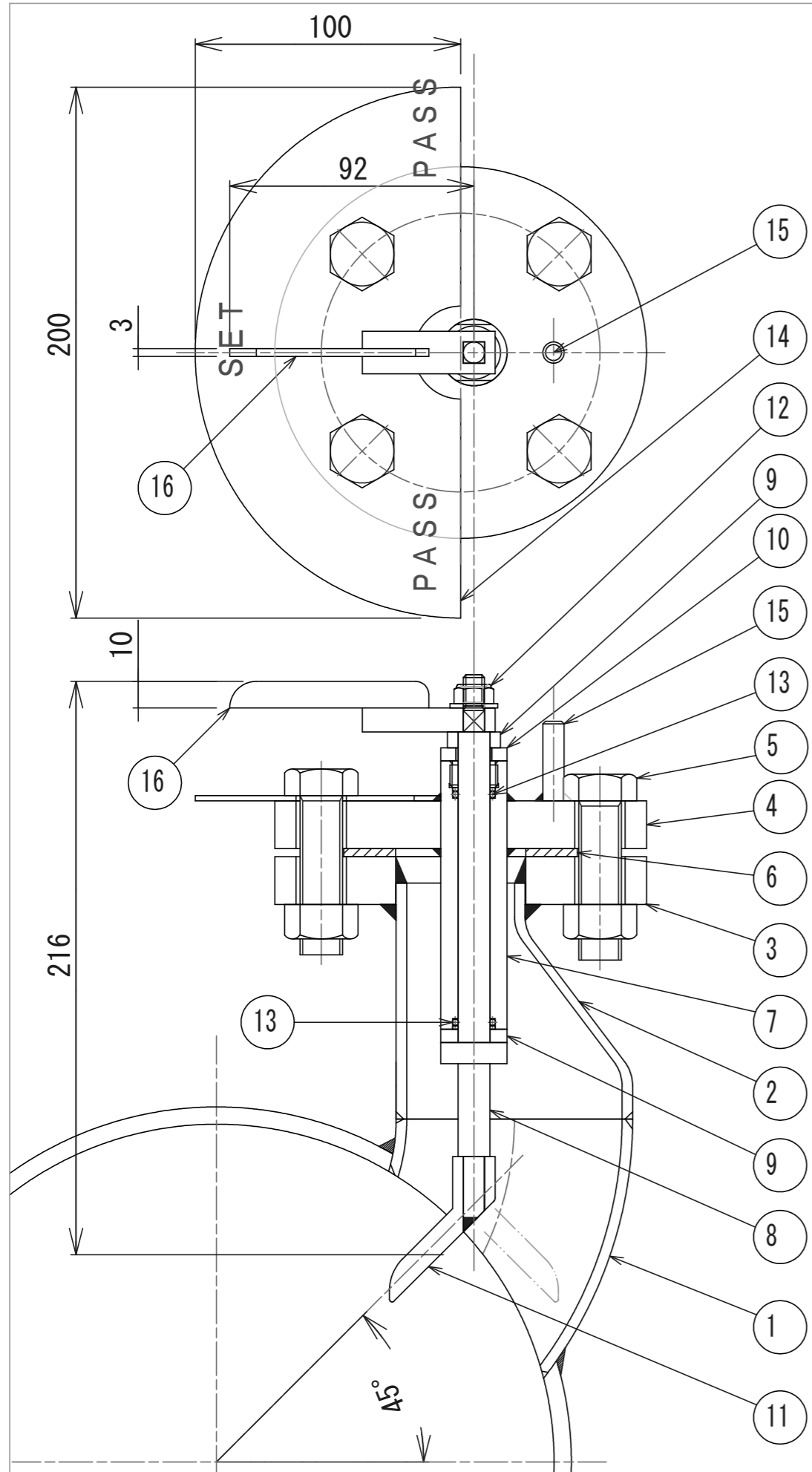
4-19ナリ

整番 FILE No.		製番 ORDER No.		
第三角法 THIRD ANGLE PROJECTION	日付 DATE	尺度 1:6 SCALE	形式 TYPE	納入先 CUSTOMER.
承認 APPROVED BY	検図 CHECKED BY	担当 DESIGNED BY	製図 DRAWN BY	所属
			図名 TITLE 下水用空気弁組立図	
			図番 DWG. No.	

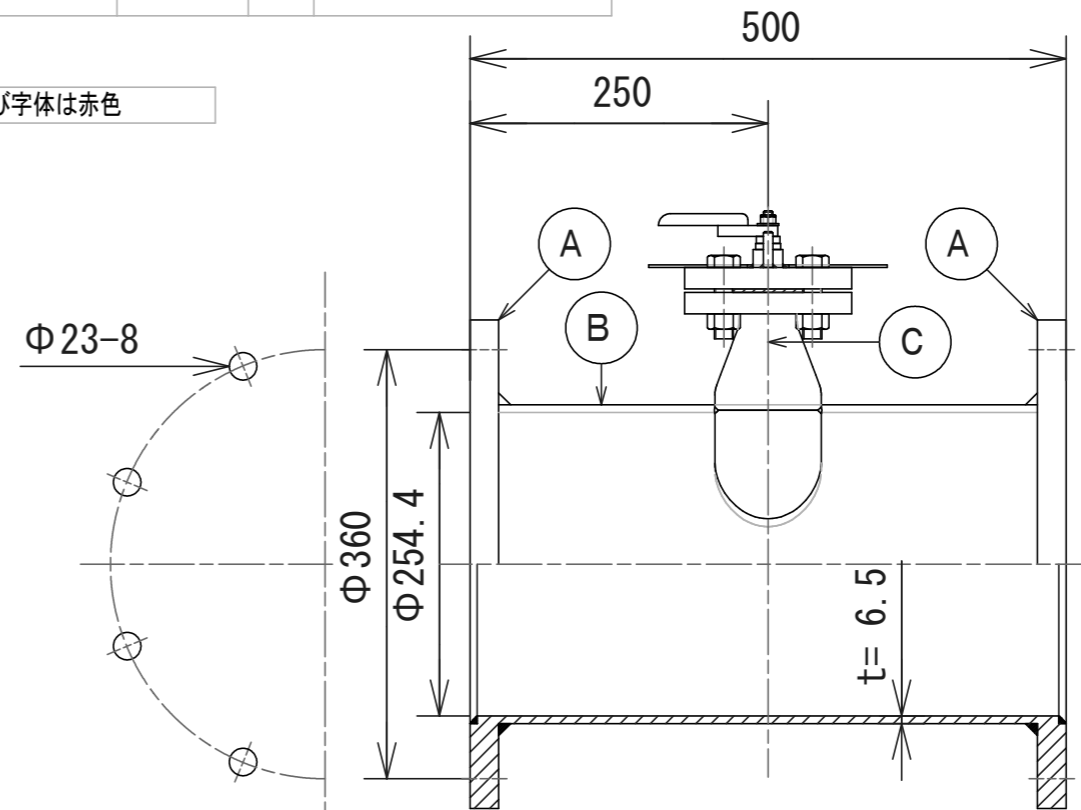
新規_39

ノズルリスト				
番号	名称	材質	数量	備考
A	φ250 フランジ	SUS304	2	水協規格7.5k FF PL
B	φ250 パイプ	SUS304	1	SCH 20S
C	ピグ通過検知部	SUS304	1	

設計条件	
設計圧力	0.74 MPa
試験圧力	水圧 (耐圧) 1.11 MPa, 気密無し
表面処理	内外面 酸洗い



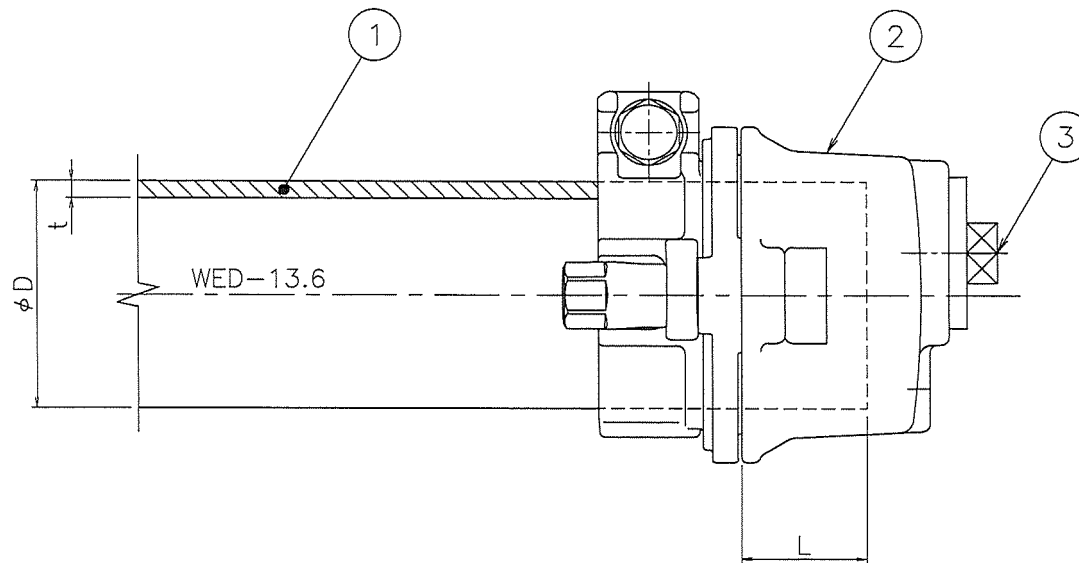
指針及び字体は赤色



16	指針	SUS304	1	
15	ストッパー	SUS304	1	φ8×30L
14	大型表示板	SUS304	1	2t
13	“O”リング	パイトン	2	
12	U-ナット	SUS304	1	M8 W付
11	検出爪		1	
10	プラグ	SUS304	1	
9	ワッシャ	テフロン	2	
8	回転軸	SUS304	1	
7	スリーブ	SUS304	1	
6	パッキン	テフロン	1	3t
5	ポルト・ナット	SUS304	4	M16×65L
4	カバーフランジ		1	40A JIS 20K
3	ノズルフランジ		1	40A JIS 20K
2	保護管		1	80A×40A RESCH20
1	保護管	SUS304	1	80A SCH20 45° ロング

番号	名称	材質	数量	備考
客先名				製作数
				1台
工事件名				図面番号
機器名称				縮尺
ピグ通過確認装置				通過検知部 : NONE 通過確認装置 : 1/6
照査	担当	製図	設計年月日	

参考図



- 下水道用
- 設計内圧 : 0.75MPa
- 使用流体温度 : 40℃以下

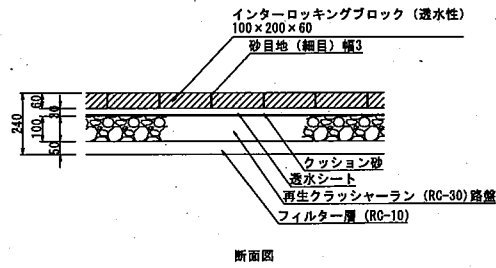
呼び径	ϕD	t	L	プラグサイズ
W40	50	3.7	22	25A
W50	63	4.7	43	
W75	90	6.7	49	50A
W100	125	9.2	63	

3	プラグ	—	—	
2	スッポンジョイント	鋳物	1	
1	導管	高密度PE(二層)	—	管構成材
品番	品名	材質	数量	記事

構造図 (17)

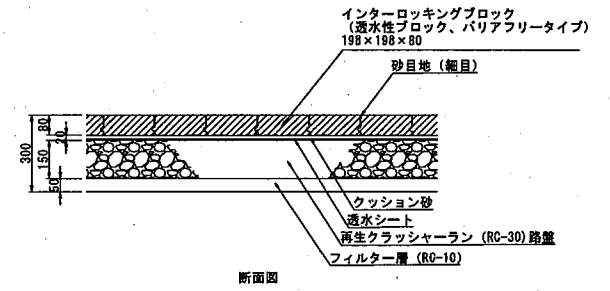
透水性インターロッキング舗装-1a

S=1:10



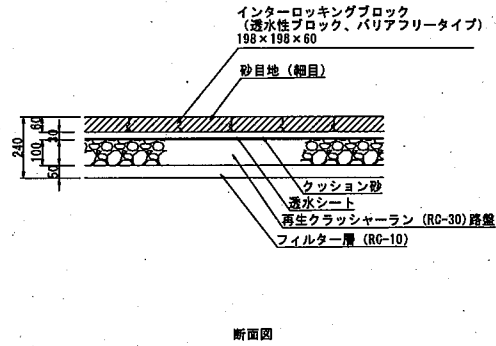
透水性インターロッキング舗装-2

S=1:10



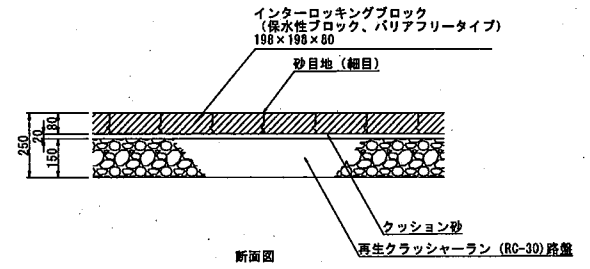
透水性インターロッキング舗装-1b

S=1:10



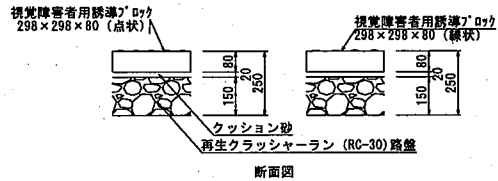
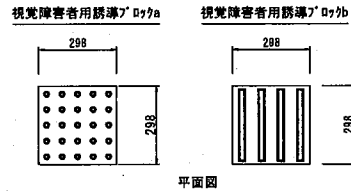
保水性インターロッキング舗装

S=1:10

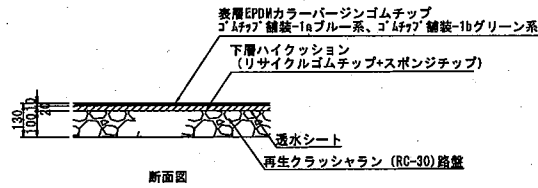


構造図 (18)

視覚障がい者用誘導ブロック a, b
S=1:10



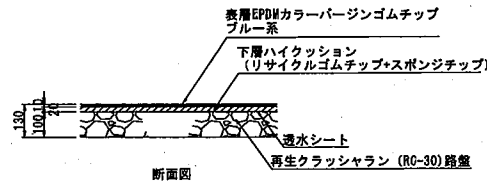
ゴムチップ舗装-1a, 1b
S=1:20



特記仕様

- ・透水シートは、透水係数 10^{-2} (cm/sec) 以上、引張り強さ 245N/5cm以上 (JIS L 1096) とする。
- ・(一社) 日本公園施設業協会、SP Lマーク表示認定製品とする。
- ・(一社) 日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

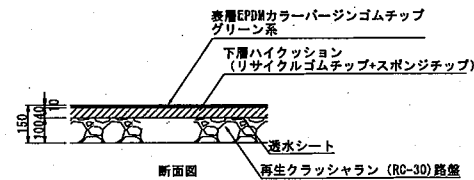
ゴムチップ舗装-2
S=1:20



特記仕様

- ・透水シートは、透水係数 10^{-2} (cm/sec) 以上、引張り強さ 245N/5cm以上 (JIS L 1096) とする。
- ・(一社) 日本公園施設業協会、SP Lマーク表示認定製品とする。
- ・(一社) 日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

ゴムチップ舗装-3
S=1:20

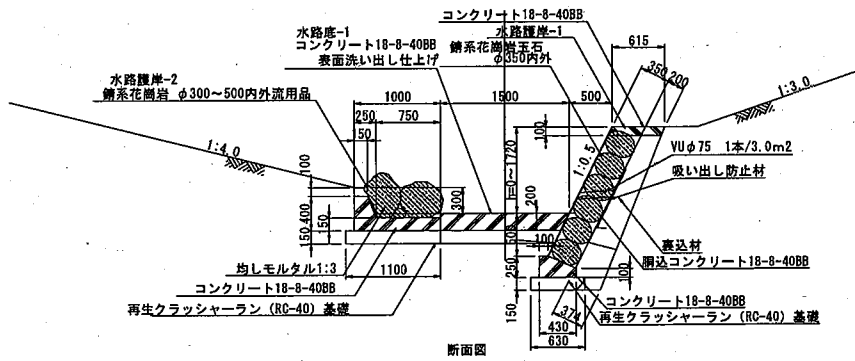


特記仕様

- ・透水シートは、透水係数 10^{-2} (cm/sec) 以上、引張り強さ 245N/5cm以上 (JIS L 1096) とする。
- ・(一社) 日本公園施設業協会、SP Lマーク表示認定製品とする。
- ・(一社) 日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

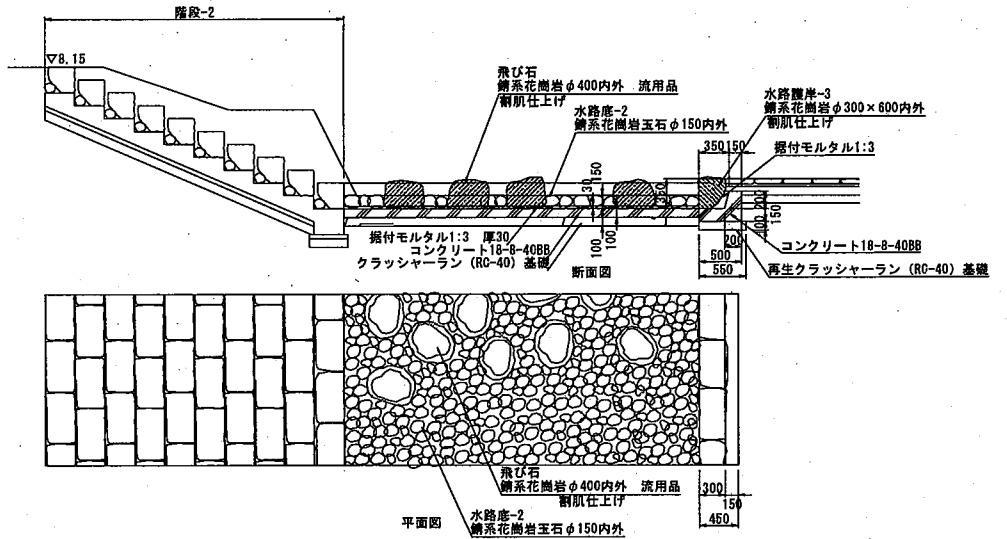
構造図 (30)

水路護岸-1、-2、水路底-1
S=1:30



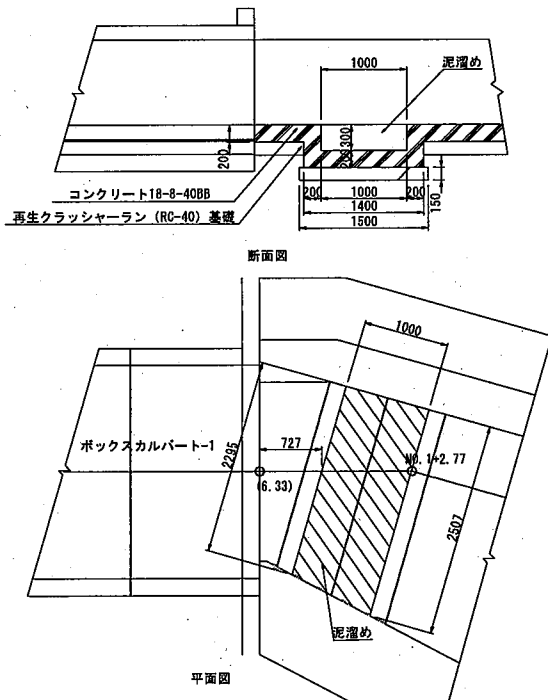
- 特記仕様
- 水路護岸-1、-2の伸縮目地は樹脂発泡体 t=10とし、 ϕ 10.0mを標準とする。
 - 水路底-1の伸縮目地は杉板t9mmとし、 ϕ 5.0mを標準とする。

水路護岸-3、水路底-2、飛び石
S=1:30

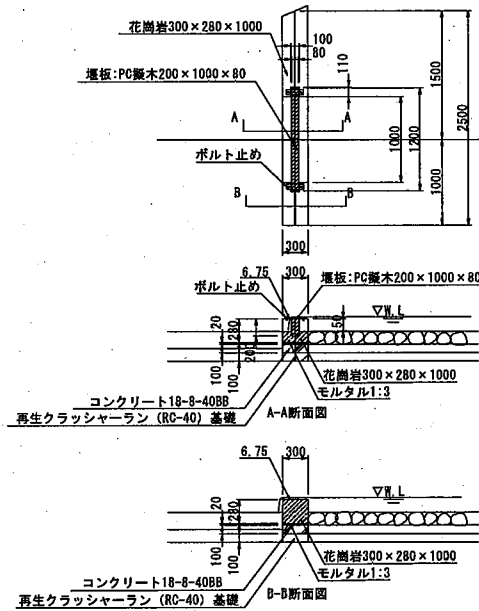


- 特記仕様
- 水路護岸-3の伸縮目地は樹脂発泡体 t=10とし、 ϕ 10.0mを標準とする。
 - 水路底-2の伸縮目地は杉板t9mmとし、 ϕ 5.0mを標準とする。

泥溜め工
S=1:30

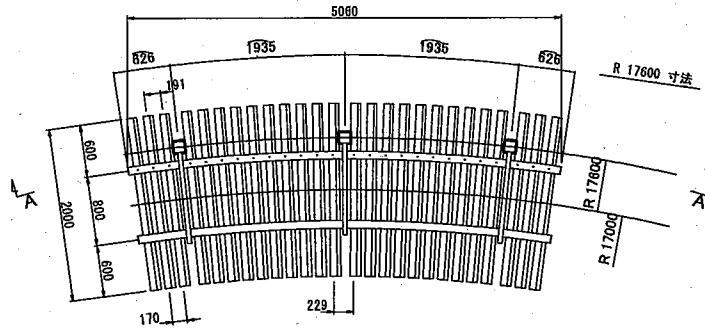


堰板工
S=1:30

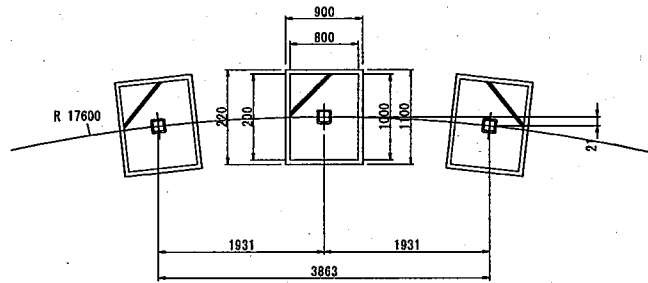


構造図 (56)

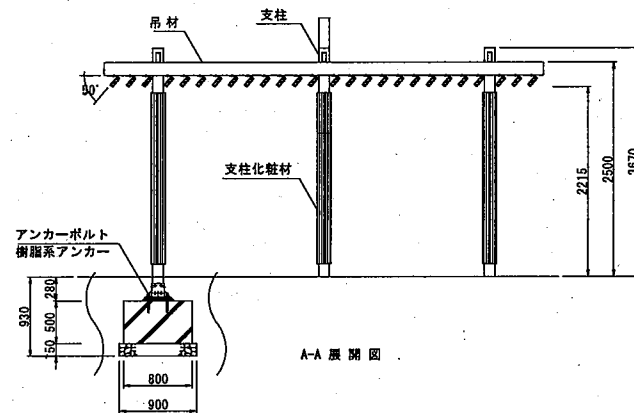
パーゴラ
S=1:30



平面図



基礎伏図

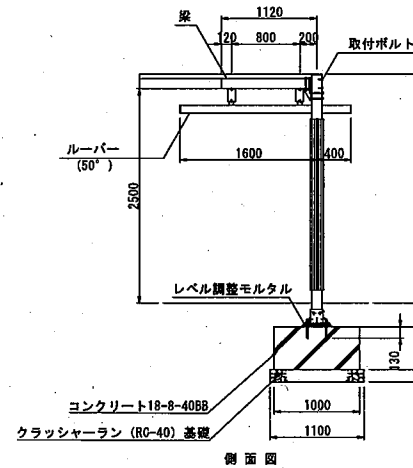
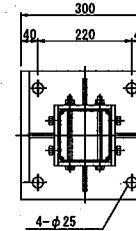


A-A 展開図

- | | | |
|---------|-----------------|--------------------|
| 支柱 | : □120×120×3.0t | A6006CS-T5 |
| 支柱化粧材 | : L75×75×20t | 再生木材 |
| ルーバー | : □120×40 | A6063S-T5 / 再生木材表層 |
| 吊材 | : [150×90×4.5t | A6005GS-T5 |
| 梁 | : □120×50 | A6005GS-T5 |
| 取付ボルト | : 六角穴付きボタンボルト | SUS M10 |
| アンカーボルト | : 全ネジボルト M16 | SS 400 M16 溶融亜鉛メッキ |

- ※ アルミ材は陽極酸化塗装複合皮膜 (マットブラウン色) とする。(芯材を除く)
- ※ 再生木材はサンディング仕上げ (ダークカラー) とする。
- ※ 製品は、メーカーの指定する損害賠償責任保険に加入しているものとする。
- ※ 改良の為、一部仕様変更する場合があります。

ベース部詳細

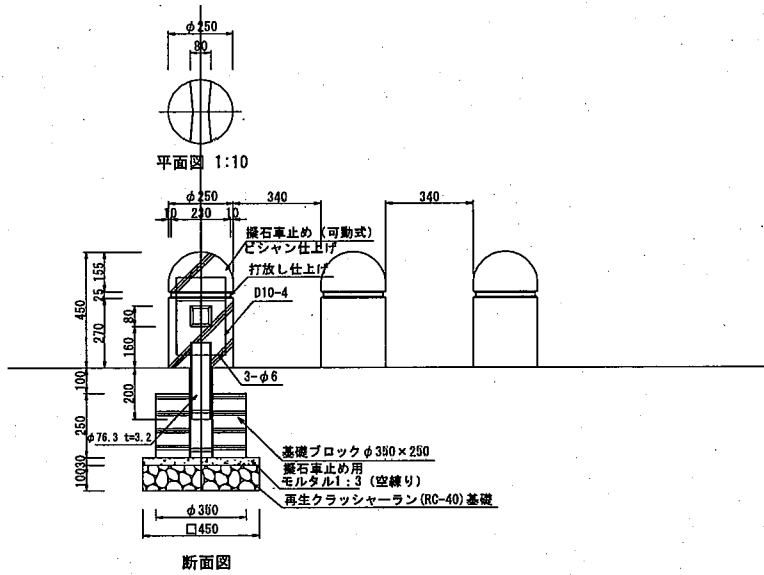


側面図

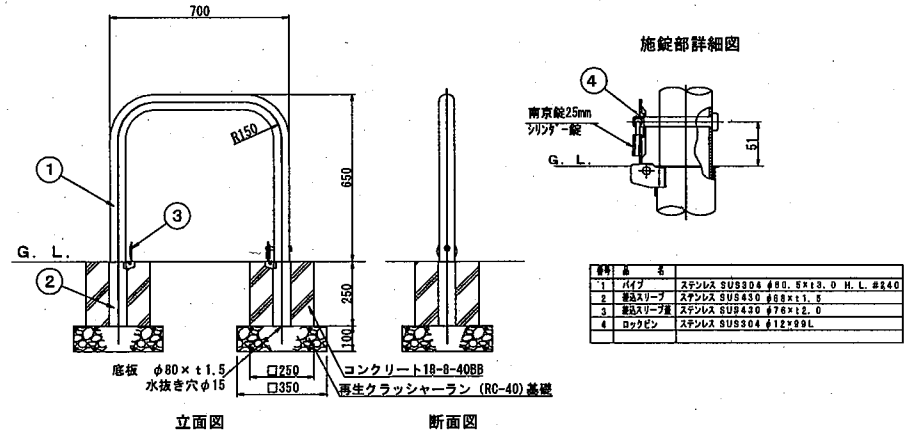
長期許容地耐力が50kN/m²以上の場所に設置すること。

構造図 (47)

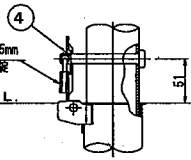
車止め-1
S=1:10



車止め-2
S=1:10

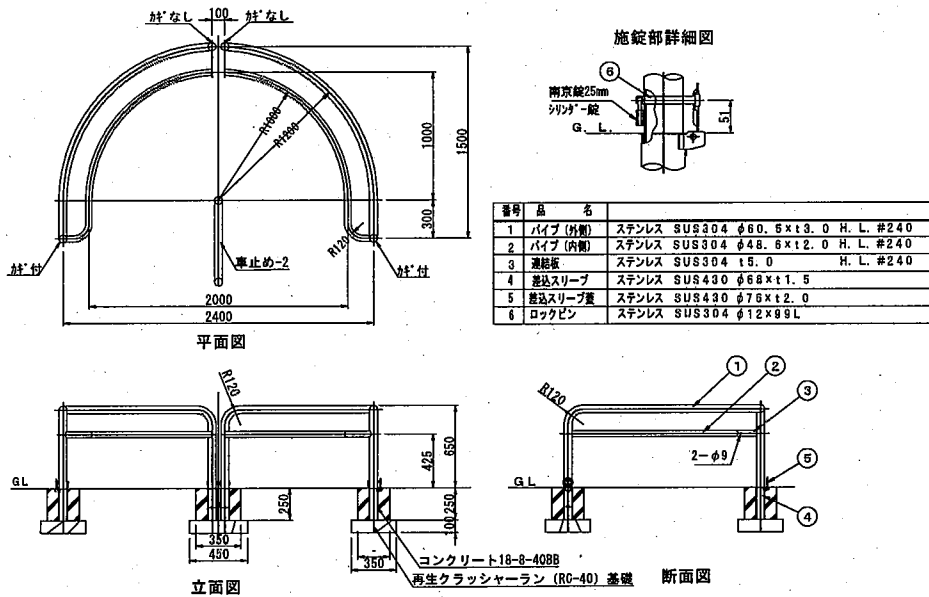


施錠部詳細図

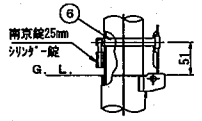


番号	品名	仕様
1	パイプ	ステンレス SUS304 φ80.5×t3.0 H.L.#240
2	差込スリーブ	ステンレス SUS430 φ68×t1.5
3	連結板	ステンレス SUS304 t5.0
4	ロッキピン	ステンレス SUS304 φ12×98L

車いすゲート
S=1:20

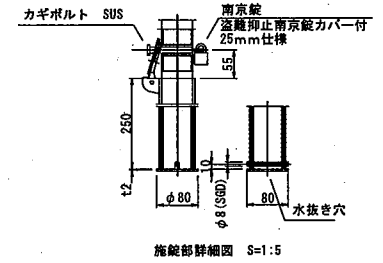
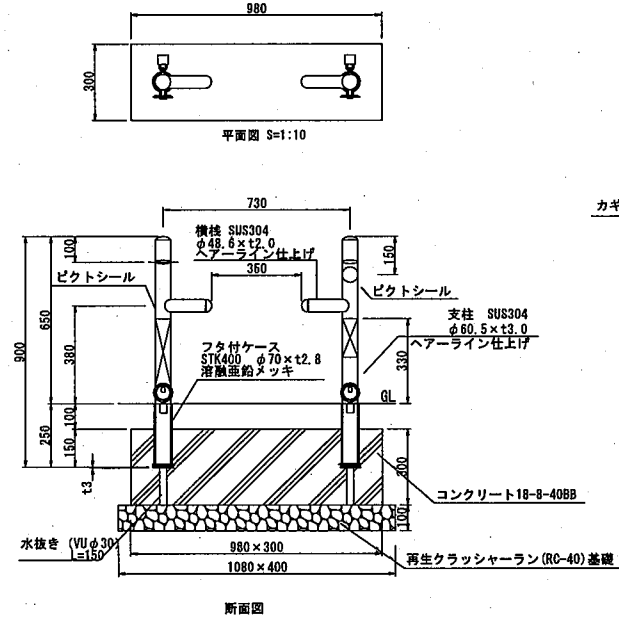


施錠部詳細図



番号	品名	仕様
1	パイプ(外側)	ステンレス SUS304 φ60.5×t3.0 H.L.#240
2	パイプ(内側)	ステンレス SUS304 φ48.6×t2.0 H.L.#240
3	連結板	ステンレス SUS304 t5.0 H.L.#240
4	差込スリーブ	ステンレス SUS430 φ68×t1.5
5	差込スリーブ	ステンレス SUS430 φ76×t2.0
6	ロッキピン	ステンレス SUS304 φ12×98L

自転車ゲート
S=1:10



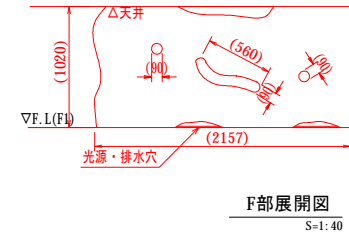
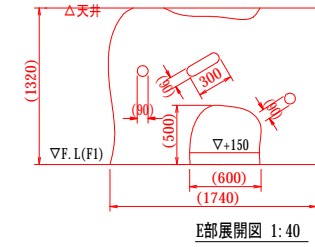
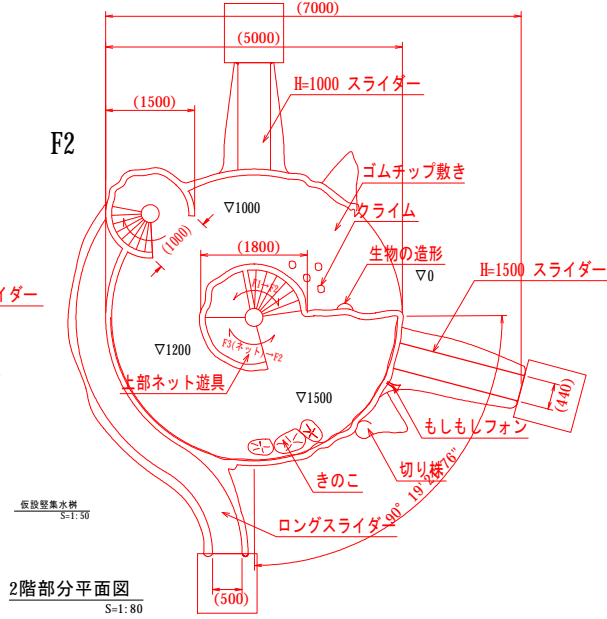
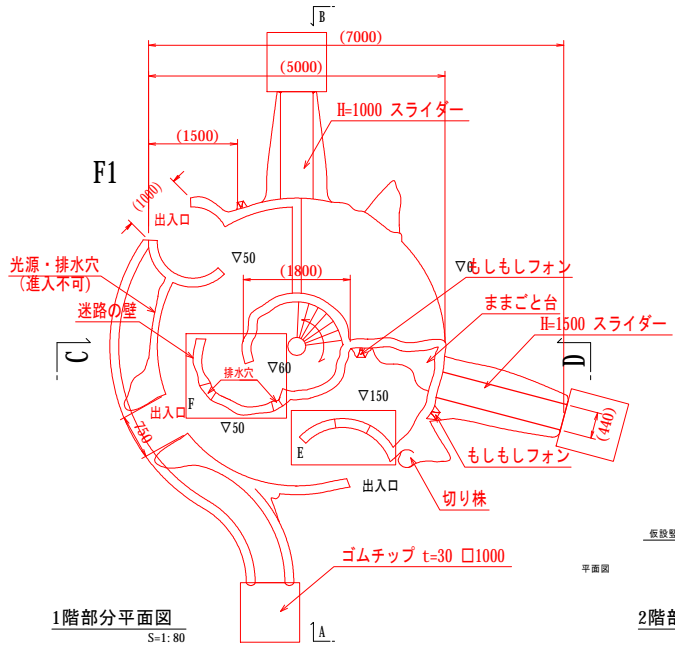
遊戯施設整備工事構造図
 (複合遊具 (1)) S-図示

総重量68587kg

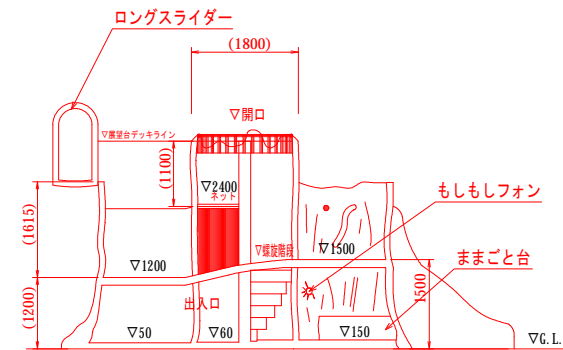
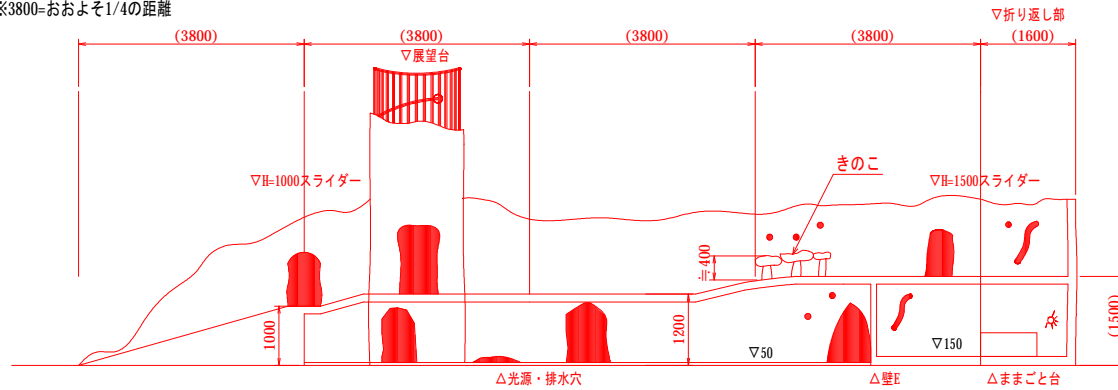
条件: 地耐力5.0kN/m²の支持地盤確認の上施工を行う事

仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP-SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする

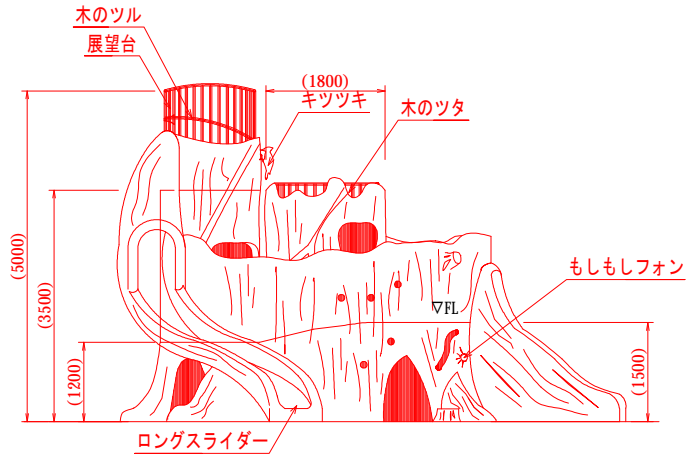


※3800=およそ1/4の距離



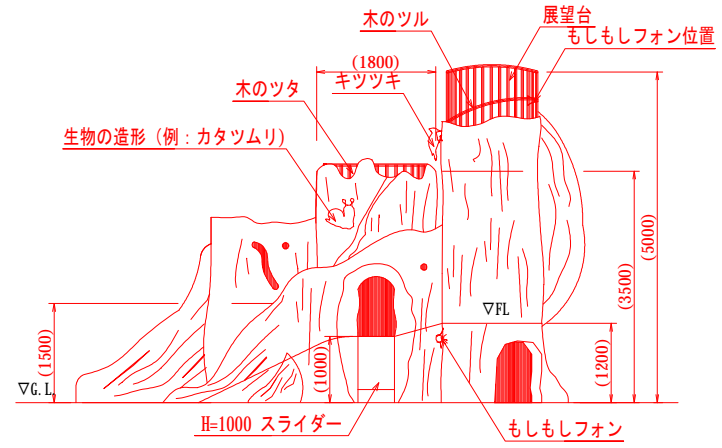
遊戯施設整備工構造図

(複合遊具 (2))



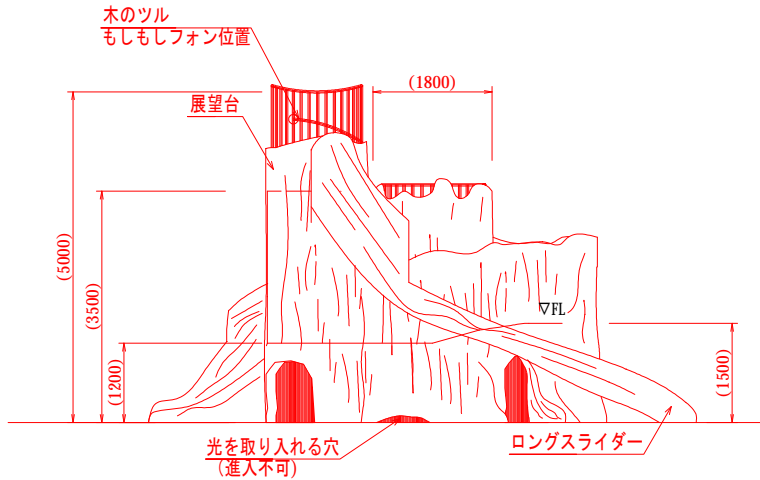
A視立面図

S=1:80



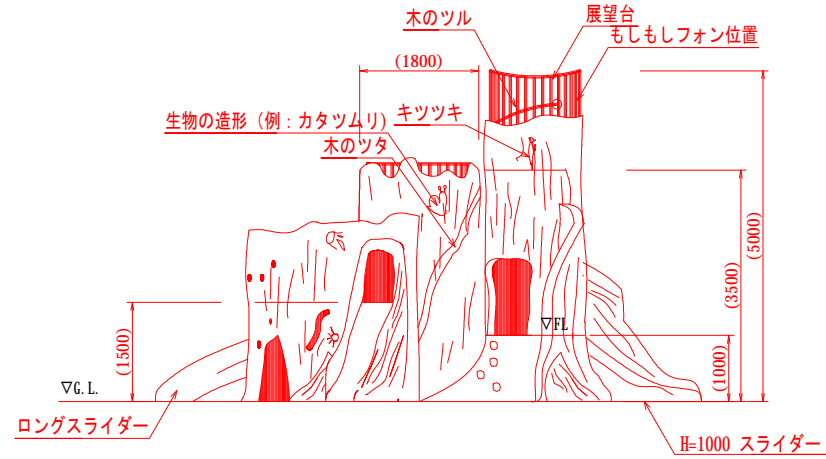
B視立面図

S=1:80



C視立面図

S=1:80



D視立面図

S=1:80

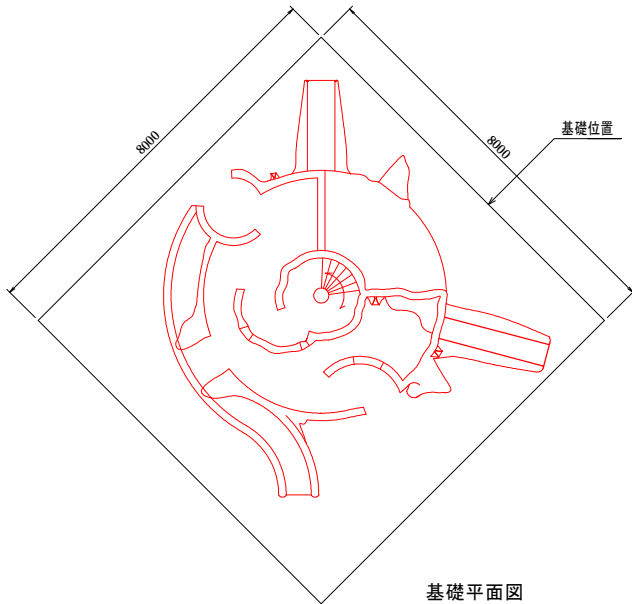
仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする

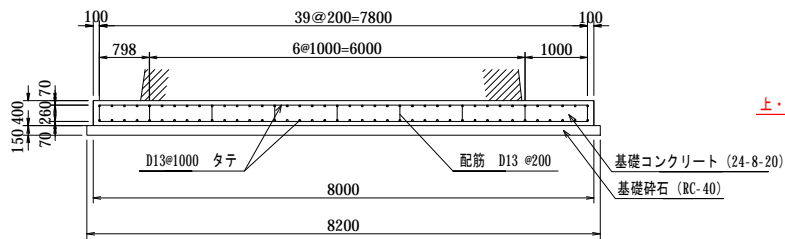
総重量68587kg

条件： 地耐力50kN/m²の支持地盤確認の上施工を行う事

遊戯施設整備工構造図
(複合遊具 (3)) S-図示



基礎平面図
S=1:100



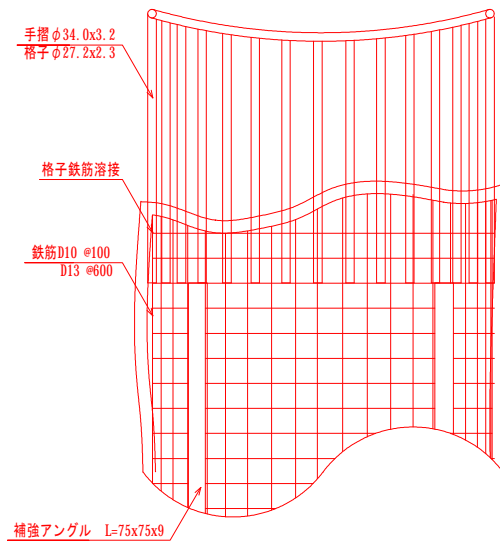
基礎工敷断面図 (A-A) 1:100

総重量68587kg

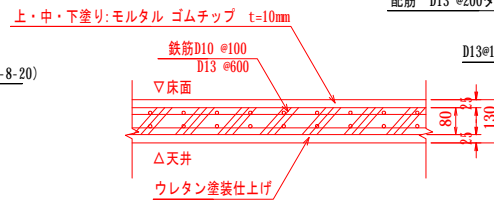
条件: 地耐力50KN/m²の支持地盤確認の上施工を行う事

仕様

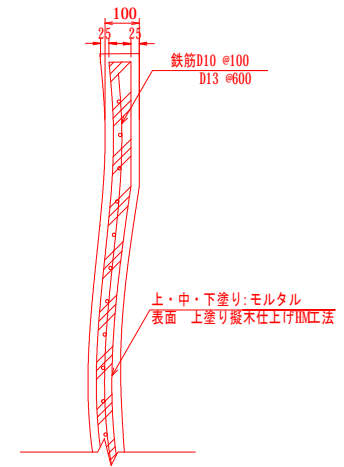
- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする



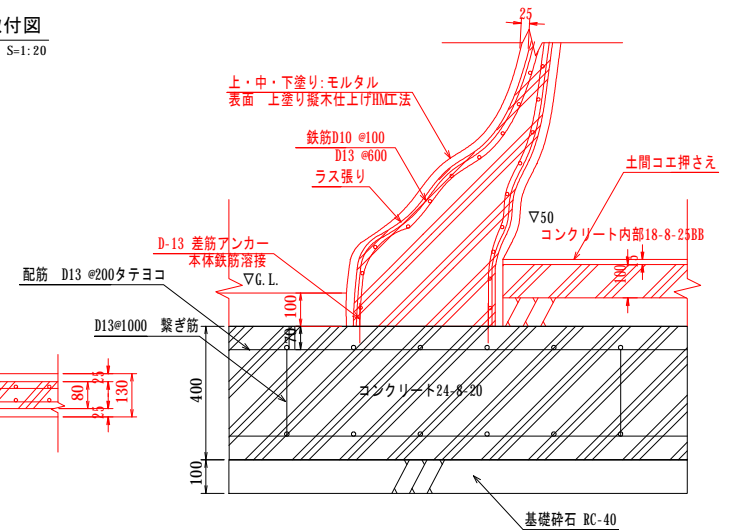
展望台デッキ取付図
S=1:20



天井・床 詳細図
S=1:15



上部壁部詳細図
S=1:15



地階詳細図
S=1:15

遊戯施設整備工構造図

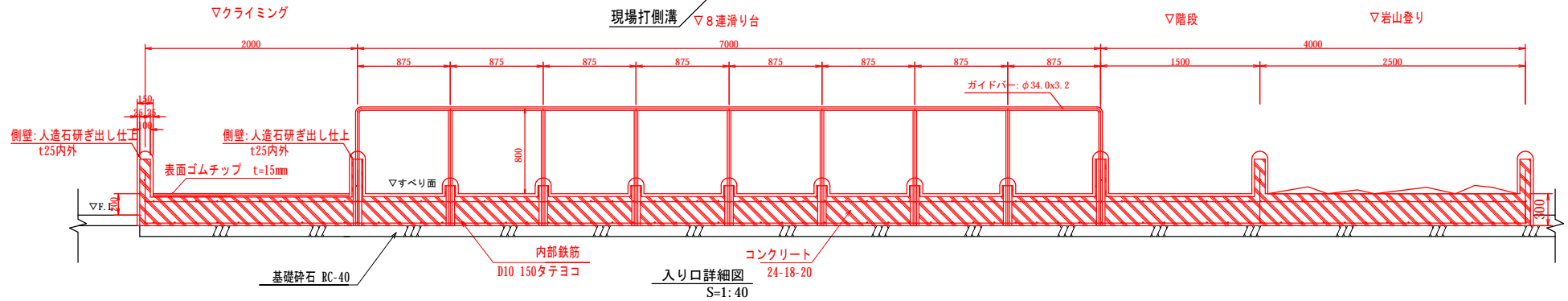
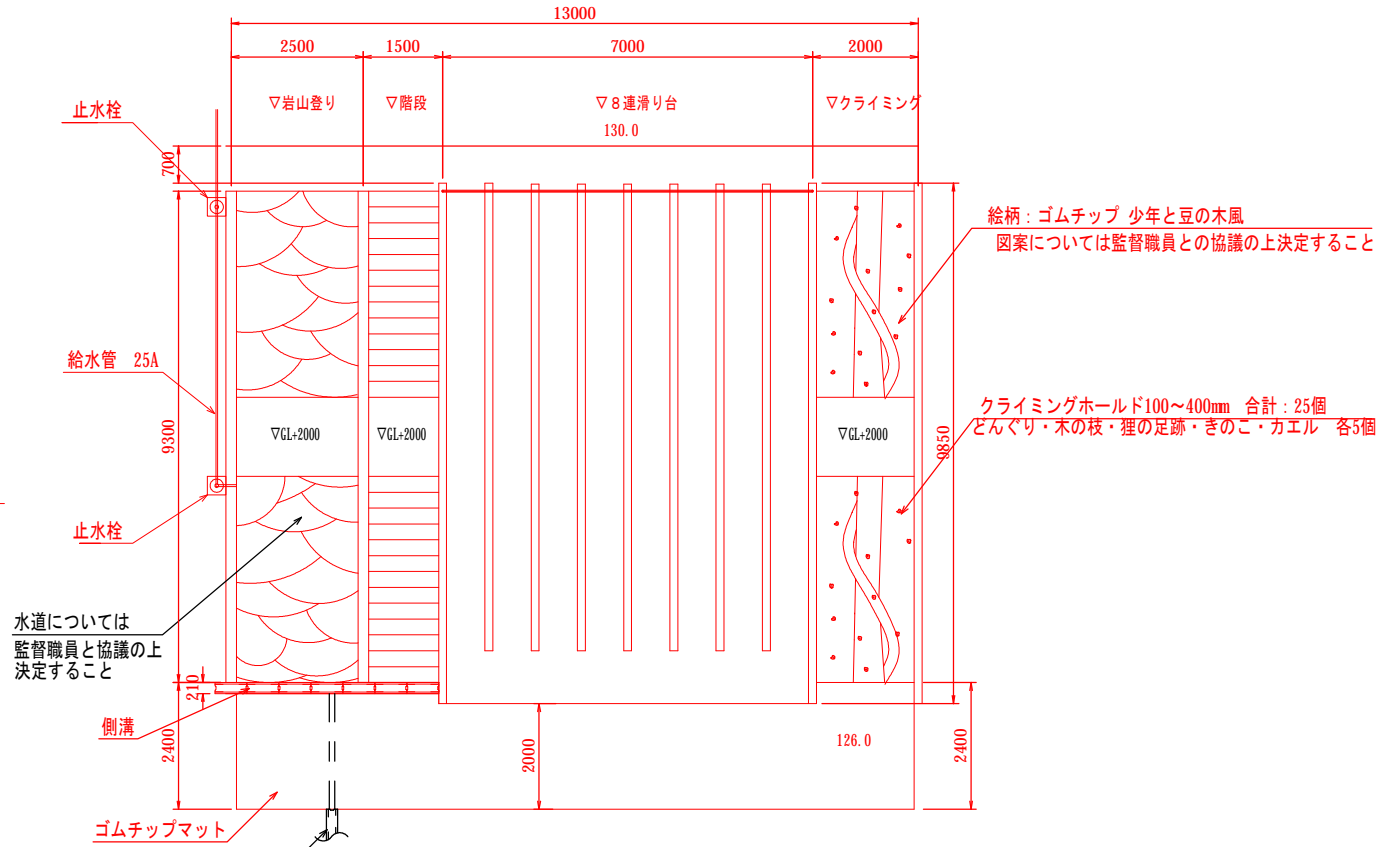
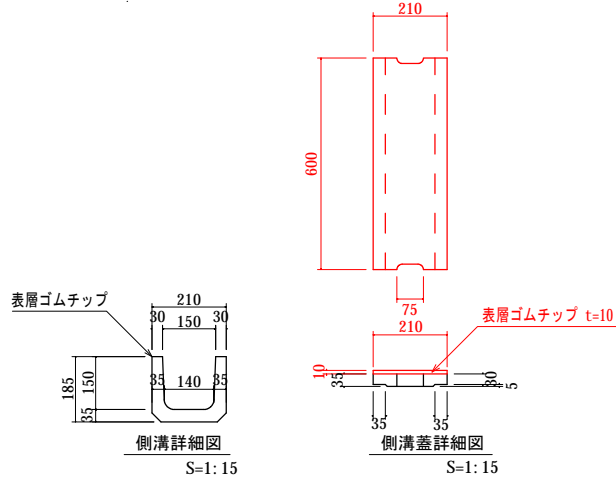
(法面遊具 (1)) S-図示

総重量総重量19595kg

条件: 地耐力50KN/m²の支持地盤確認の上施工を行う事

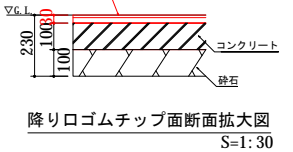
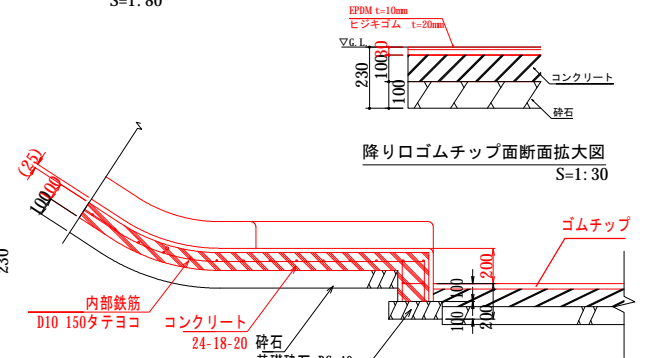
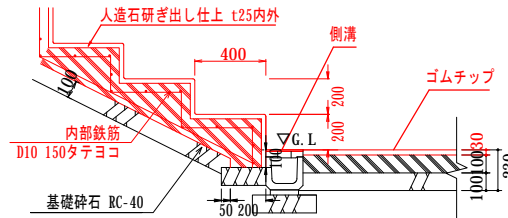
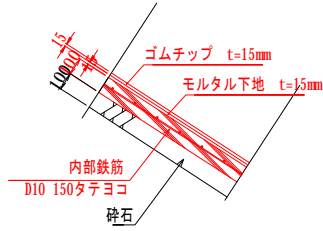
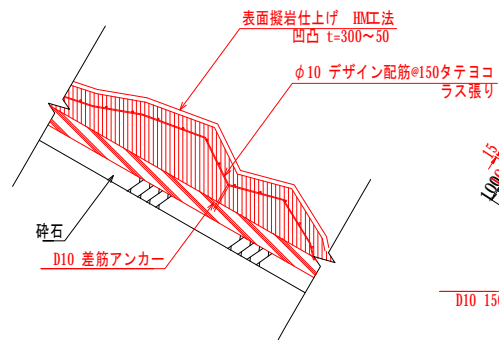
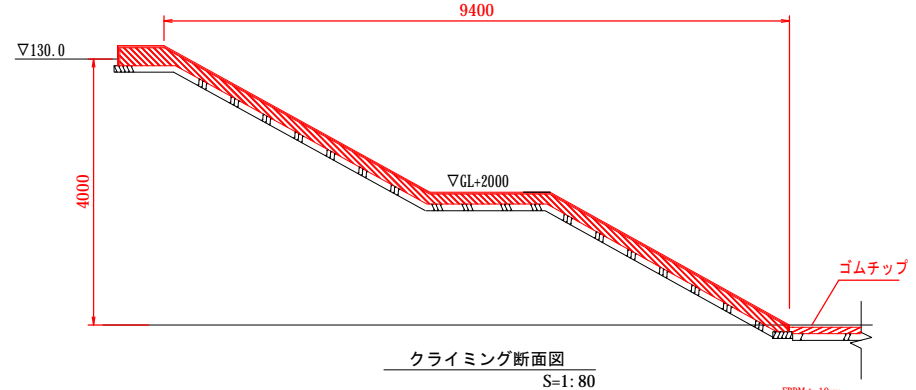
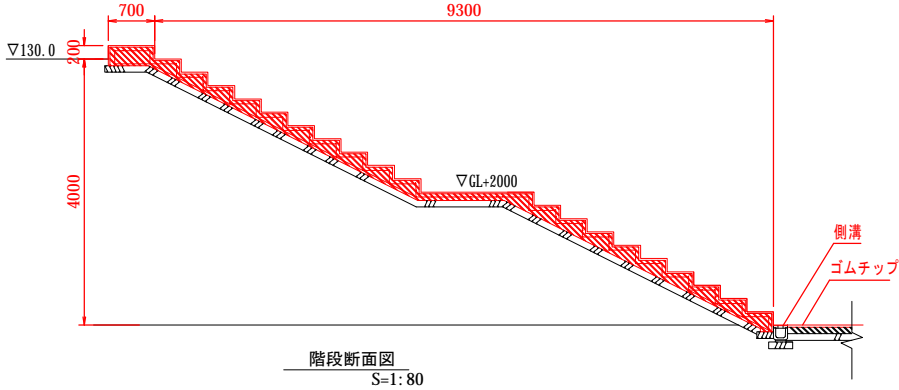
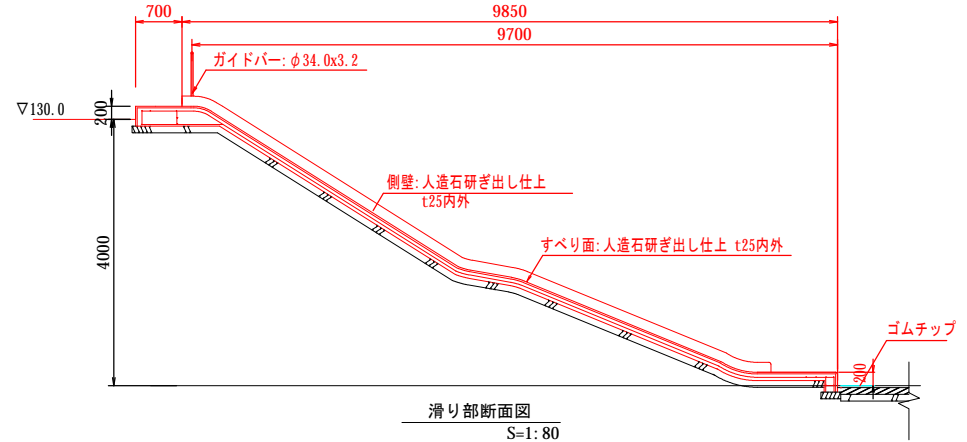
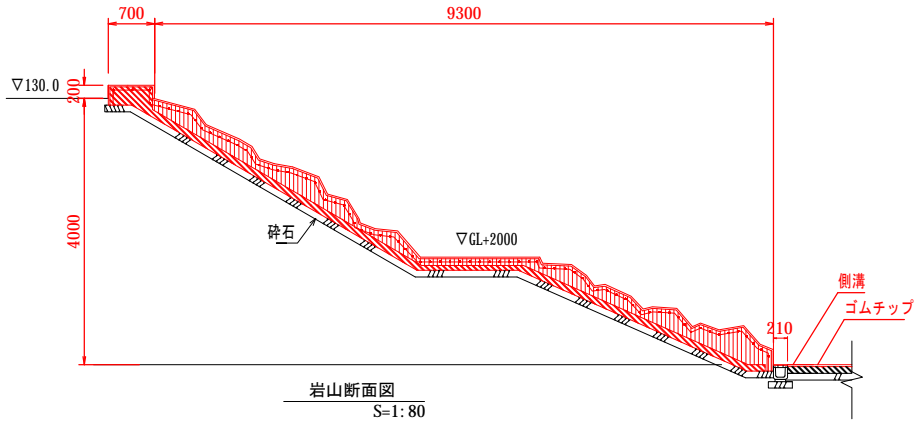
仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする



遊戯施設整備工構造図

(法面遊具 (2)) S=図示



岩山のぼり詳細断面図
S=1:30

ゴムチップ断面拡大図
S=1:30

階段断面拡大図
S=1:30

すべり面断面拡大図
S=1:30

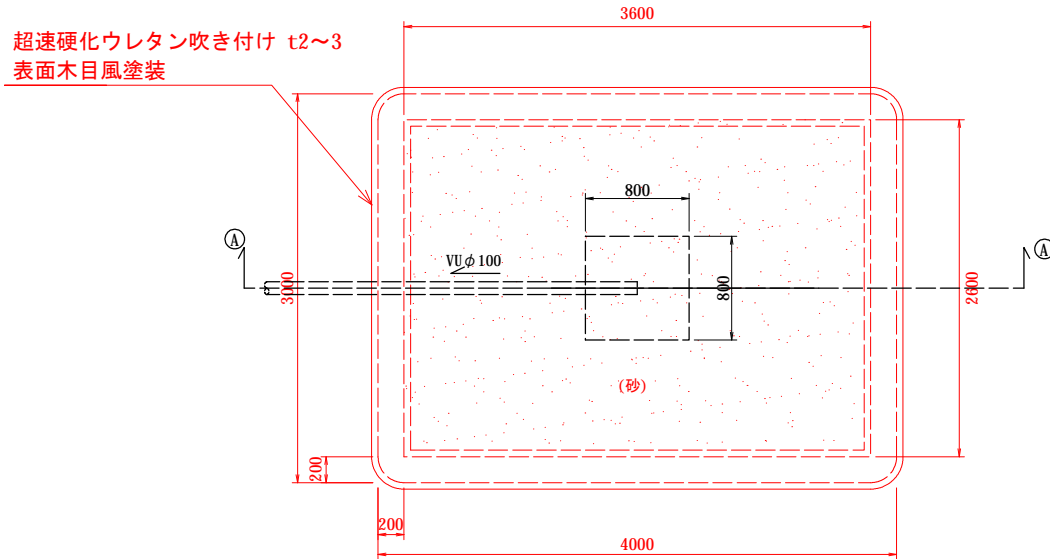
仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする

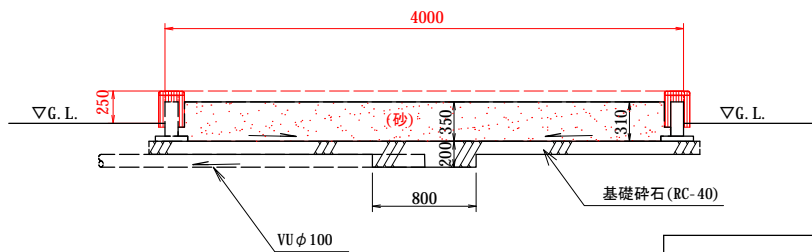
総重量総重量19585kg

条件： 地耐力50KN/m²の支持地盤確認の上施工を行う事

遊戯施設整備工構造図
(砂場) S=図示



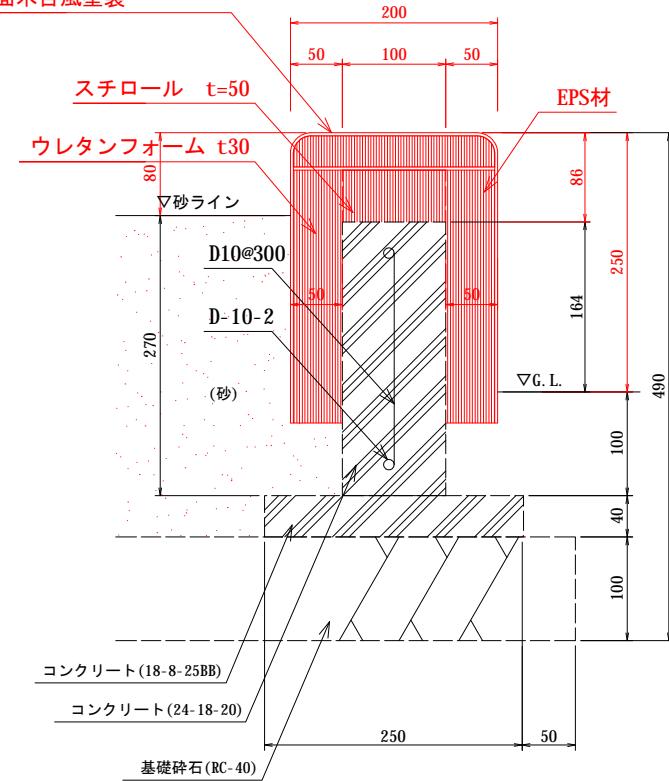
平面図
S=1:40



A-A断面図
S=1:40

仕様
・表面 超速硬化ウレタン吹き付け仕上げ

超速硬化ウレタン吹き付け t2~3
表面木目風塗装



断面詳細図
S=1:5

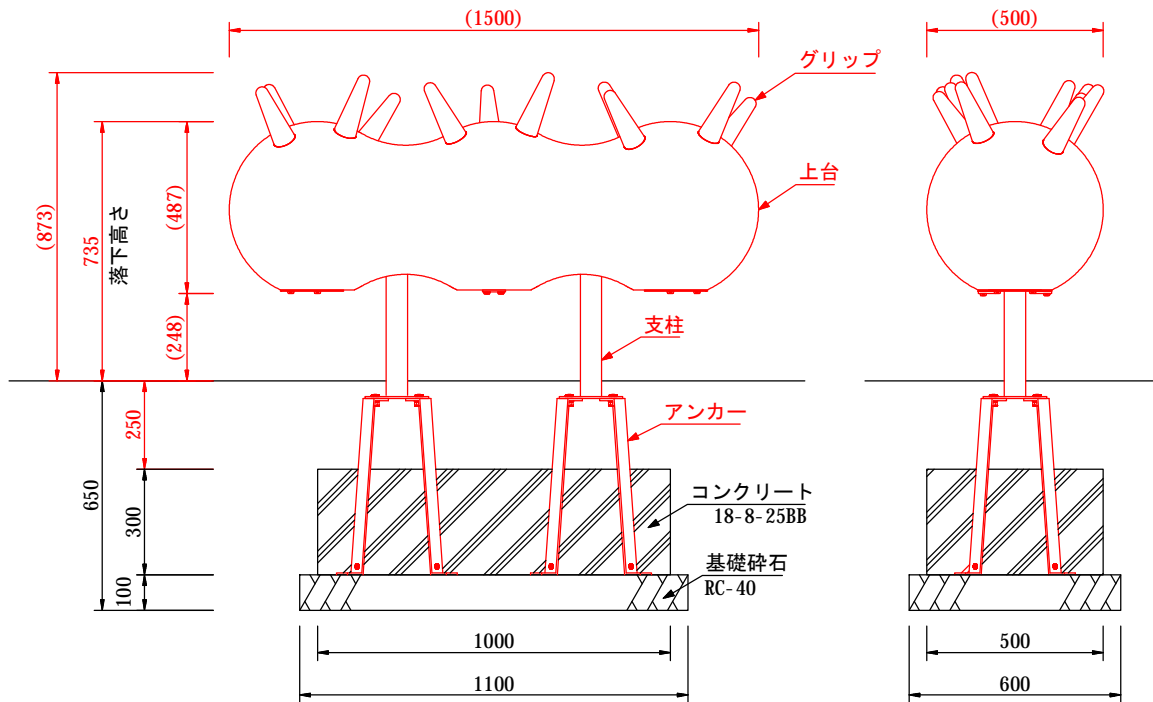
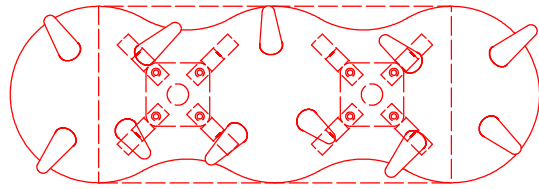
- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、(社)日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、(社)日本公園施設業協会 JPFA-SP-S:2014に準拠する。
- ・本製品は、(社)日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、(社)日本公園施設業協会SPマークを表示する。

年度	令和2年度	番号	51/77
公園名	緑織公園		
工事名	桜木の置改修整繕(第2期工事)		
施行箇所	富田林市緑織地内		
図面名	遊戯施設整備工構造図(砂場)		
縮尺	図示		
大阪府富田林土木事務所			

遊戯施設整備工構造図

(揺動系遊具 1)

S=図示



外観図
S=1:5

- 上台 : FRP成形品 合成樹脂塗装 (ターコイズ)
- グリップ: EPDM成形品 (パープル)
- 支柱 : φ60.5x13.8 鋼管
溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
- 機構部 : マルチリンク機構 (ストッパーゴム付)
- アンカー : t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ

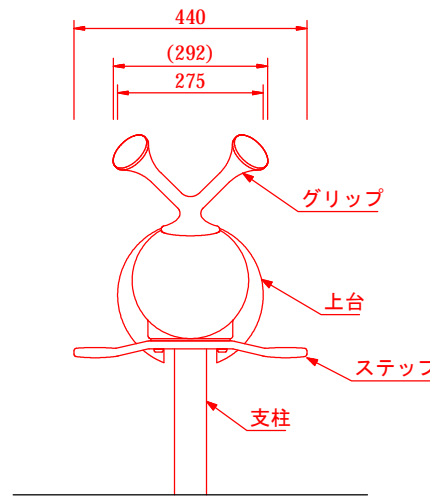
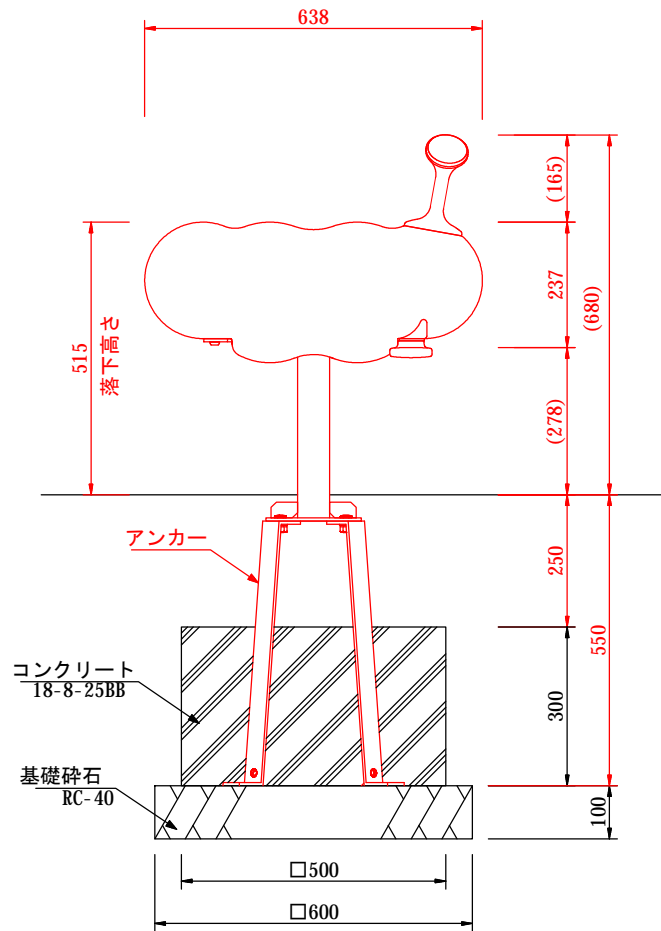
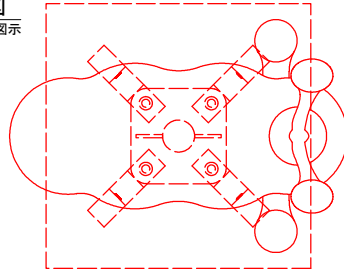
質量 : 72kg

設置上の注意

- ・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
- ・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
- ・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
- ・本製品はおおむね3才～12才を対象とする。
- ・本製品はJPSA-SP-S:2014に準拠した製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。

遊戯施設整備工構造図
(揺動系遊具 2)

S-図示



- 上台 : FRP成形品 合成樹脂塗装 (インディゴブルー)
- グリップ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (オレンジ)
- ステップ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (オレンジ)
- 支柱 : φ60.5Xt3.8鋼管
- 機構部 : 溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
- アンカー : マルチリンク機構 (ストッパーゴム付)
- アンカー : t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ
- 質量 : 23kg

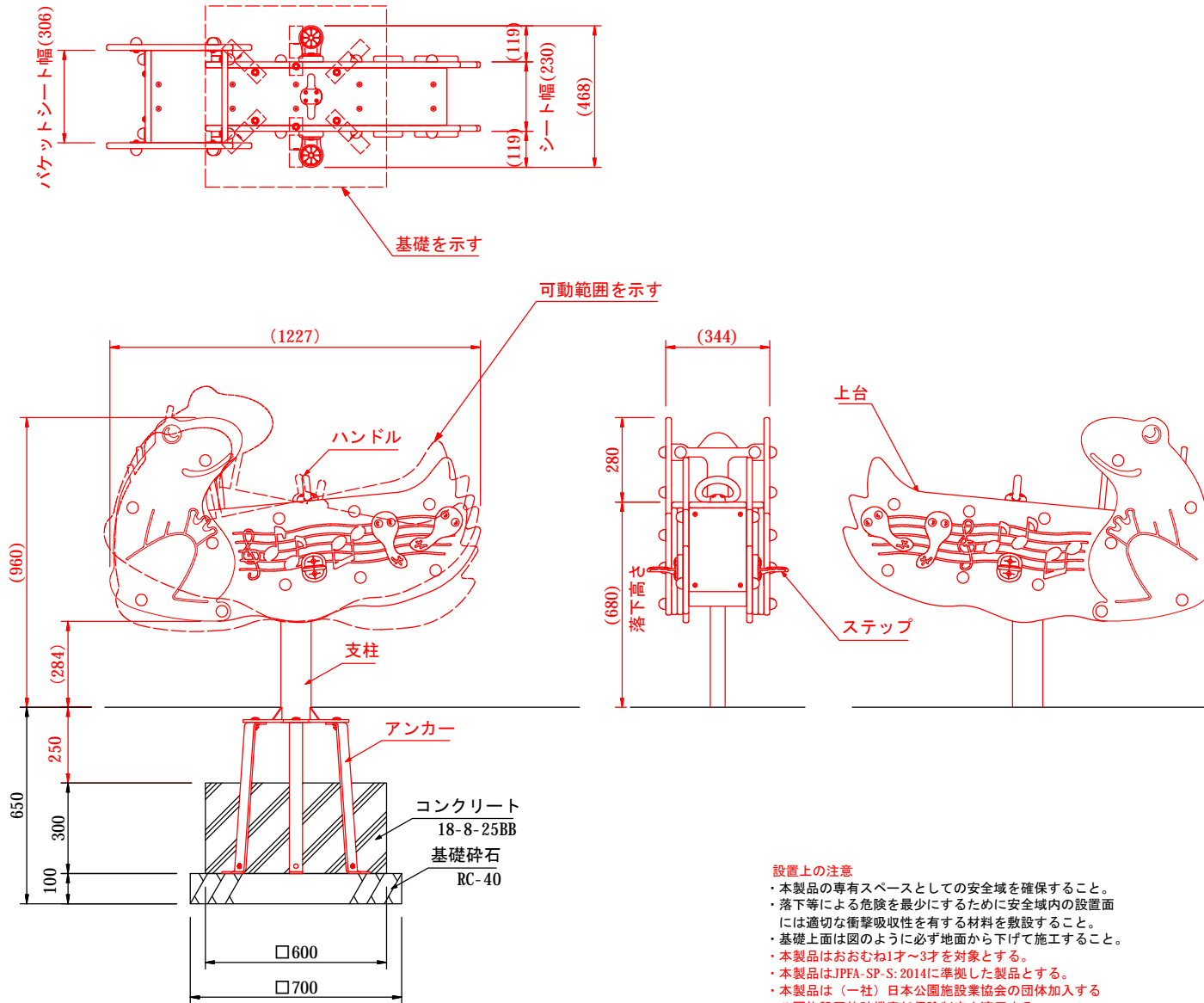
設置上の注意

- ・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
- ・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
- ・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
- ・本製品はおおむね3才～6才を対象とする。
- ・本製品はJPFPA-SP-S:2014に準拠した製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。

遊戯施設整備工構造図

(揺動系遊具 3)

S-図示



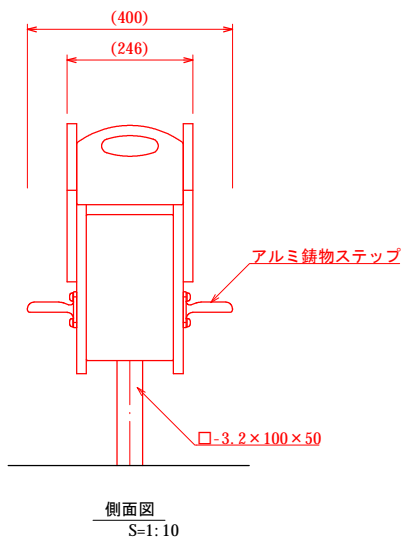
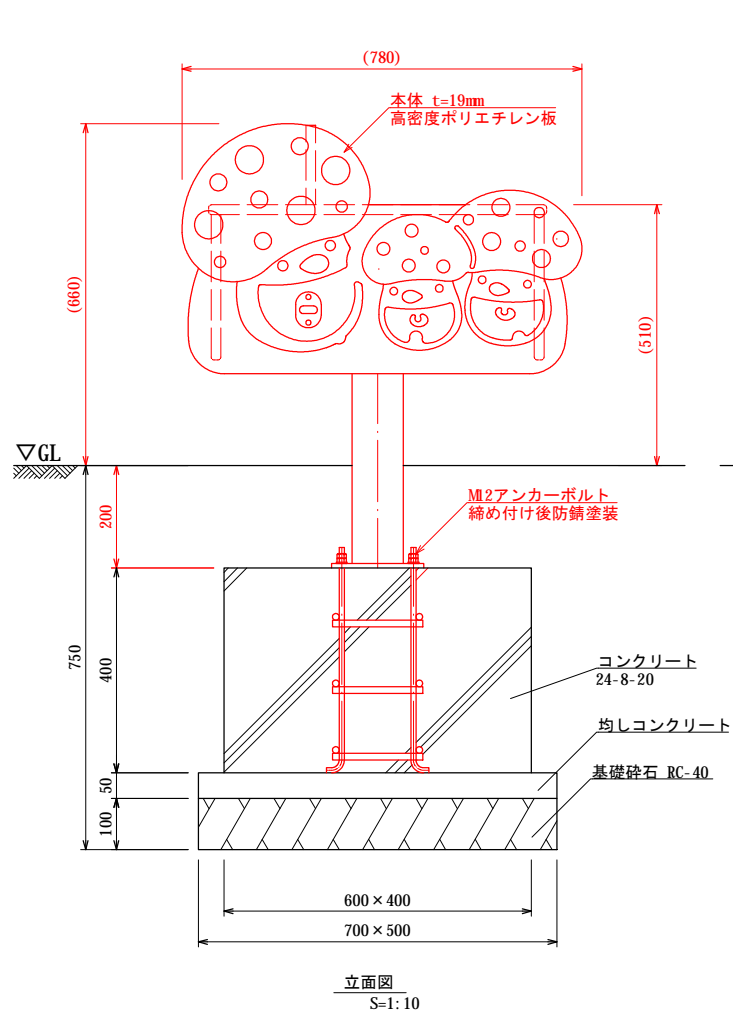
- 上台 : t19 HPEパネル
- ハンドル : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (イエロー)
- ステップ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
- 支柱 : 100×50×t3.2角鋼管
溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装 (ライトグレー)
- 機構部 : マルチリンク機構
(セーフティカバー・ストッパーゴム付)
- アンカー : t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ
- 質量 : 75kg

設置上の注意

- ・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
- ・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
- ・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
- ・本製品はおおむね1才～3才を対象とする。
- ・本製品はJPFA-SP-S:2014に準拠した製品とする。
- ・本製品は(一社)日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。

外観図
S=1:15

遊戯施設整備工構造図
(揺動系遊具 4) S=図示

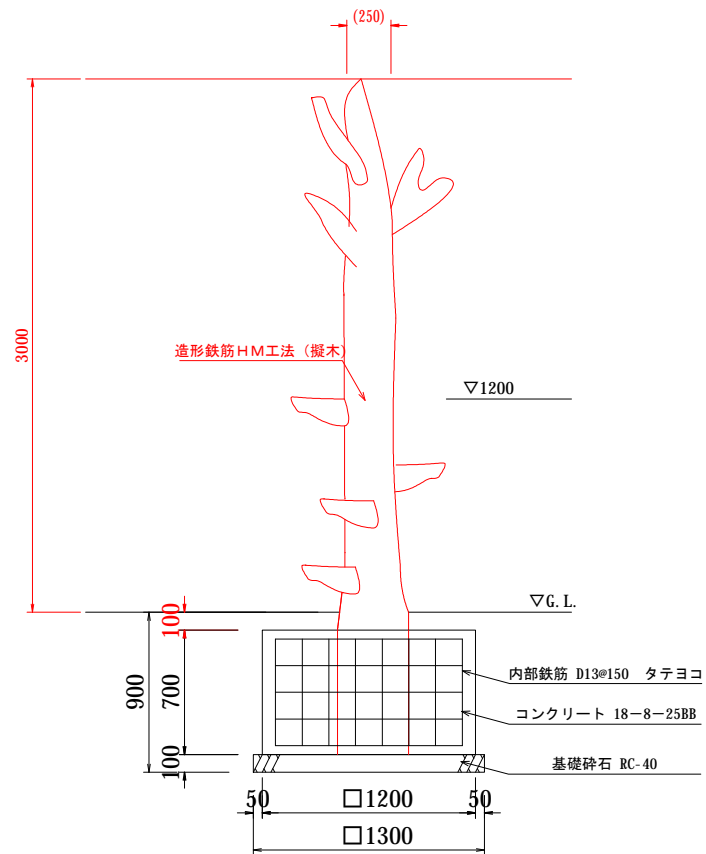
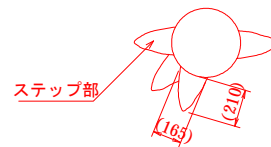


- ・カラーは、メーカー指定色とする。
- ・高密度ポリエチレン板の寸法は、内外寸法とする。
- ・支柱部は溶融亜鉛メッキとし、その他の鋼材は電気亜鉛メッキとする。
- ・設置する上で、安全領域を確保する事とする。
- ・遊具の対象年齢は、3～6才を対象とする。
- ・ISO 9001:2015認証取得企業の製品とする。
- ・遊具の安全に関する規程JPPA-SP-S:2014に適合した製品とする。
- ・一般社団法人 日本公園施設業協会 SPマーク表示認定企業の製品とする。
- ・一般社団法人 日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。
- ・本製品の設計図面の変更、模倣を禁止する。

遊戯施設整備工構造図

(木登りA)

S-図示



(A)

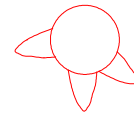
仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。

遊戯施設整備工構造図

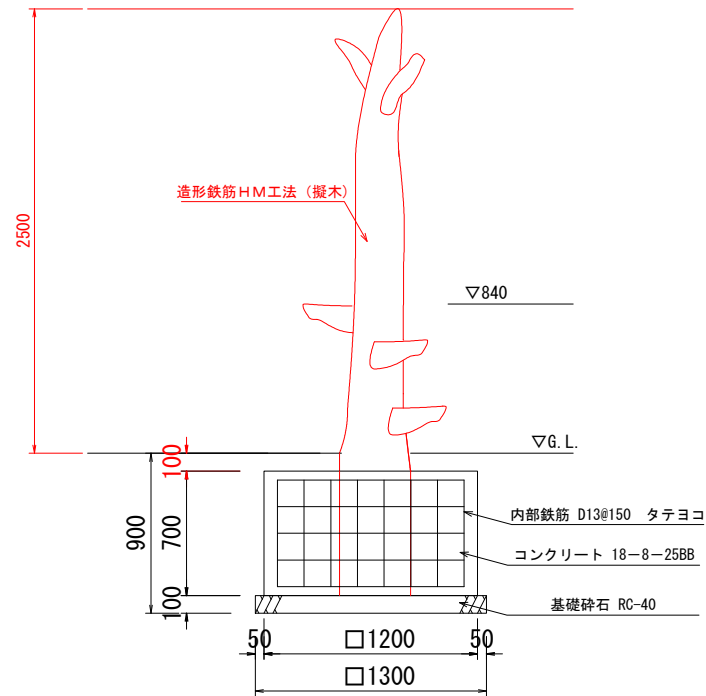
(木登りB)

S=図示



ステップ部平面図

S=1:30



(B)

立面図

S=1:30

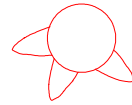
仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。

遊戯施設整備工構造図

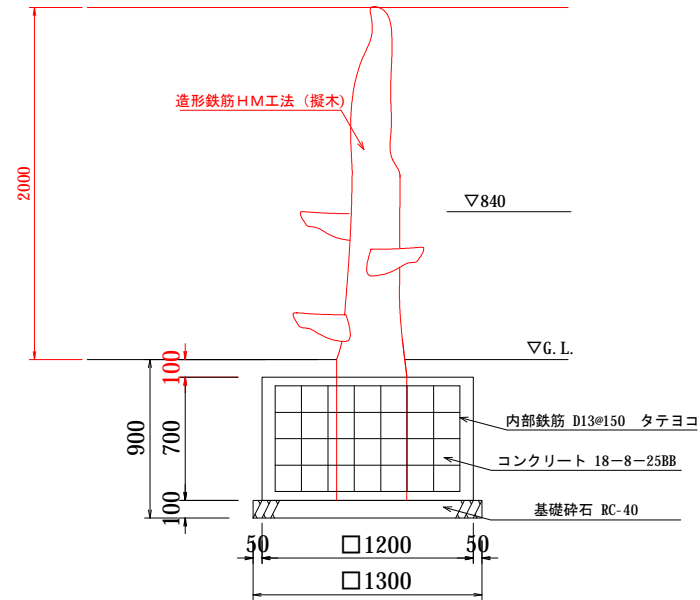
(木登りC)

S=図示



ステップ部平面図

S=1:30



(C)

仕様

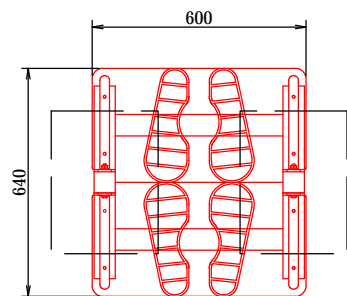
- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。

遊戯施設整備工構造図

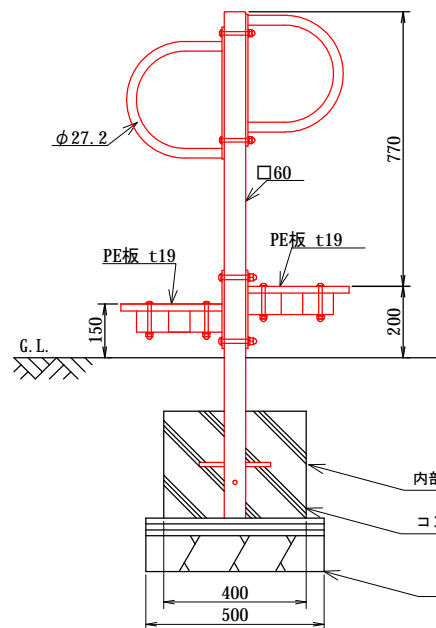
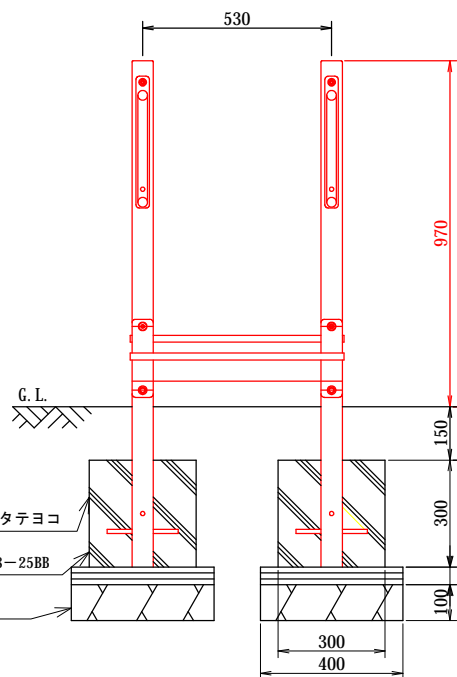
(健康遊具A・B・C・D)

健康遊具A

S=1:30



平面図



主要材料：スチール/ステンレス、ポリエチレン板
設置寸法：W600 × D640 × H970

※ ステンレス仕様はミガキ（無塗装）とする。

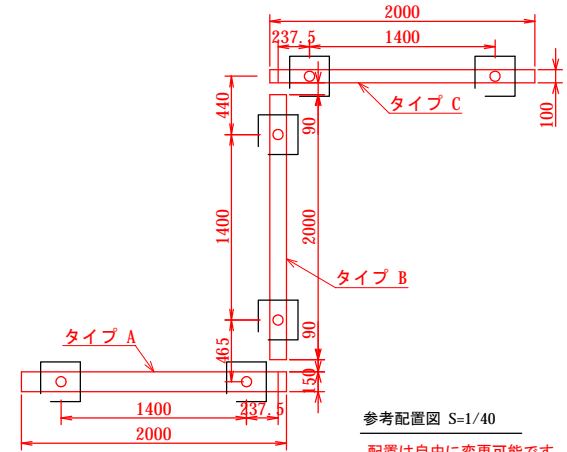
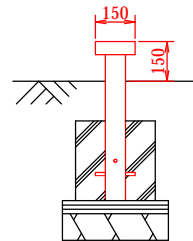
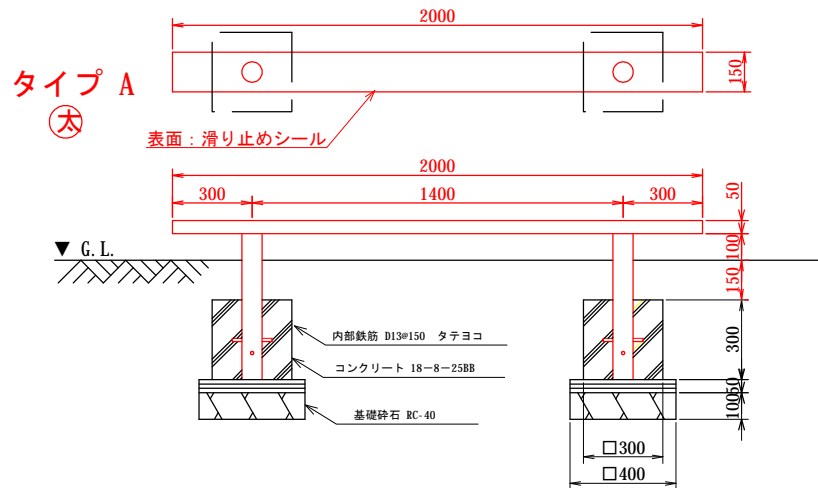
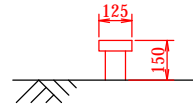
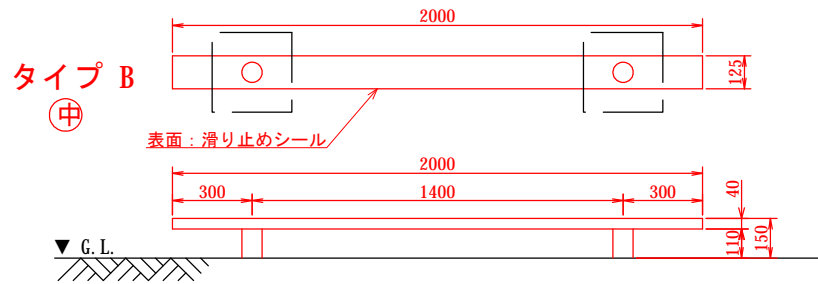
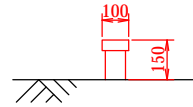
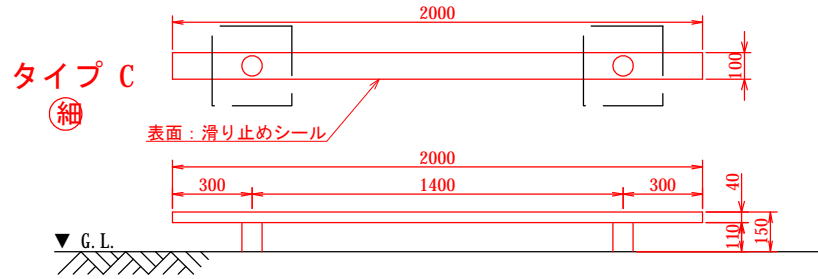
※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。

※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。

※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

遊戯施設整備工構造図
(健康遊具 A・B・C・D)

健康遊具B
S=1:20



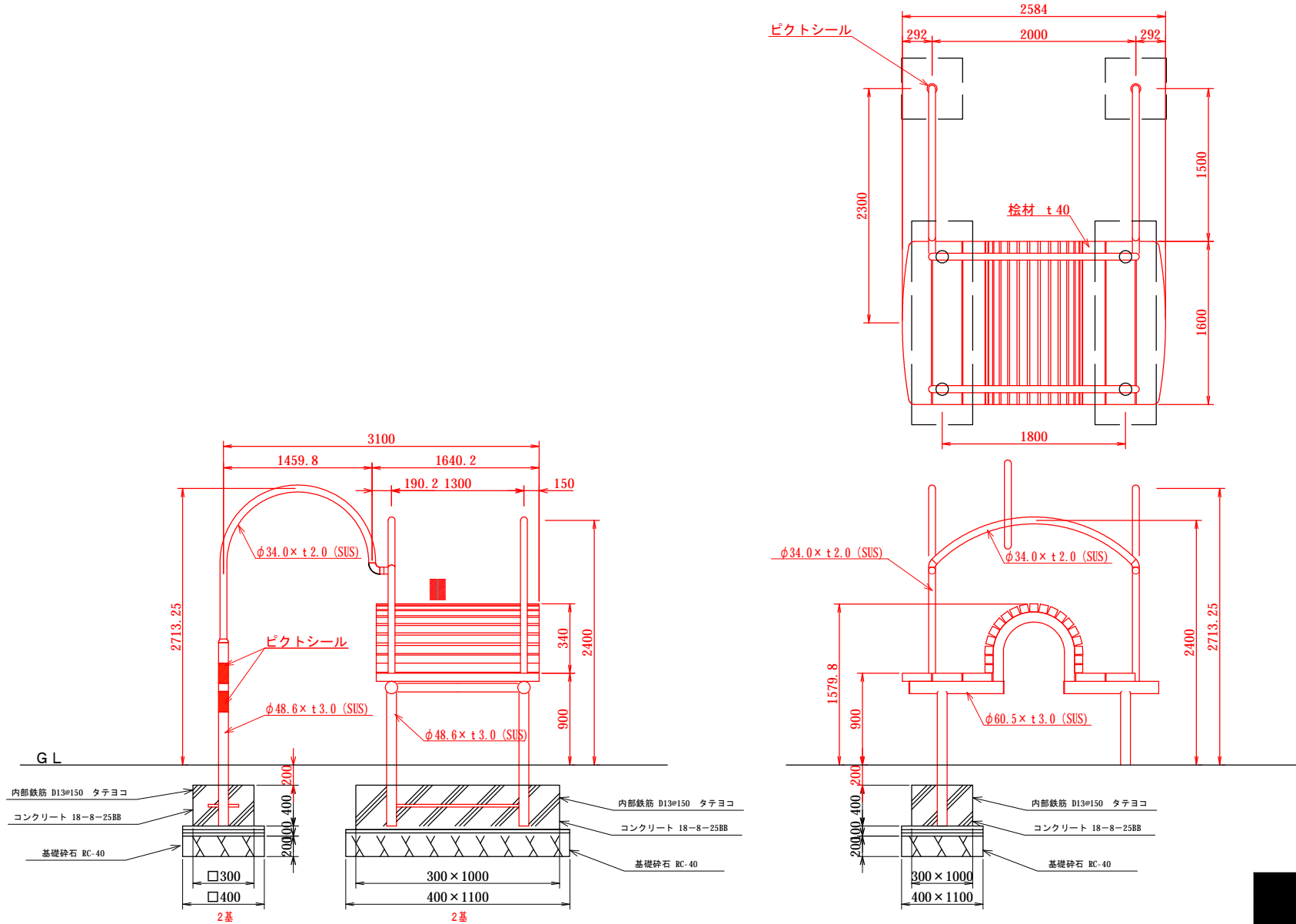
主要材料：スチール/ステンレス
設置寸法：W2000 × D150 × H150 (大)
W2000 × D125 × H150 (中)
W2000 × D100 × H150 (細)

※ ステンレス仕様はミガキ（無塗装）とする。

※ ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
※ (一社) 日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
※ (一社) 日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

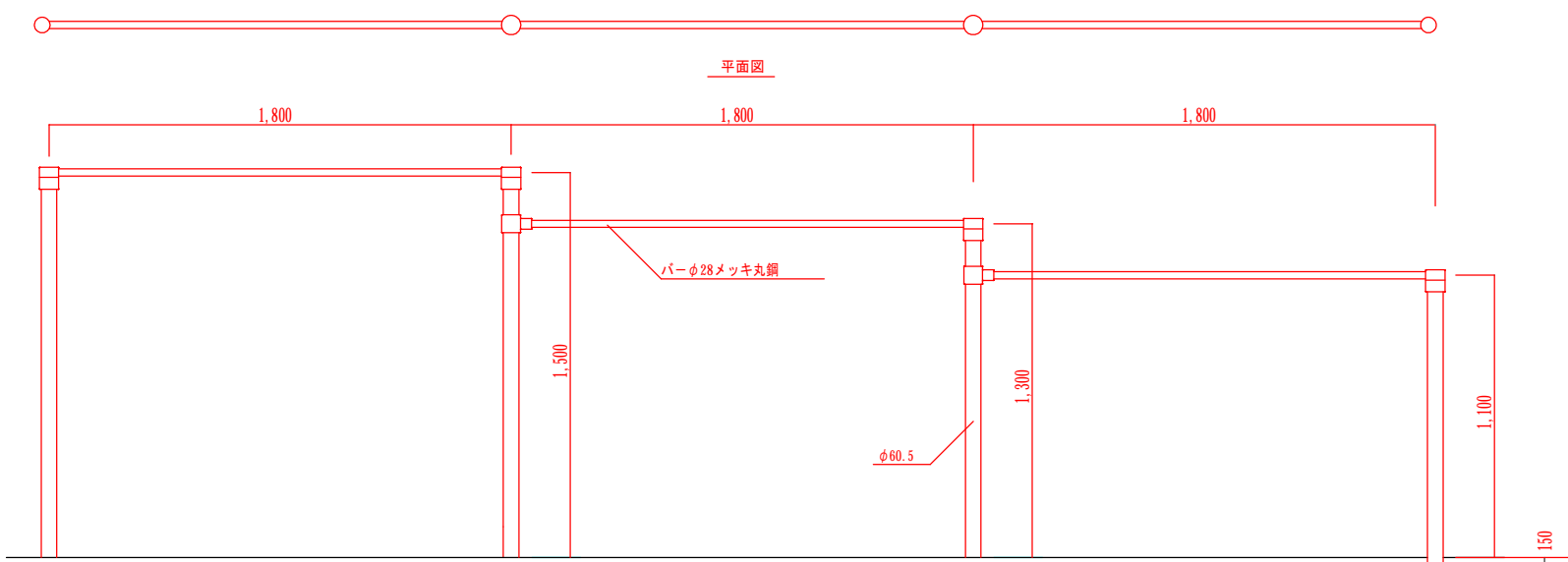
遊戯施設整備工構造図
(健康遊具A・B・C・D)

健康遊具D
S=1:40



※IS09001認証取得企業で品質管理された製品とする。
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

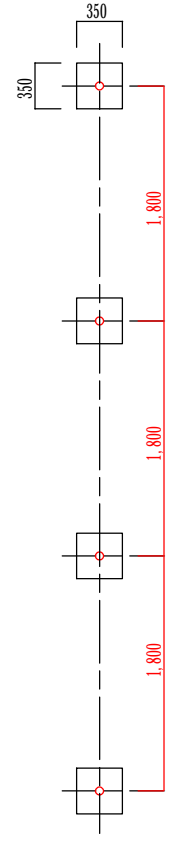
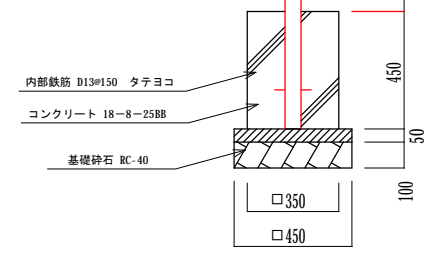
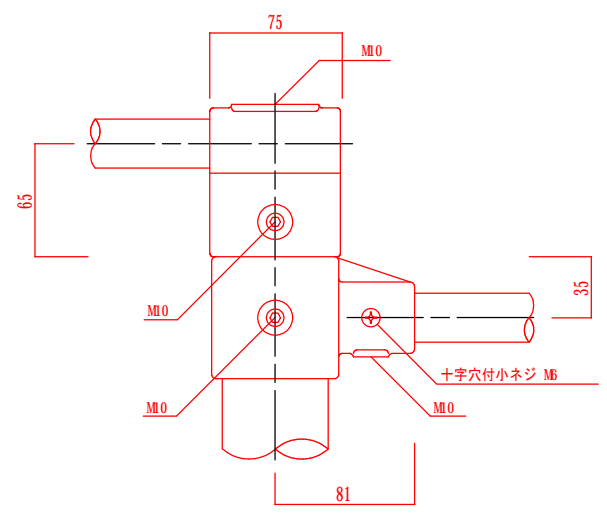
遊戯施設整備工構造図
(鉄棒3連) S-図示



平面図

指定外ボルトは六角穴付止めネジ使用とする。

立面図



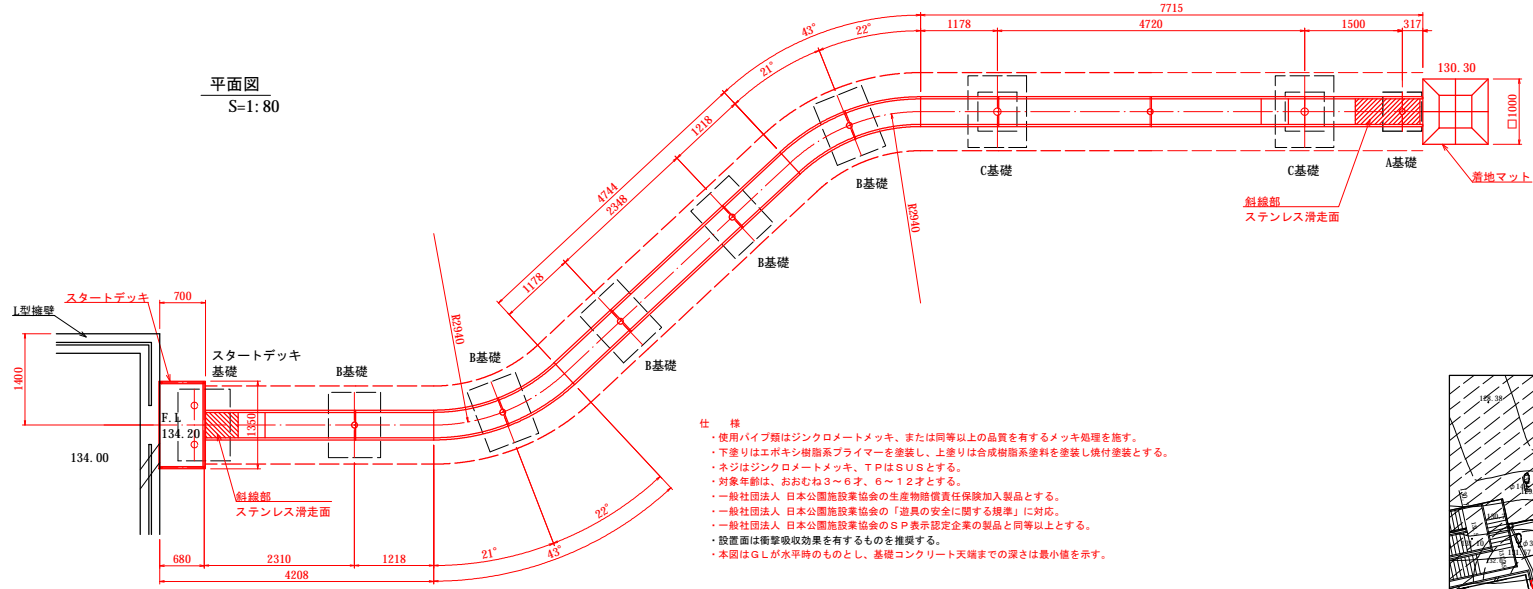
基礎伏図 S-1/40

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
 ※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

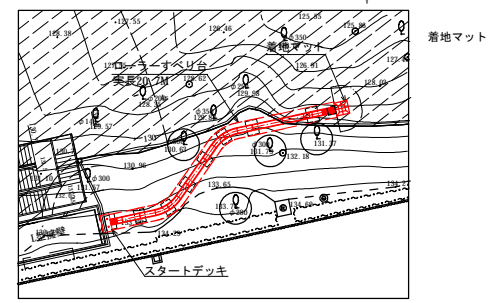
遊戯施設整備工構造図

(ローラーコースター (1)) S=図示

平面図
S=1:80

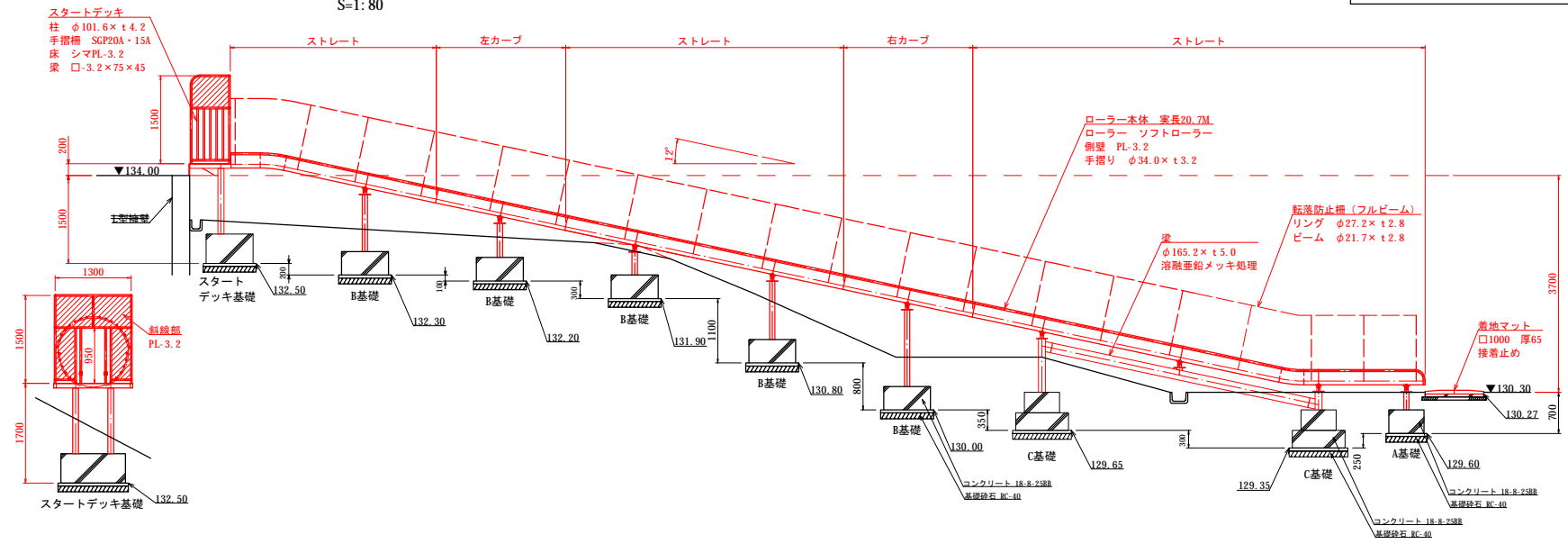


平面配置図
S=1:400



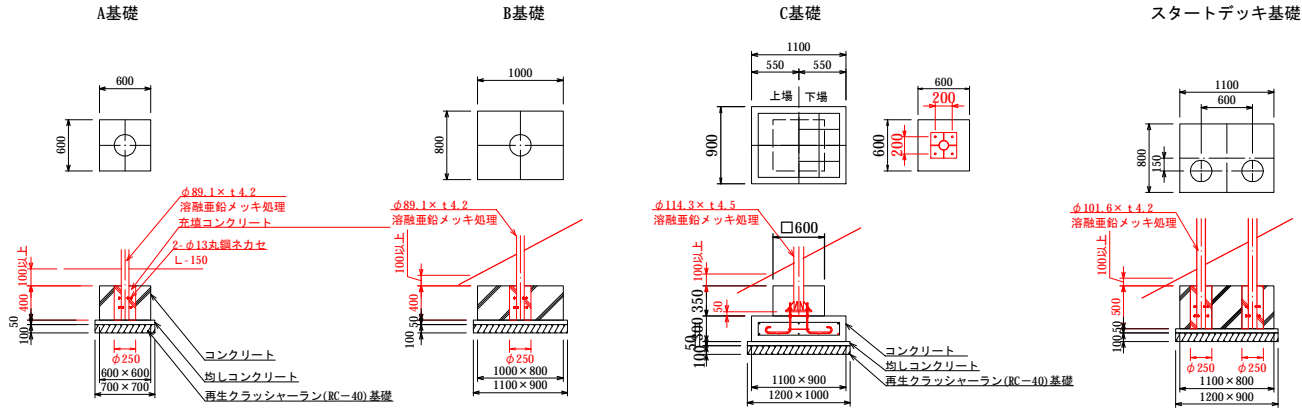
- 仕様
- ・使用パイプ類はジンクロメートメッキ、または同等以上の品質を有するメッキ処理を施す。
 - ・下塗りはエポキシ樹脂系プライマーを塗装し、上塗りは合成樹脂系塗料を塗装し焼付塗装とする。
 - ・ネジはジンクロメートメッキ、TPはSU Sとする。
 - ・対象年齢は、おおむね3~6才、6~12才とする。
 - ・一般社団法人 日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険加入製品とする。
 - ・一般社団法人 日本公園施設業協会の「遊具の安全に関する規程」に対応。
 - ・一般社団法人 日本公園施設業協会のSP表示認定企業の製品と同等以上とする。
 - ・設置面は衝撃吸収効果を有するものを推奨する。
 - ・本図はGLが水平時のものとし、基礎コンクリート天端までの深さは最小値を示す。

側面展開図(センターライン)
S=1:80



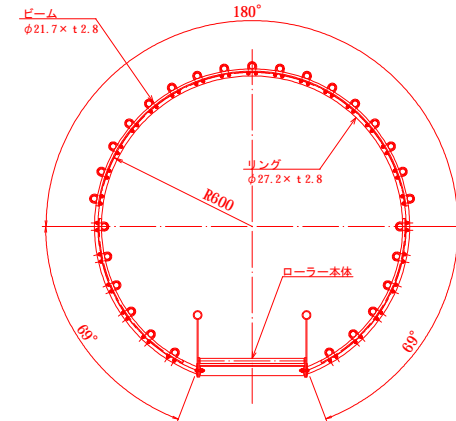
遊戯施設整備工構造図
(ローラーコースター (2)) S=図示

基礎詳細図
S=1:60

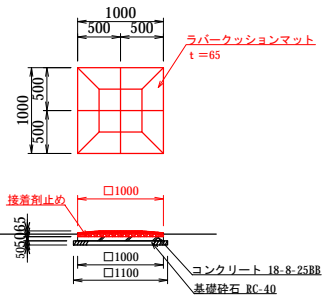


基準
上場筋 タテ 3-D10・ヨコ 3-D10
下場筋 タテ 5-D13・ヨコ 5-D13
支柱
φ114.3×t4.5
ベースプレート
300×300×t16
アンカーボルト
4-M6ワット (フック付)

転落防止柵断面図
S=1:20

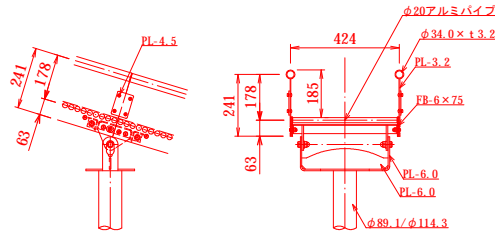


着地マット詳細図
S=1:60



* マットの基礎は、スライダ設置後に施工すること。
 ・ カラーは、メーカー標準色とする。
 ・ 一般社団法人 日本公園施設業協会、SPLマーク表示認定製品とする。
 ・ 一般社団法人 日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

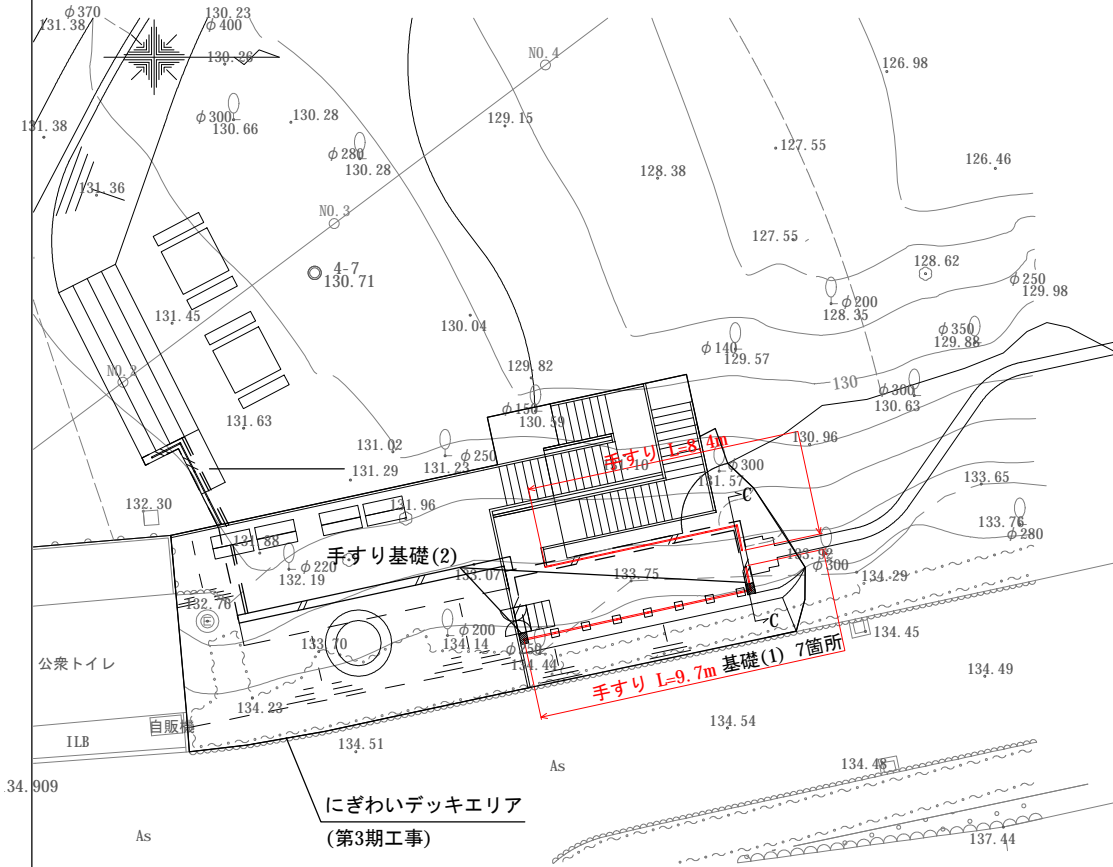
ローラー断面詳細図
S=1:20



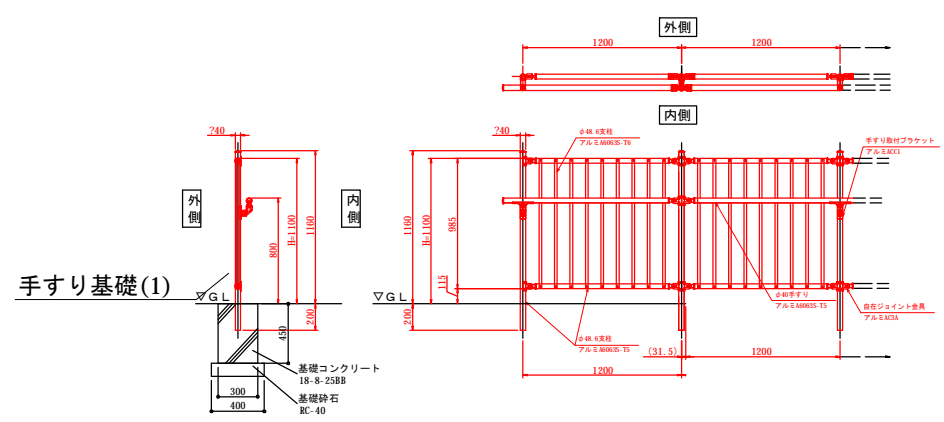
管理施設工構造図

(ローコースター-まち手すり) S=図示

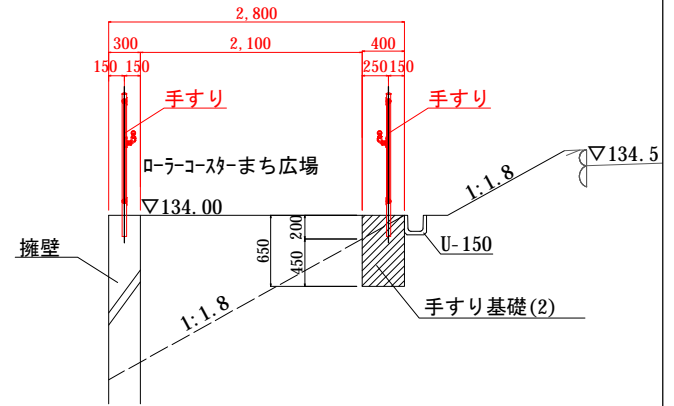
配置図
S=1:200



コース-まち手すり
S=1:40



C-C断面図
S=1:50

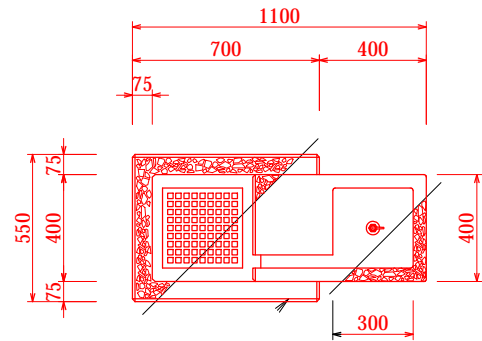


- 仕様
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S : 2014に準拠とする。
 - ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 SP・SPLマークW表示認定企業の製品とする。

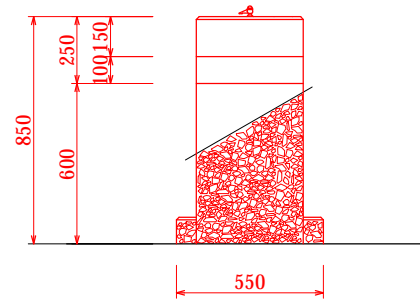
サービス施設工構造図

(水飲み)

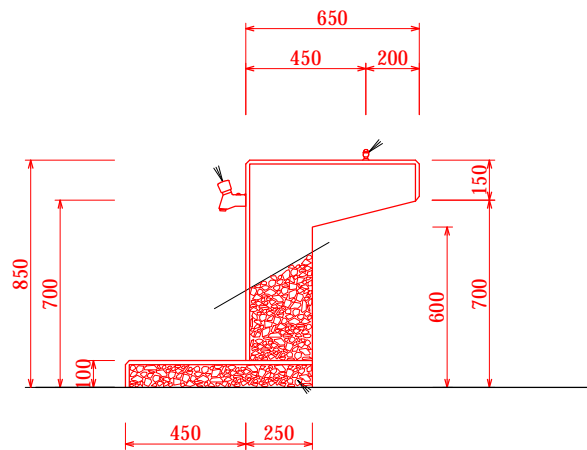
S-図示



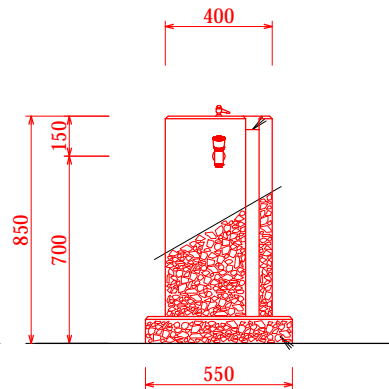
平面図
S=1:20



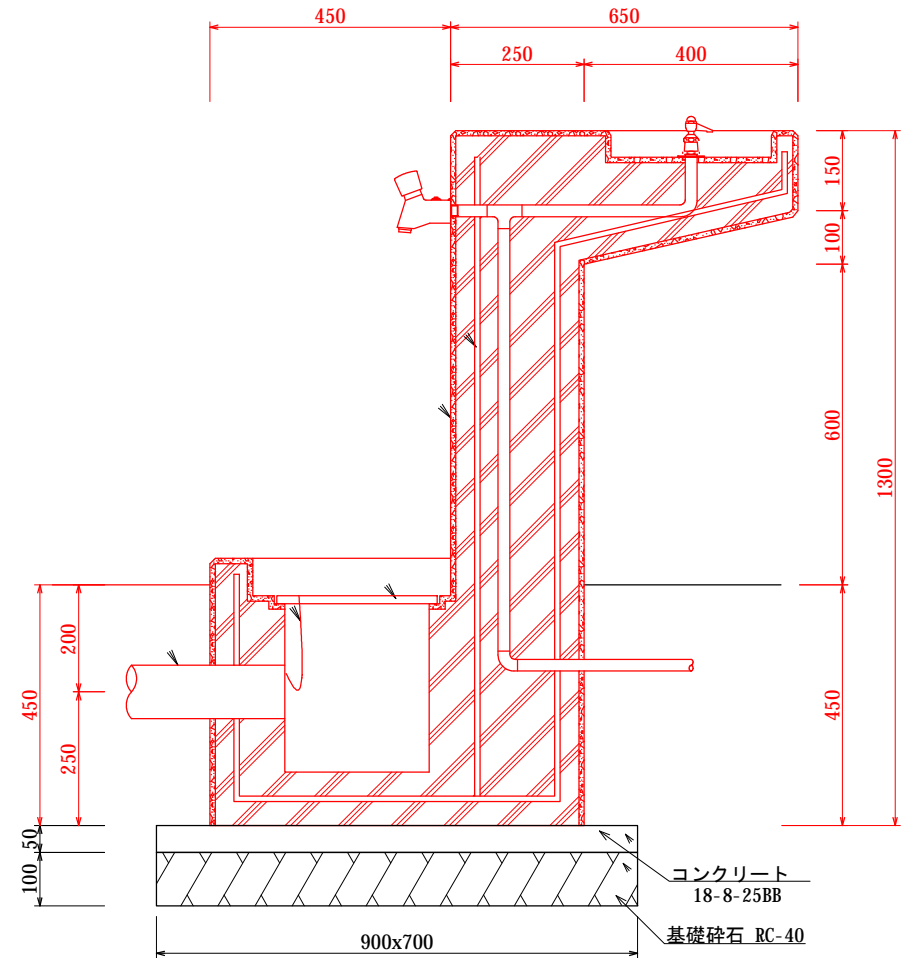
右側面図
S=1:20



立面図
S=1:20



左側面図
S=1:20



断面構造図
S=1:10

特記仕様

- 本体 鉄筋デザイン組コンクリート構造
- 鋼材 JIS規格品
- 仕上げ クラッシュタイル貼り仕上

- ・ISO 9001:2015認証取得企業の製品とする。
- ・一般社団法人 日本公園施設業協会 SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・一般社団法人 日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。
- ・本製品の設計図面の変更、模倣を禁止する。

※凍結の恐れのある場所では、破裂の危険がありますので、別途水抜き栓を設置してください。
 ※給水管・配水管の向きは現場打ち合わせにて決定致します。

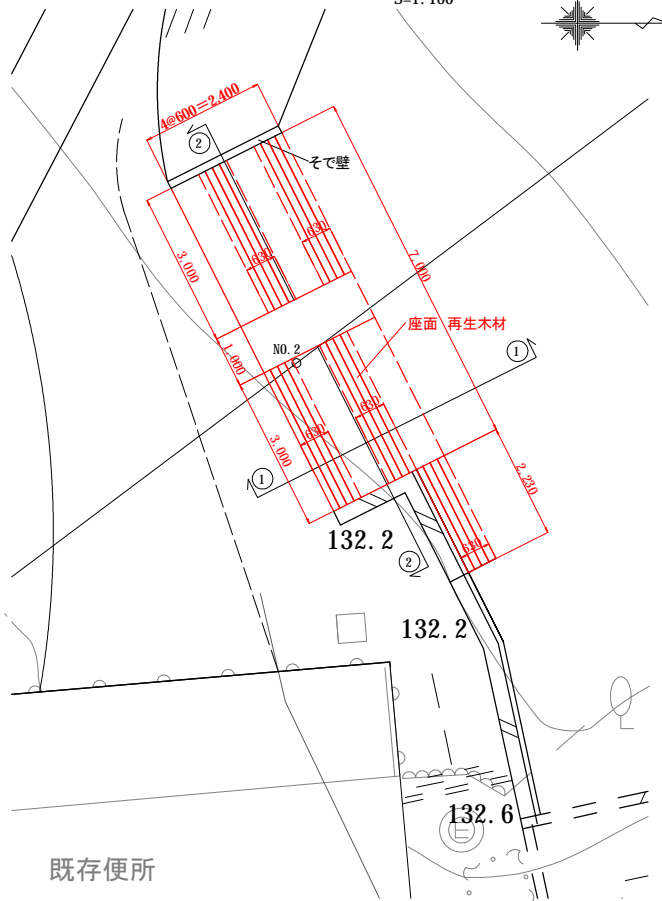
サービス施設工構造図

(観覧ベンチ)

S=図示

平面図

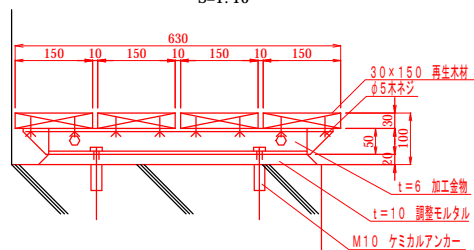
S=1:100



既存便所

座面詳細図

S=1:10



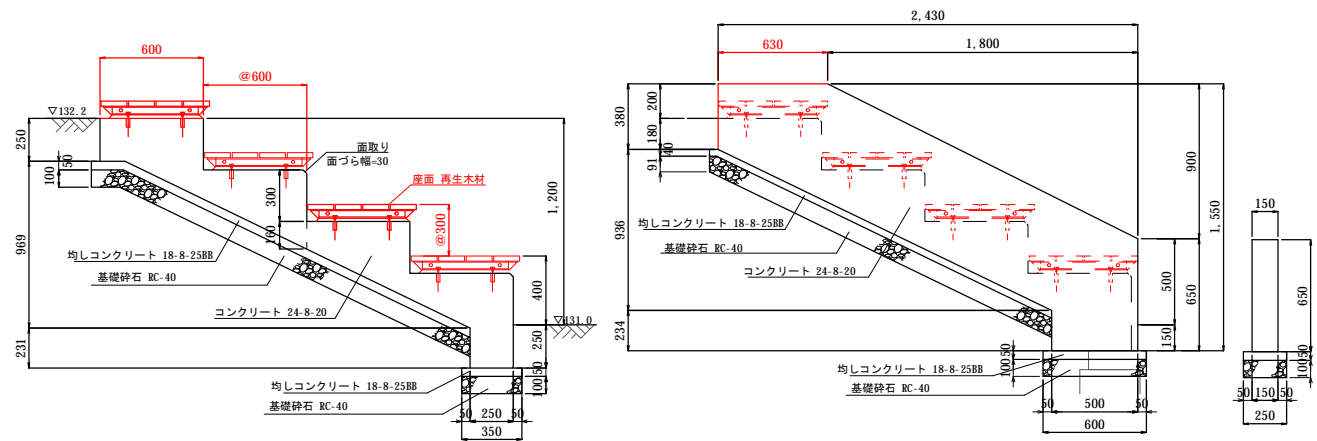
- 仕様
- 1) 再生木材は廃木粉50%+廃ポリエチレン45%配合とする。
 - 2) 特記なき限りボルト、ワッシャー類は溶融亜鉛メッキ仕上げ、鋼材類は錆止めの上、ウレタン塗装仕上げとする。
 - 3) 一般社団法人 日本公園施設業協会の賠償責任保険加入製品とする。

①-①断面図

S=1:20

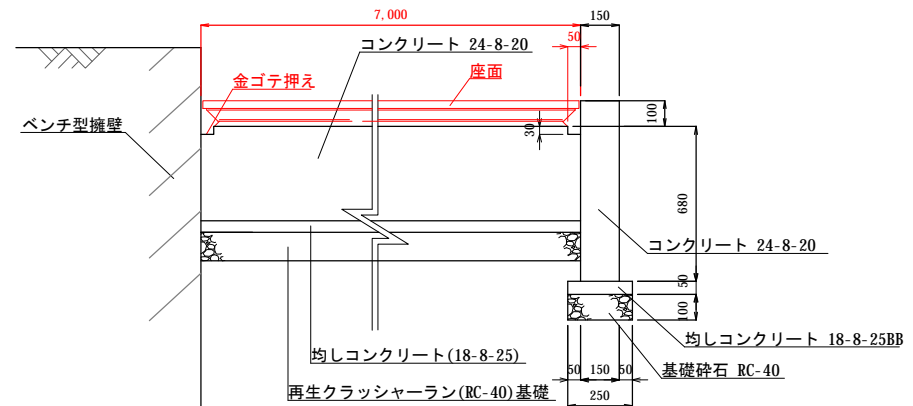
観覧ベンチ

そで壁



②-②断面図

S=1:20

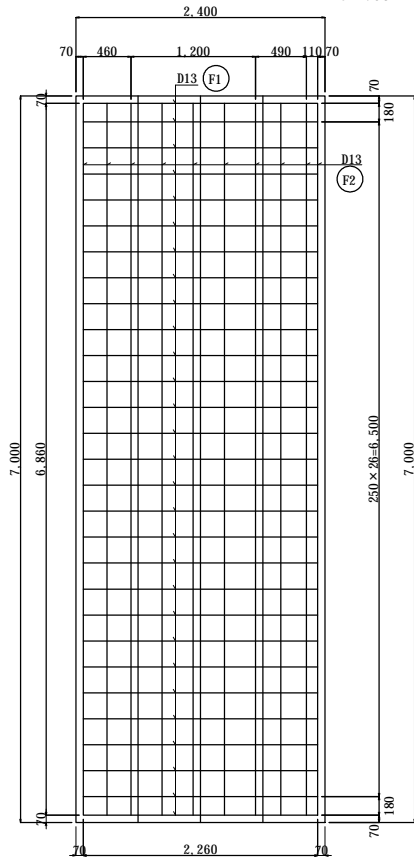


サービス施設工構造図

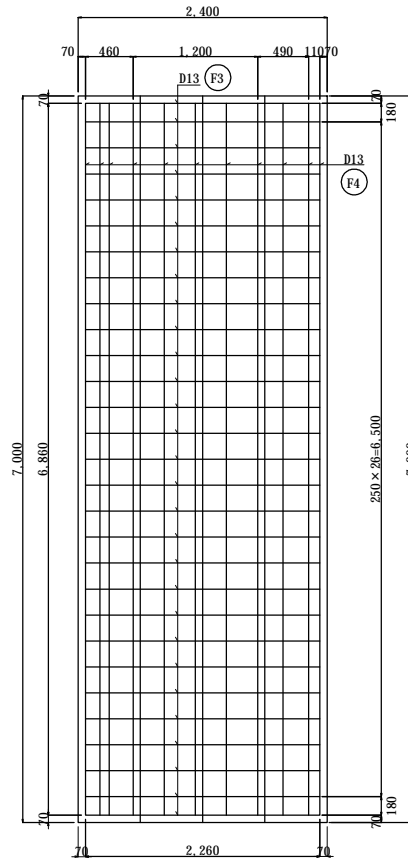
(観覧ベンチ 配筋図)

S=図示

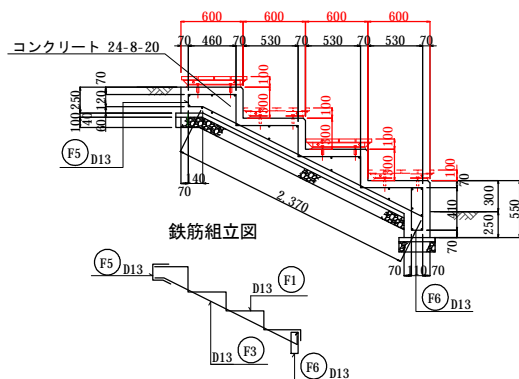
平面図上面
S=1:50



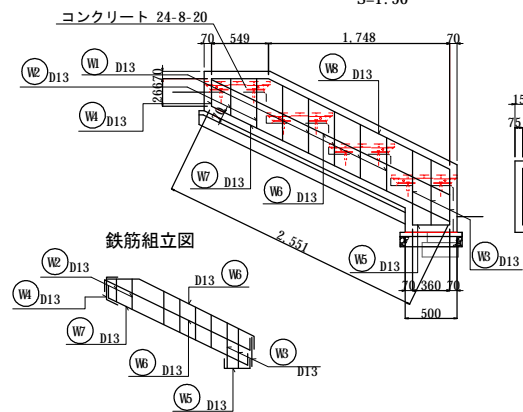
平面図下面
S=1:50



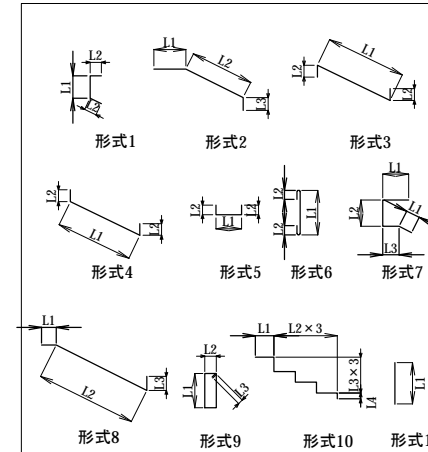
①-①断面面
S=1:50



②-②断面面
S=1:50



鉄筋加工表



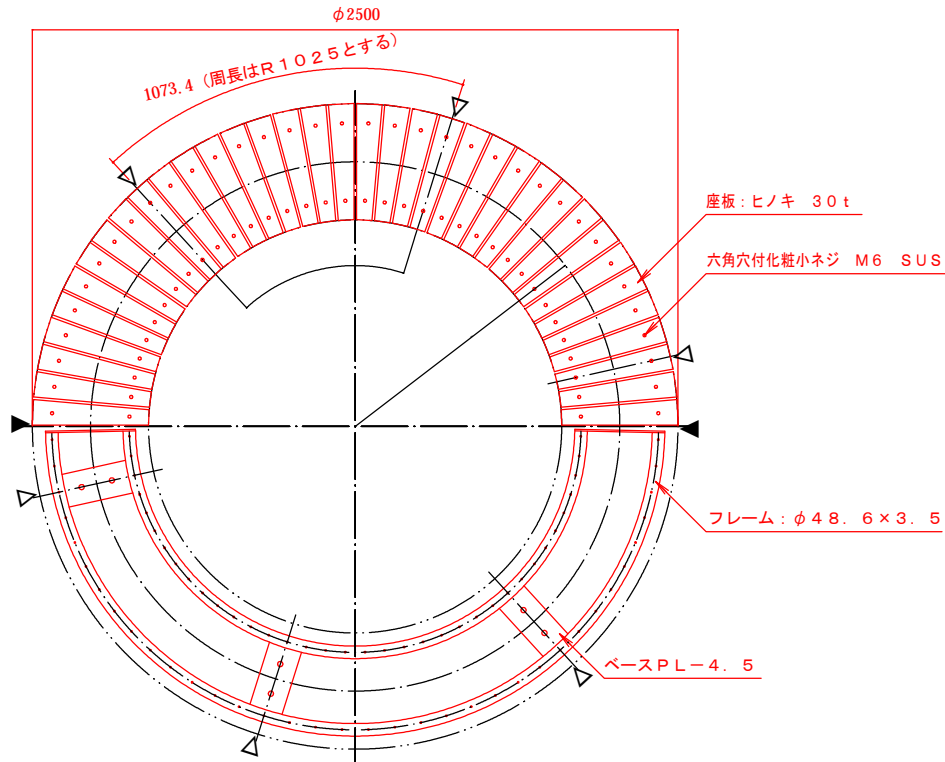
種別	形式	径	本数	長さ	L1	L2	L3	L4
W1	6	D13	5	537	525	60		
W2	6	D13	2	954	834(平均長)	60		
W3	6	D13	3	748	628(平均長)	60		
W4	1	D13	1	566	266	150		
W5	5	D13	1	660	360	150		
W6	3	D13	1	2851	2551	150		
W7	4	D13	1	2851	2551	150		
W8	2	D13	1	2653	549	1954	150	
F1	10	D13	29	3310	460	600	300	150
F2	11	D13	10	6860	6860			
F3	8	D13	10	2660	140	2370	150	
F4	11	D13	10	6860	6860			
F5	7	D13	29	560	150	120	140	
F6	9	D13	29	1220	410	110	90	

鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要	
		(mm)		(kg/m)	(kg)	(kg)		
W1	D13	537	5	0.995	0.534	3	}	
W2	D13	954	2	0.995	0.949	2		(平均長)
W3	D13	748	3	0.995	0.744	2		(平均長)
W4	D13	566	1	0.995	0.563	1	}	
W5	D13	660	1	0.995	0.657	1		
W6	D13	2851	1	0.995	2.837	3	}	
W7	D13	2851	1	0.995	28.010	28		
W8	D13	2653	1	0.995	2.640	3	}	
F1	D13	3310	29	0.995	3.293	96		}
F2	D13	6860	10	0.995	6.826	68	}	
F3	D13	2660	10	0.995	2.647	26		}
F4	D13	6860	10	0.995	6.826	68	}	
F5	D13	560	29	0.995	0.557	16		}
F6	D13	1220	29	0.995	1.214	35	}	
						D13		352 kg
						合計	352 kg	

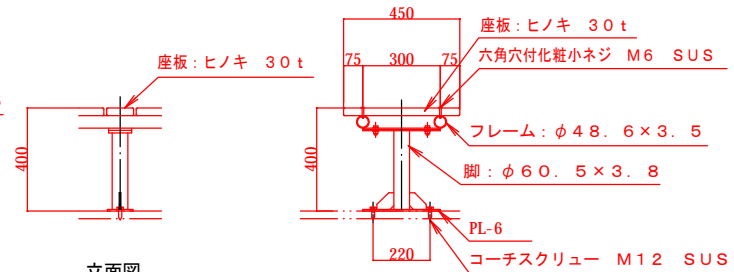
サービス施設工構造図
(サークルベンチ) S=図示

- ・木材防腐処理は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
- ・木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チョコレート）塗装仕上げとする。
- ・木材角面は、全てR面取りとする。
- ・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉体塗装（ダークグレー）仕上げとする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。



平面図
S=1:20

▼ジョイント位置
▽脚位置



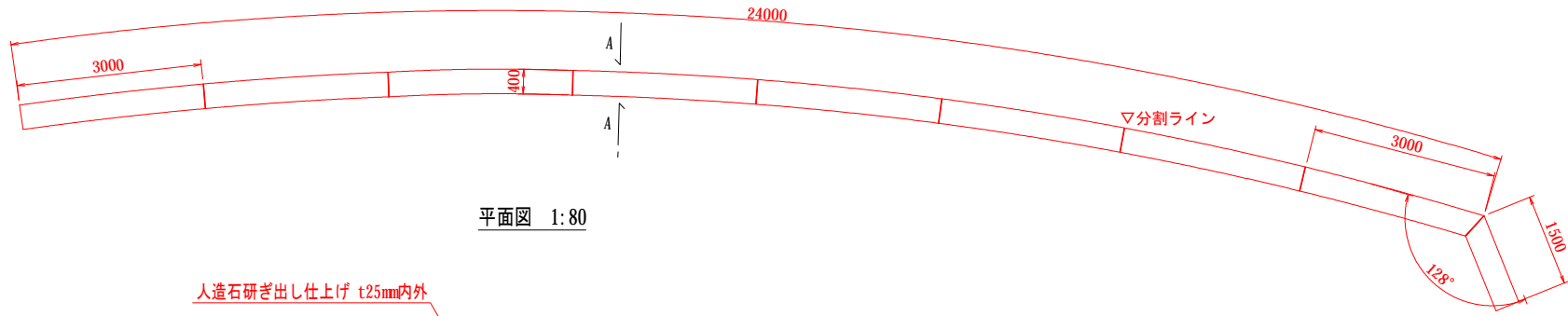
立面図
S=1:20

断面図
S=1:20

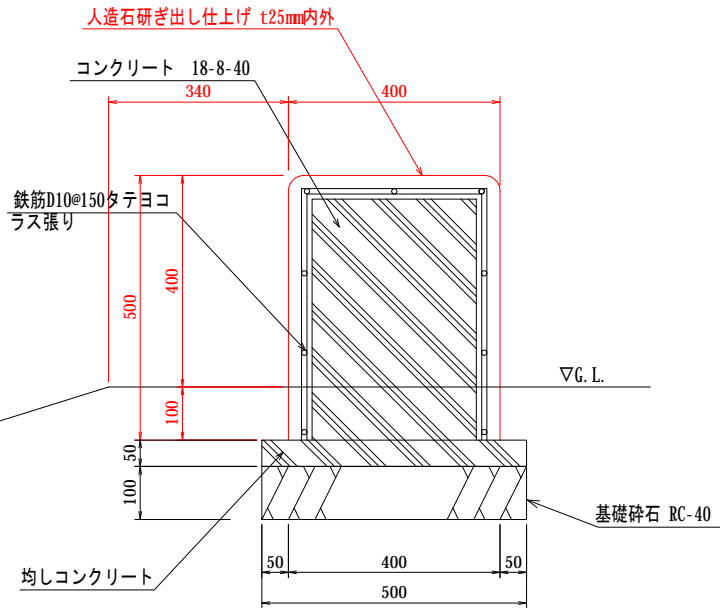
遊戯施設整備工構造図

(腰掛ベンチ)

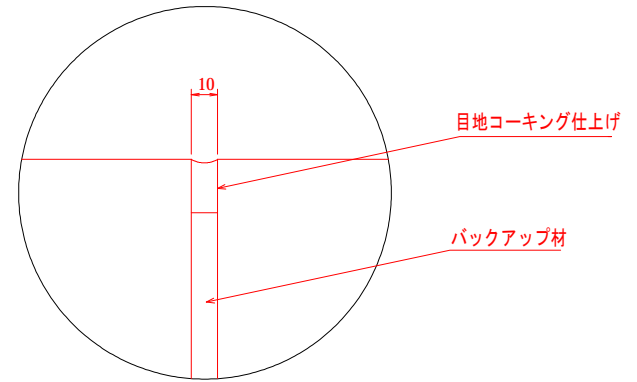
S-図示



平面図 1:80



A-A断面詳細図 1:80

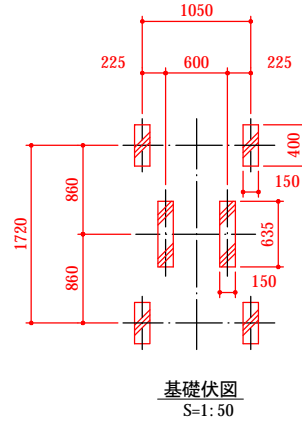
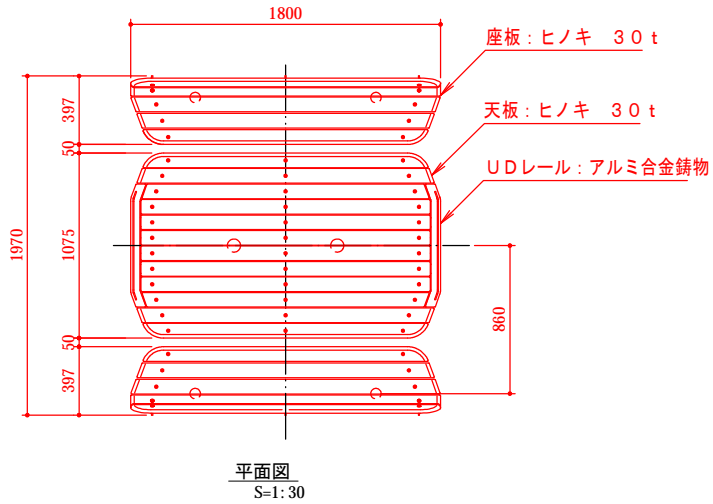


分割化ライン詳細図 1:2

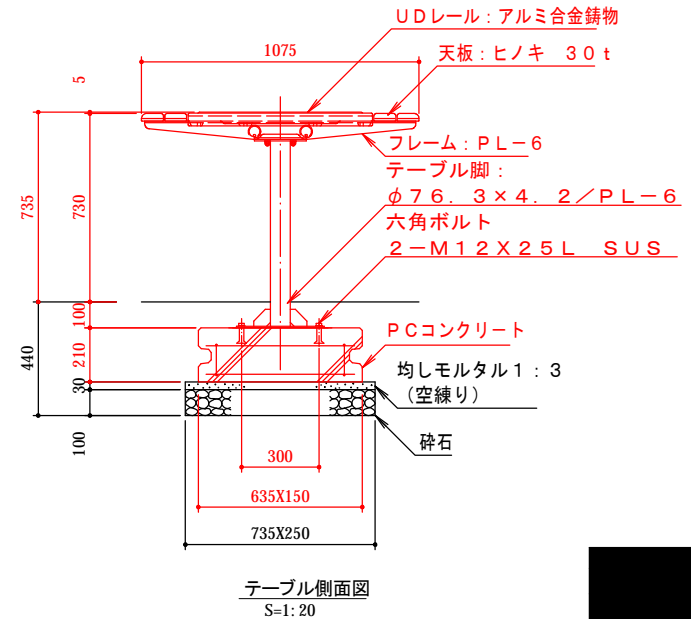
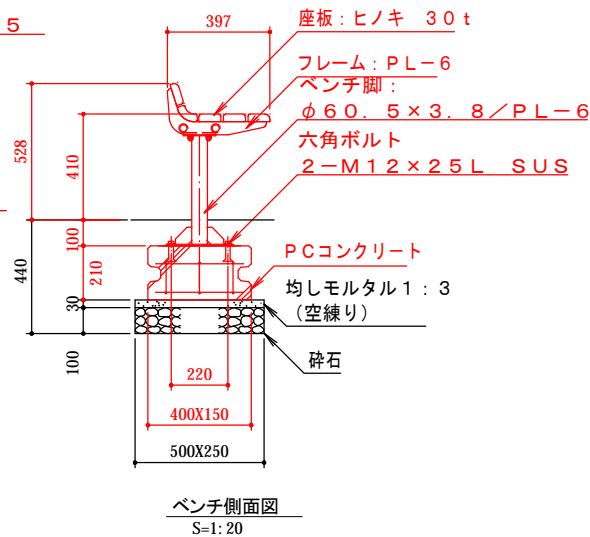
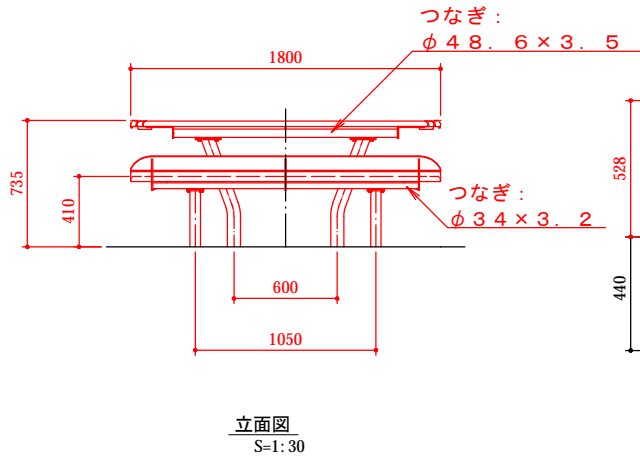
仕様

- ・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP・SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SPLマークを表示する。

サービス施設工構造図
(テーブルベンチ) S=図示

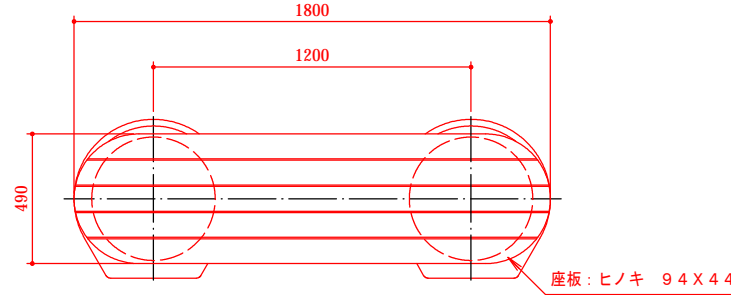


木材防腐処理は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チョコレート）塗装仕上げとする。
木材角面は、全てR面取りとする。
鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉末塗装（ダークグレー）仕上げとする。
アルミ合金鋳物は、AC3Aとし、ウレタン樹脂塗料塗装（ダークグレー）仕上げとする。
本製品は、一般社団法人 本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。

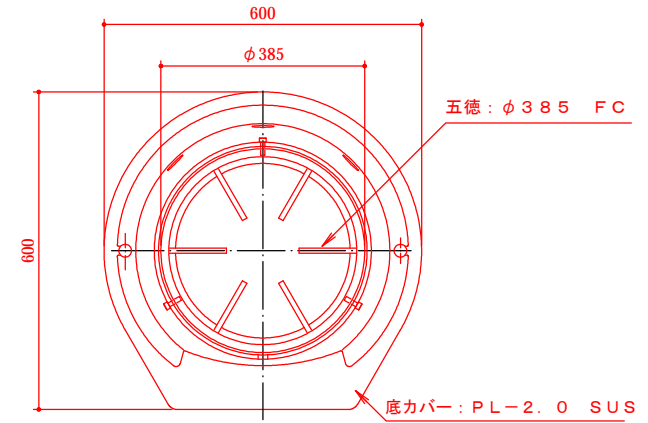


サービス施設工構造図

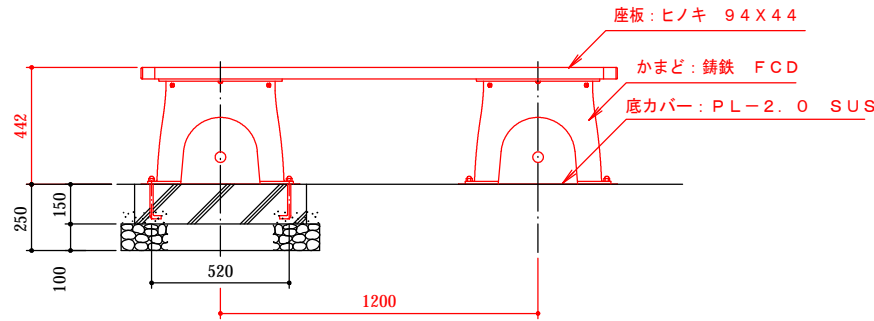
(かまどベンチ) S-図示



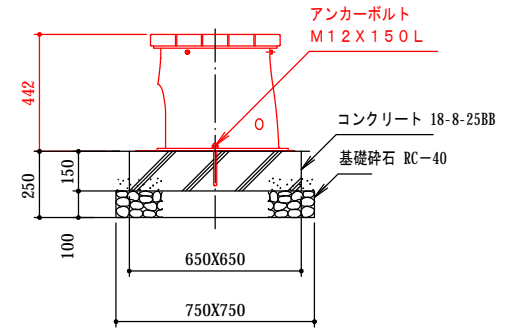
平面図
S=1:20



かまど使用時平面図
S=1:10



正面図
S=1:20



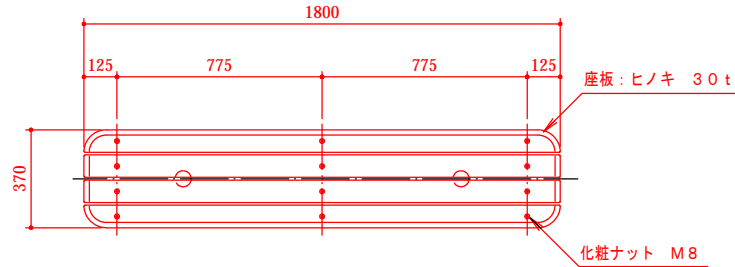
側面図
S=1:20

- ・木材は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
- ・木材は、ヒノキ(一等材)とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料(色: チョコレート) 塗装仕上げとする。
- ・木材角面は、全てR面取りとする。
- ・かまどは、鑄鉄FCDとし、ポリエステル粉体塗装(ダークグレー) 仕上げとする。
- ・五徳は、鑄鉄FCとし、ポリエステル粉体塗装(ダークグレー) 仕上げとする。
- ・底カバーは、ステンレス(SUS304)とし、2B材とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。

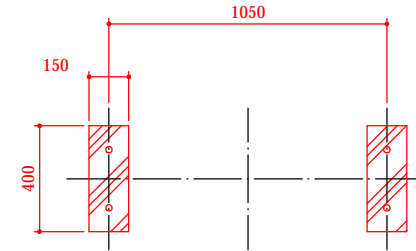
サービス施設工構造図

(ベンチ)

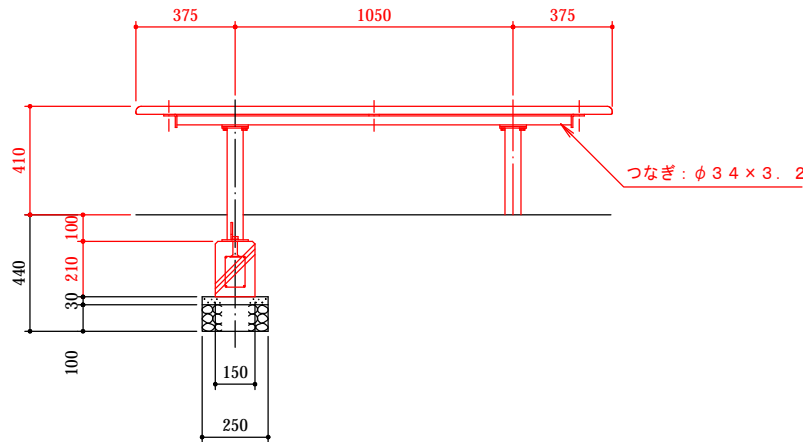
S=図示



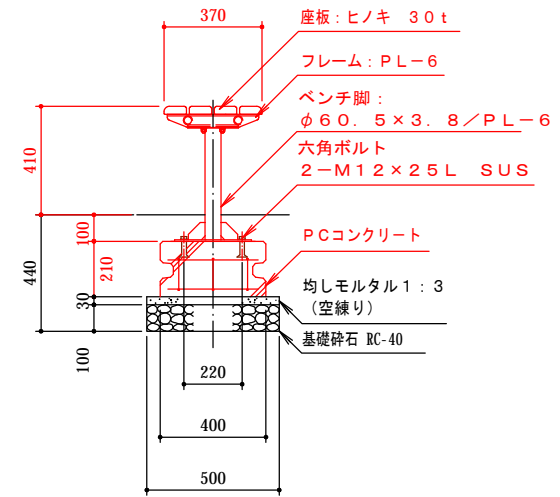
平面図
S=1:20



基礎伏図
S=1:20



正面図
S=1:20



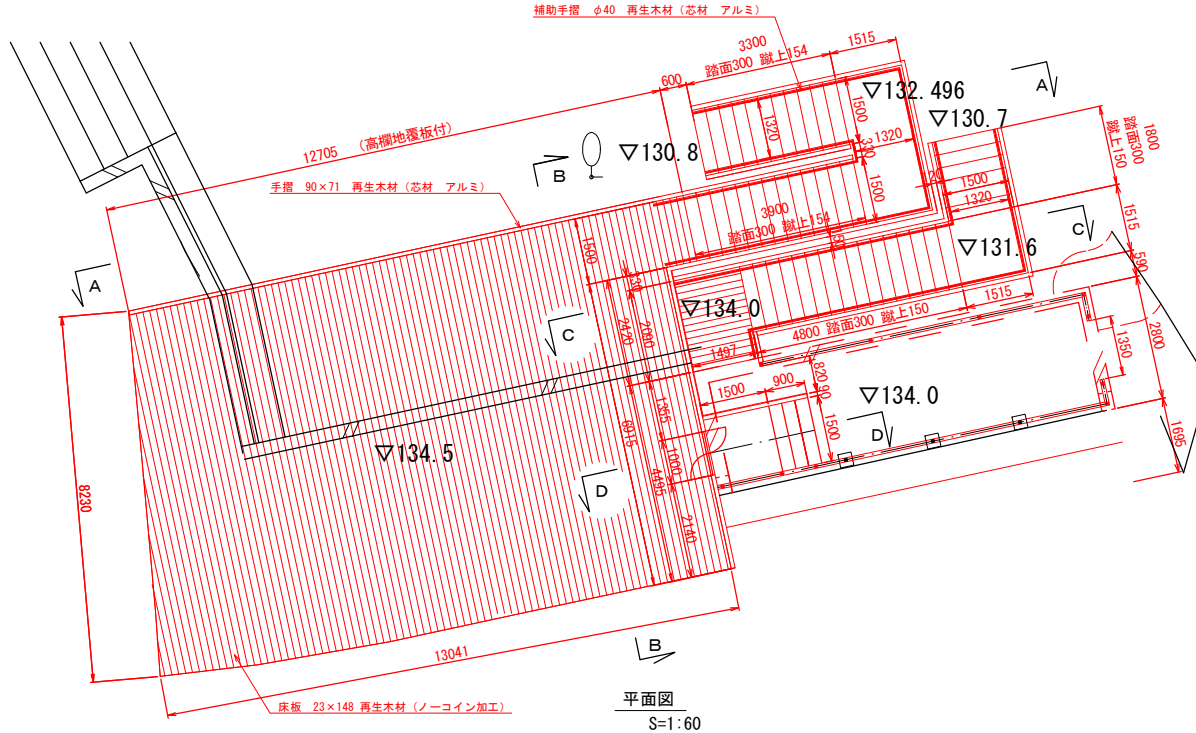
側面図
S=1:20

- ・木材は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
- ・木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チヨコレート）塗装仕上げとする。
- ・木材角面は、全てR面取りとする。
- ・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉末塗装（ホワイト）仕上げとする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- ・本製品は、ISO9001認証取得企業製品とする。

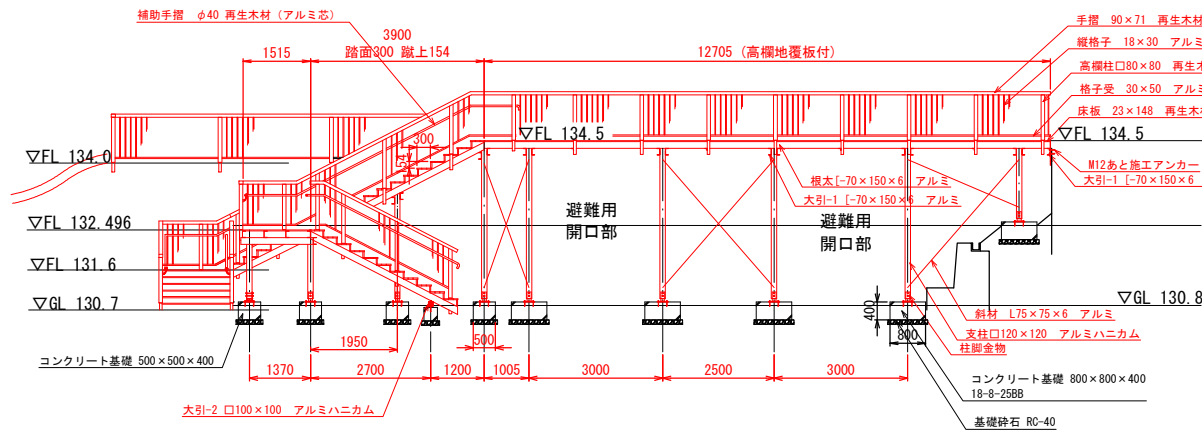
園路広場整備工構造図

(にぎわいデッキ(1))

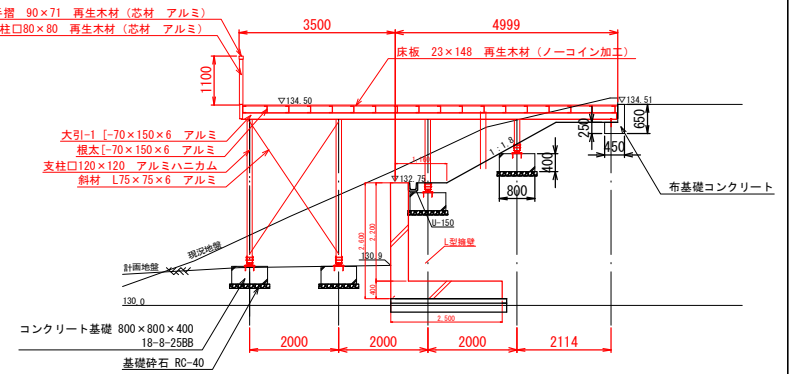
S=図示



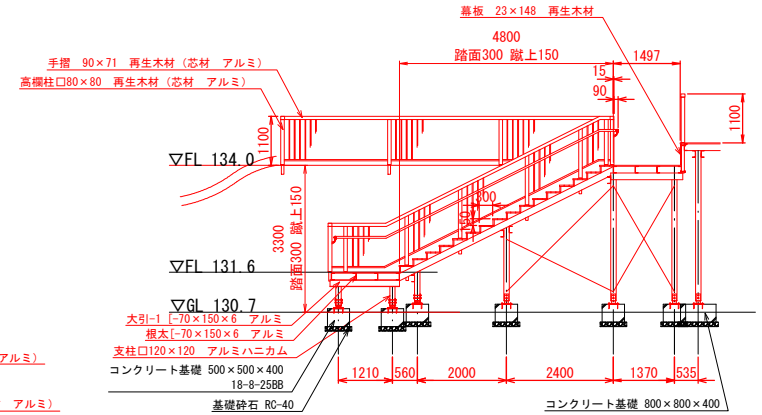
平面図
S=1:60



立面図(A-A)
S=1:60



断面図(B-B)
S=1:60



矢視図(C-C)
S=1:60

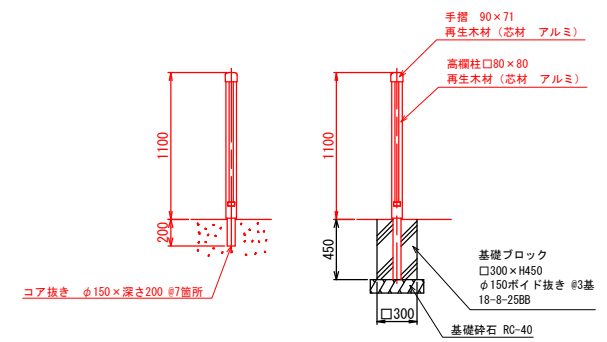
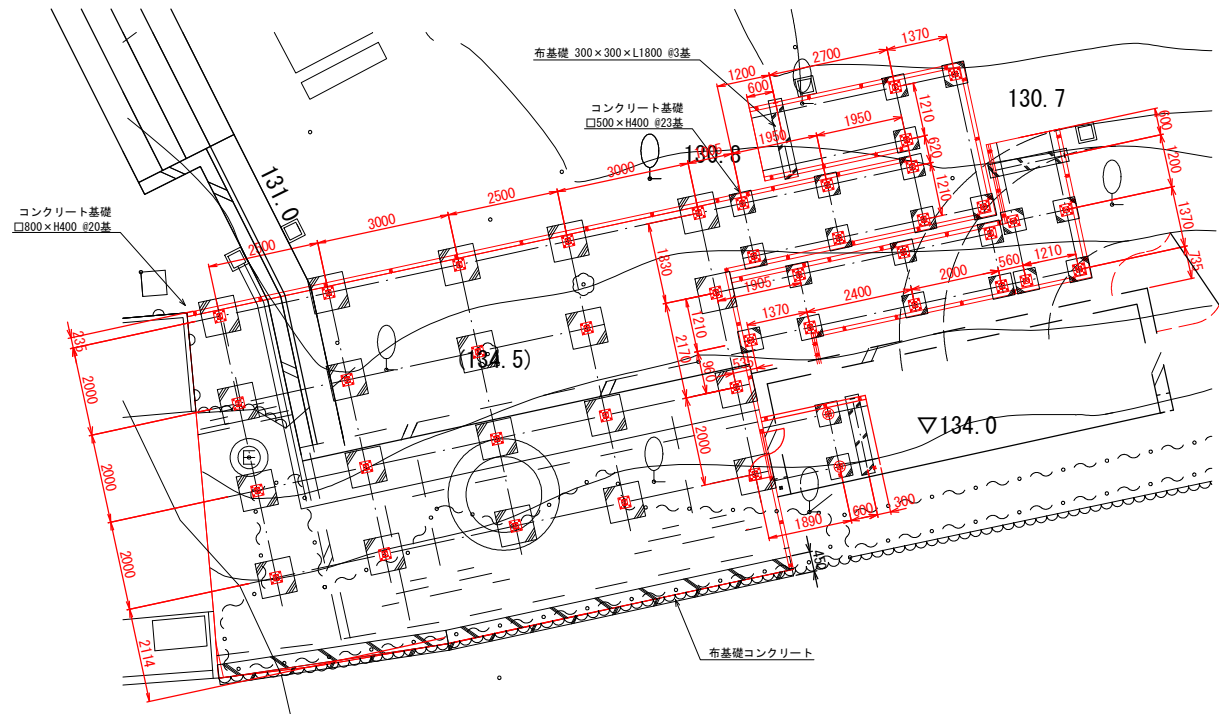
仕様

- 1) 再生木材は再生ポリエチレン45%、木粉比率50%以上の配合比率とする。
- 2) 再生木材の比量は1.3以上とする。
- 3) 構造材アルミ合金材質はA6063S-T5以上の強度を有するものとし、アルマイト処理(マットブラウン色)を施した材料とする。
- 4) 特記なき限りボルト、ワッシャー類は溶融亜鉛めっき仕上げ、若しくは同等以上とする。(ビス類を除く)
- 5) 図示された製品は賠償責任保険加入製品とする。
- 6) 基礎工法(PIN FOUNDATION工法)はMETIS登録実業技術(国土交通省新技術)とする。
- 7) 現地現況位置の地盤調査を実施して、監督員と協議の上、打込みピン長さを決定すること。
- 8) (社)日本公園施設業協会SP、SPL表示認定企業の製造製品とする
- 9) 支柱の長さは現況地盤により、変更することとする。

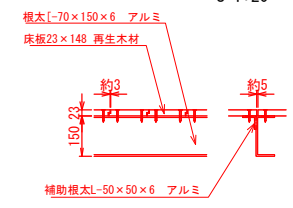
園路広場整備工構造図

(にぎわいデッキ(3))

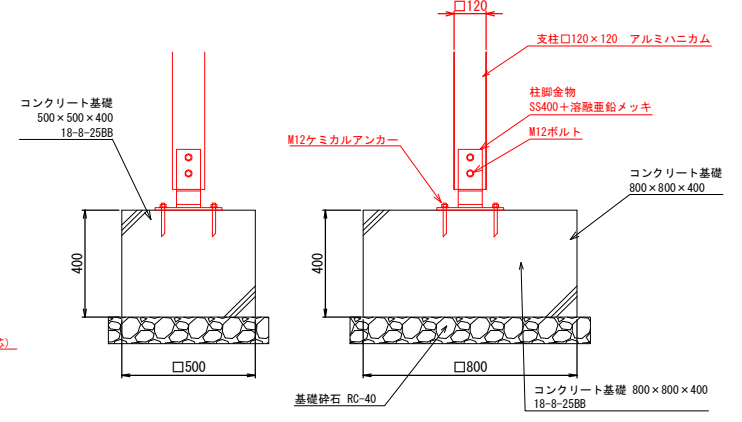
S=図示



高欄詳細図 S=1:20

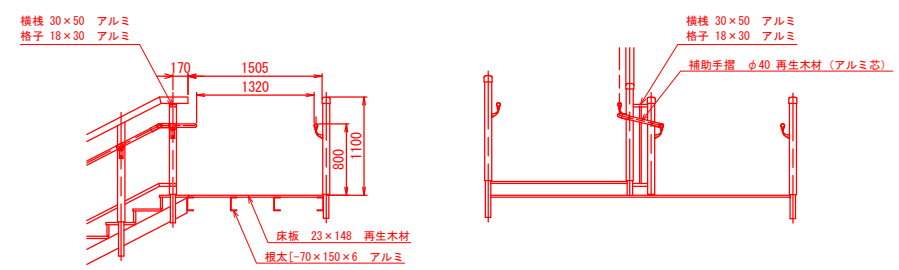


床版取付詳細図 S=1:10



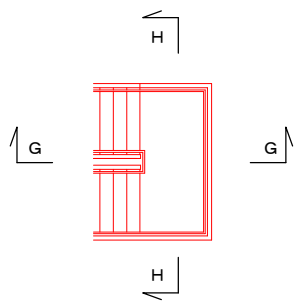
コンクリート基礎詳細図 S=1:10

基礎伏図 S=1:60



矢視図(H-H) S=1:30

矢視図(H-H) S=1:30

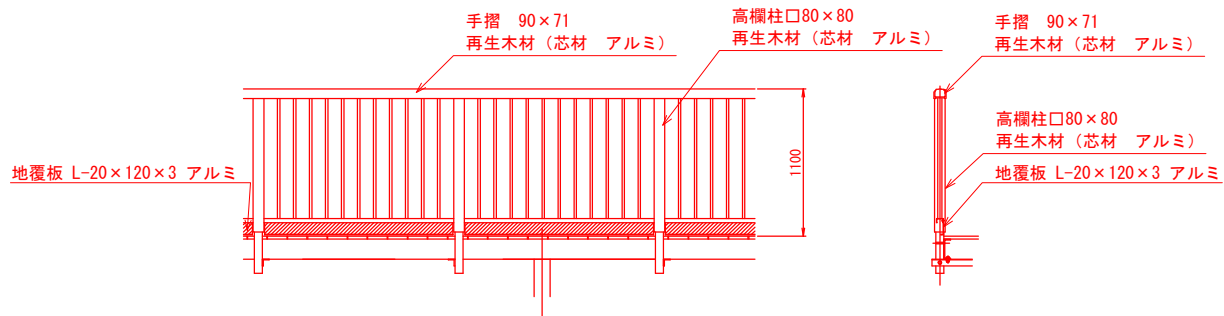


階段踊り場平面図 S=1:60

園路広場整備工構造図

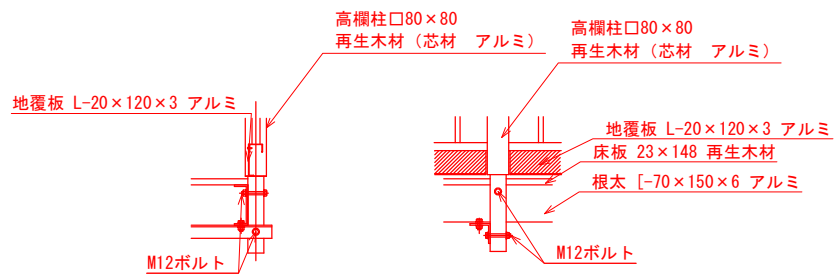
(にぎわいデッキ(4))

S=図示



高欄（地覆板）標準図

S=1:20



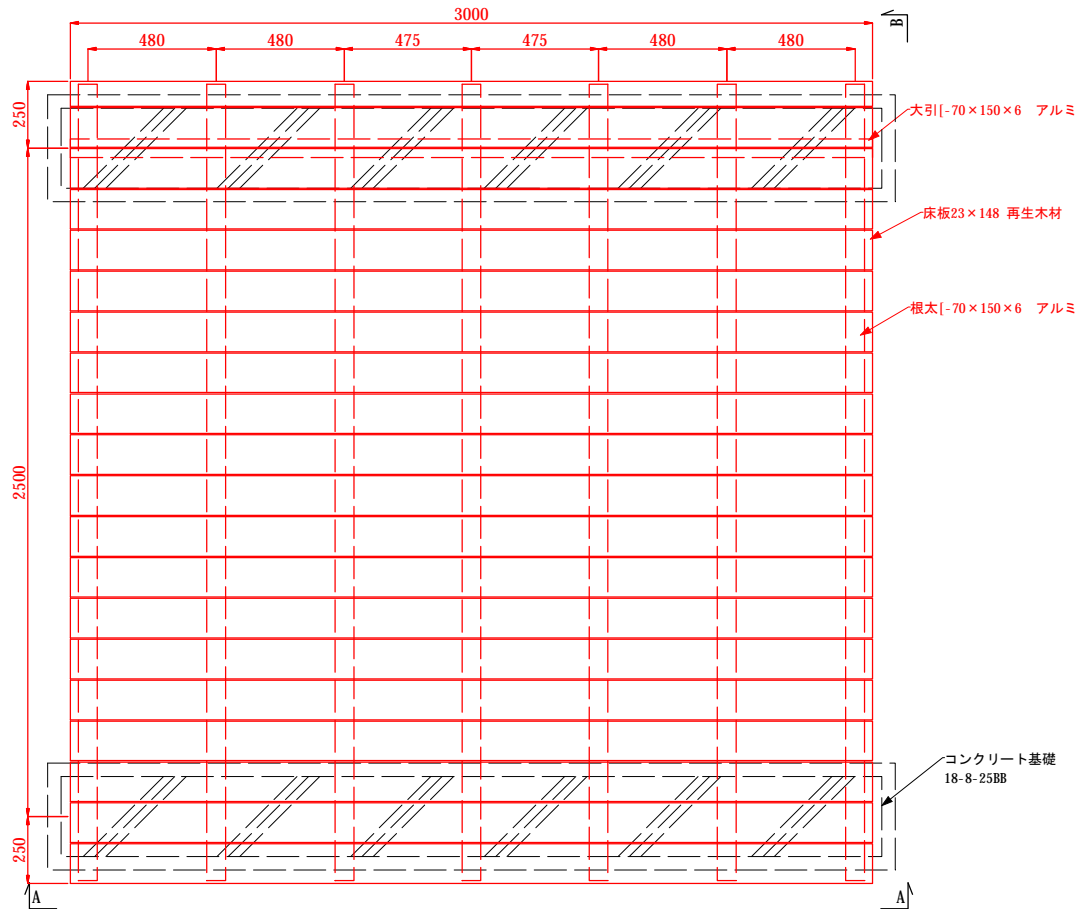
高欄・地覆板 取付詳細図

S=1:10

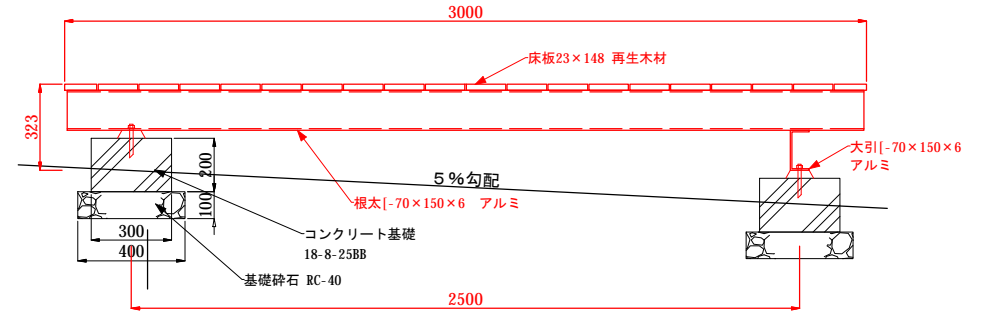
園路広場整備工構造図

(木製デッキ)

S=図示



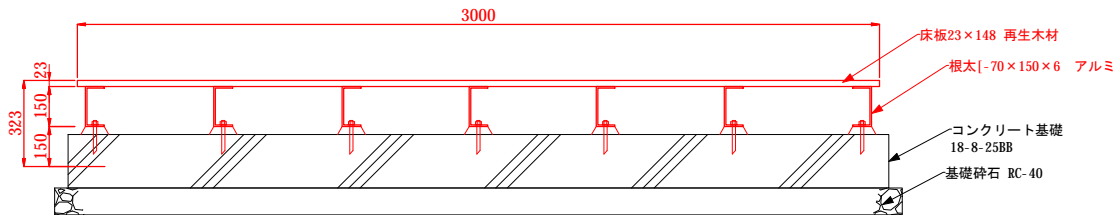
平面図
S=1:10



断面図 (B-B)
S=1:10

仕様

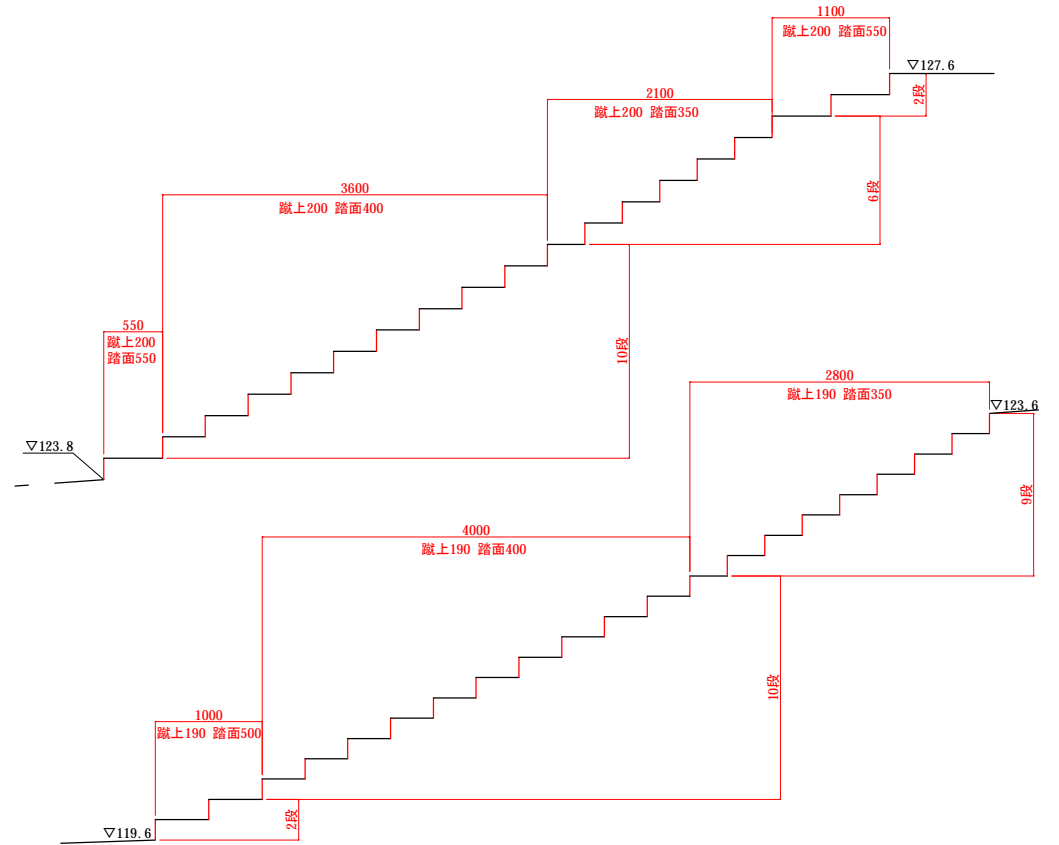
- 1) 再生木材は再生ポリエチレン45%、木粉比率50%以上の配合比率とする。
- 2) 再生木材の比率は1.3以上とする。
- 3) 構造材アルミ合金材質はA6063S-T5以上の強度を有するものとし、アルマイト処理(マットブラウン色)を施した材料とする。
- 4) 特記なき限りボルト、ワッシャー類は溶融亜鉛めっき仕上げ、若しくは同等以上とする。(ビス類を除く)
- 5) 打込みピンはSTK400 (一般構造用炭素鋼鋼管) + HDZ40 (亜鉛付着量)とする。
- 6) 柱脚プラケットはSS400 (一般構造用圧延鋼材) + HDZ55 + 塗装(19-20 Bこげ茶)とする。
- 7) 図示された製品は賠償責任保険加入製品とする。
- 8) (一社)日本公園施設業協会SP、SPI表示認定企業の製造製品とする。
- 9) 支柱の長さは現況地盤により、変更することとする。



断面図 (A-A)
S=1:10

園路広場整備工構造図
(擬木階段1) S-図示

擬木階段1
縦断面図 S=1:50

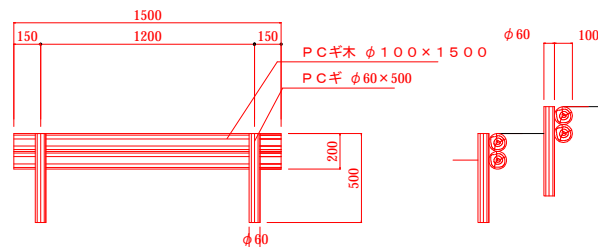


詳細図

S=1:30



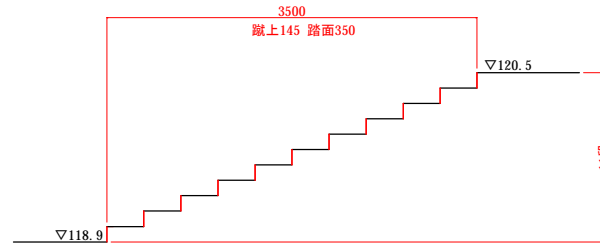
平面図



正面図

側面図

※ 表示寸法は標準寸法であり製作上収まり等により変更することがあります。

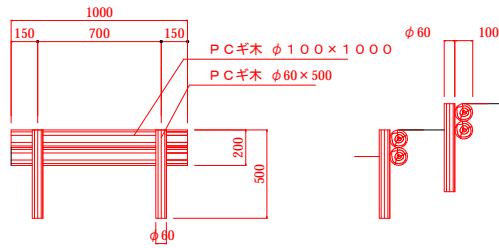


詳細図

S=1:30



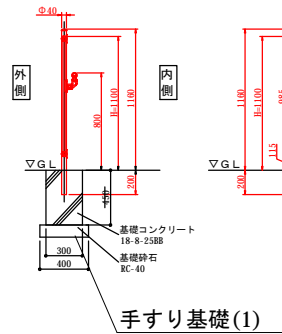
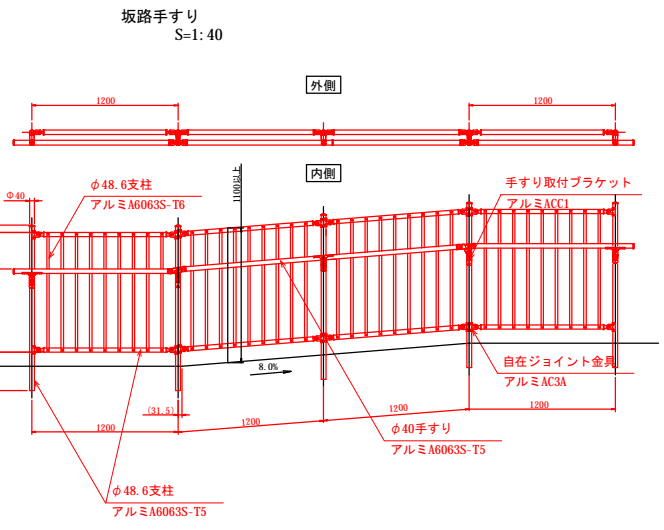
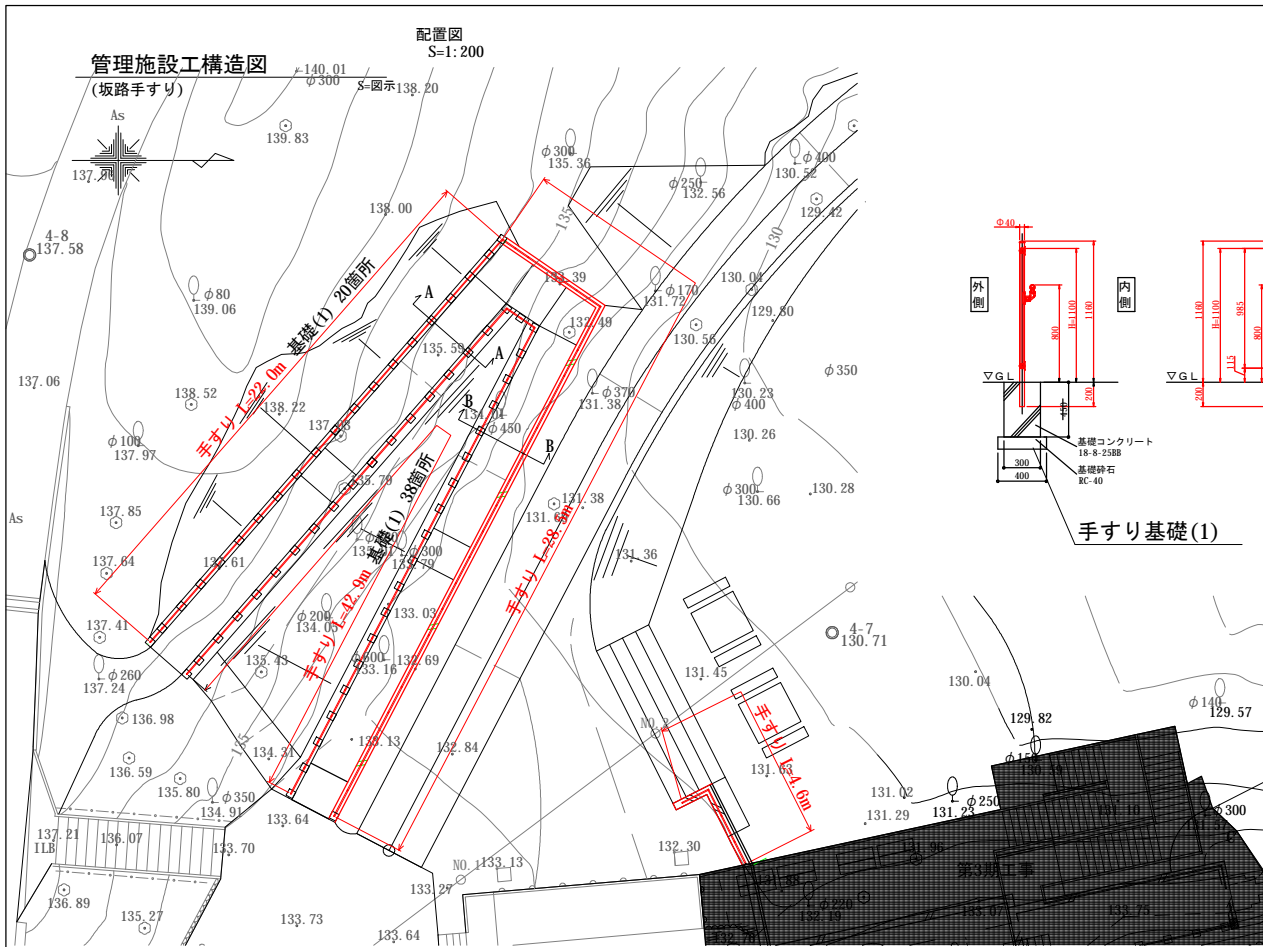
平面図



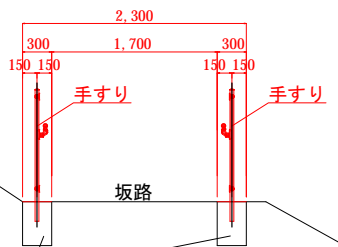
正面図

側面図

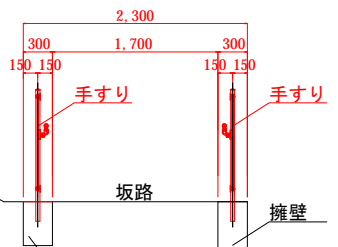
※ 表示寸法は標準寸法であり製作上収まり等により変更することがあります。



A-A断面図 S=1:50



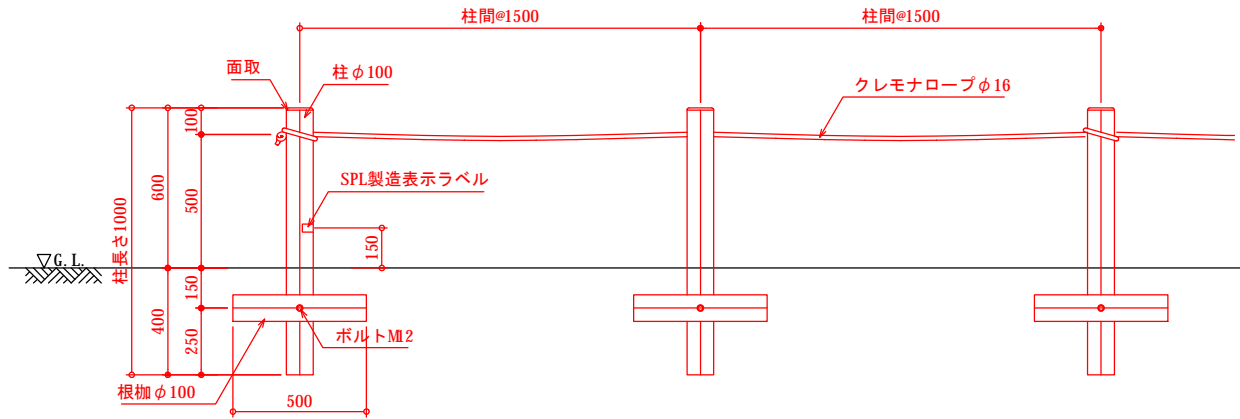
B-B断面図 S=1:50



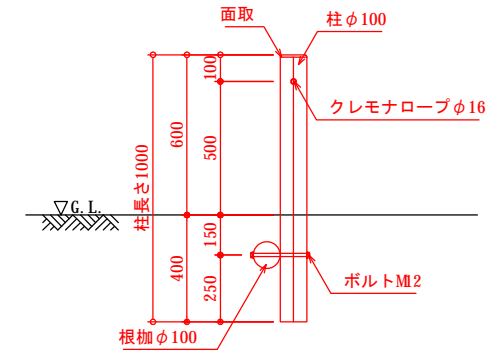
仕様

- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S:2014に準拠とする。
- ・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 SP・SPLマーク№表示認定企業の製品とする。

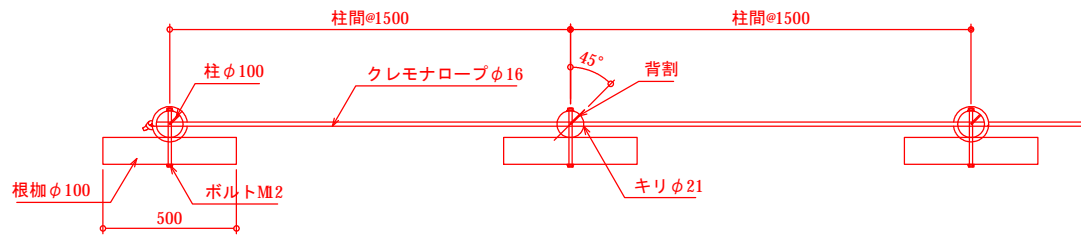
管理施設工構造図
(ロープ柵) S-図示



立面図
S=1:20



断面図
S=1:20



平面図
S=1:20

木材

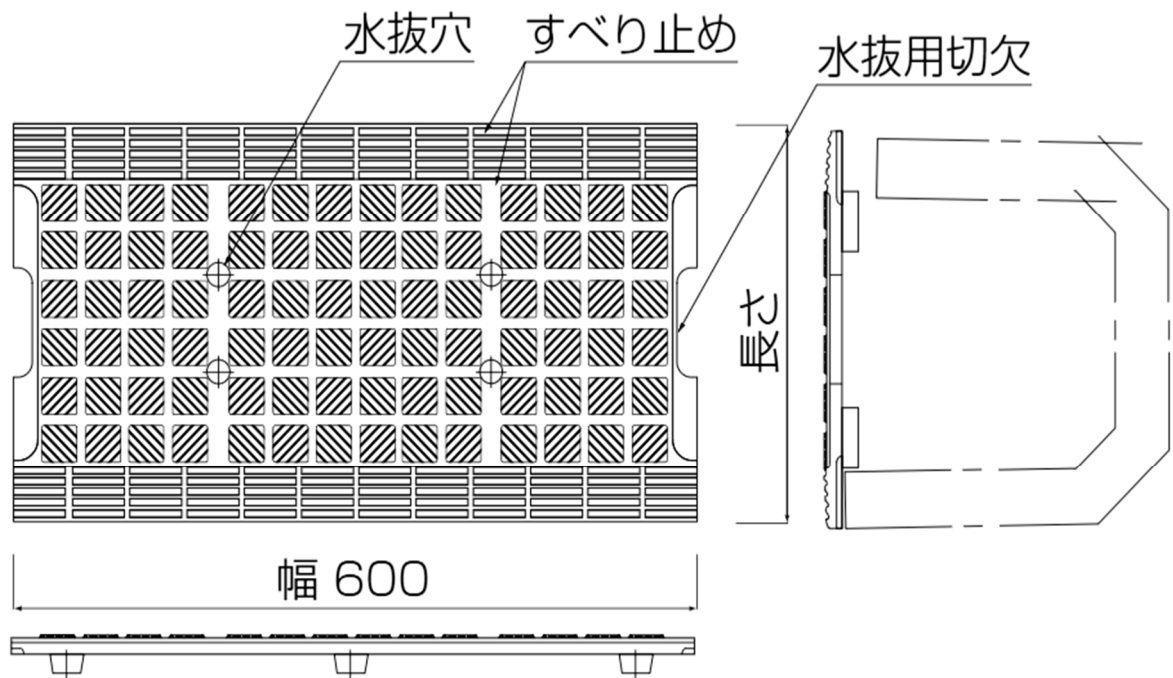
- ・木材は杉材（丸太材はD-リ-加工）を使用する。
- ・木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
- ・木材は全て加工後、AZNA ベツキ7HC030木材保存剤を加圧注入処理する。
- ・加圧注入方法はJIS A 9002による。
- ・本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
- ・木材の見え掛り部は面取を行なう。
- ・柱は背割を行なう。背割深さは木材の1/2までとする。
- ・柱の地際部は上下10cmの範囲にサンプレザ-08塗布とする。

ボルト類

- ・ボルトは図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。
- ・製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。
- ・本製品は（一社）日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。
- ・本製品は（一社）日本公園施設業協会のSP表示認定企業にて製作とする。
- ・SPL製造表示ラベルの表示を行う。（1ヶ所）

側溝蓋（U-180用）

ソフトカバーゴム蓋



高耐久ポーラスアスファルト（13）仕様

○標準粒度範囲

混合物の種類		高耐久ポーラスアスファルト（13）
最大粒径		13mm
百分率過 （質量 %量 ）	19.0mm	100
	13.2mm	90～100
	4.75mm	11～35
	2.36mm	10～20
	75 μ m	3～7
アスファルト量		4.0～6.0

○混合物性状

項目		目標値
突固め回数		50回
空隙率	%	20%程度
安定度	KN	4.9以上
フロー値	1/100cm	20～40
カンタプロ損失量	%	20以下
残留安定度	%	85%以上（96時間水浸）
塑性変形輪数	回/mm	5,000回以上
透水係数	mm/sec	1×10^{-2} 以上
浸透水量	ml/15秒	1,000以上

○アスファルトの性状

項目		基準値
針入度	1/10mm	40以上
軟化点	℃	80以上
伸度（15℃）	cm	50以上
薄膜加熱質量変化率	%	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	65以上
タフネス	N・m	20以上
引火点	℃	260以上

護岸工構造図 S=1:50(A3)
(鋼矢板新設区間)

笠コンクリート	ハットブロック
コンクリート被覆工	残存パネル

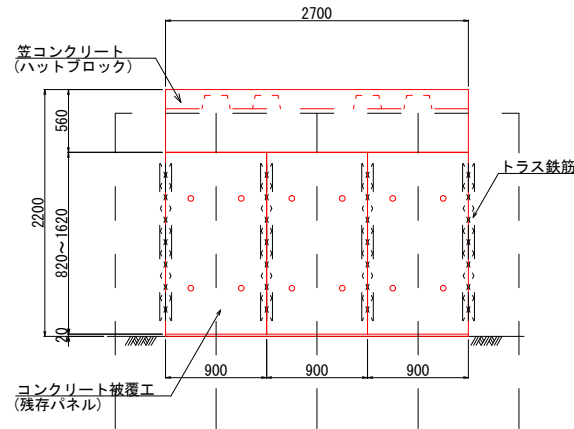
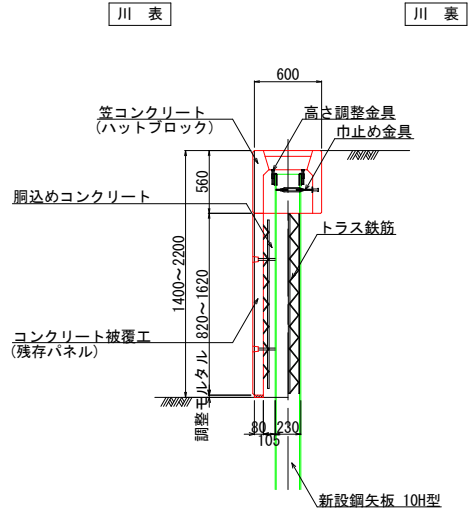
断面図

正面図

製品単体図

ハットブロック

残存パネル

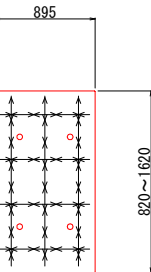
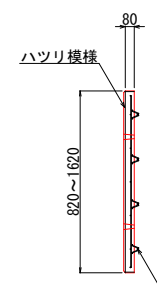
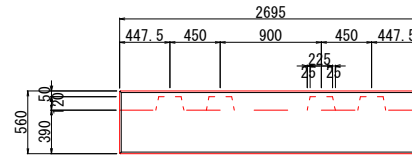
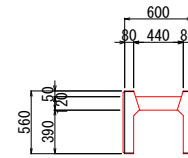


側面図

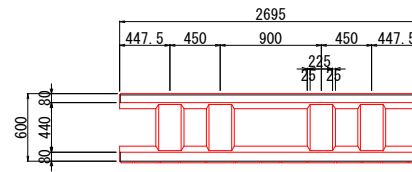
正面図

側面図

背面図



平面図



施工手順(案)

①セパレータ・トラス鉄筋溶接

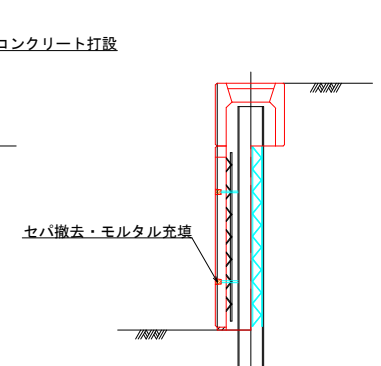
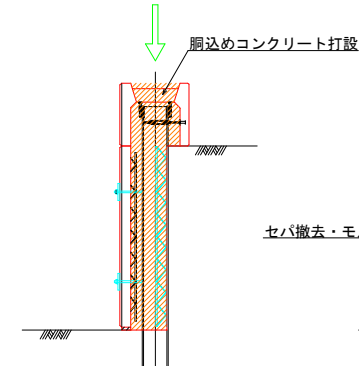
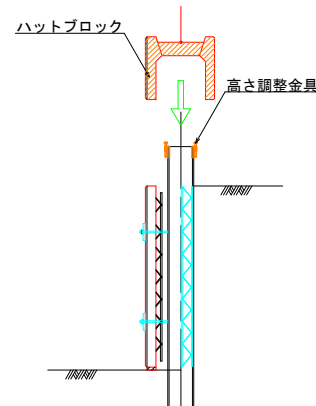
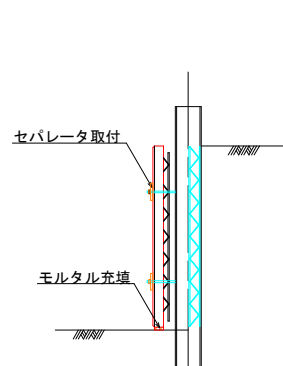
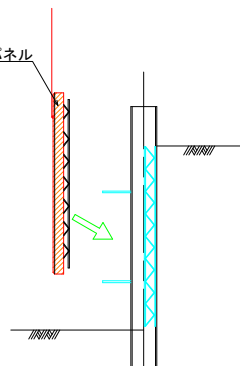
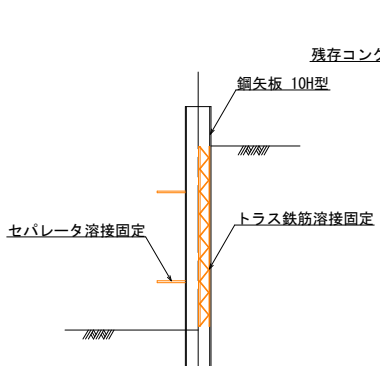
②残存パネル据付

③セパレータ取付

④ハットブロック据付

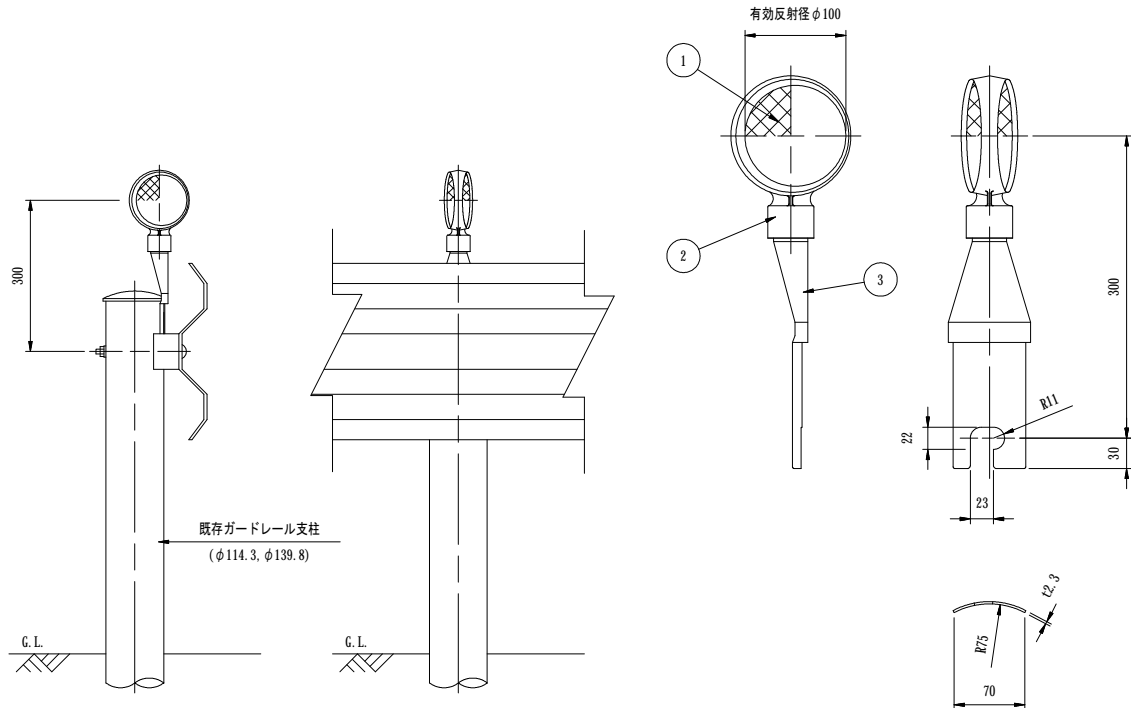
⑤コンクリート打設

⑥モルタル充填 → 完成



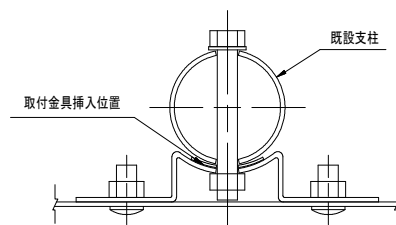
視線誘導標（デリネーター）

ガードレール添架式



設置図 S=1/10

詳細図 S=1/5



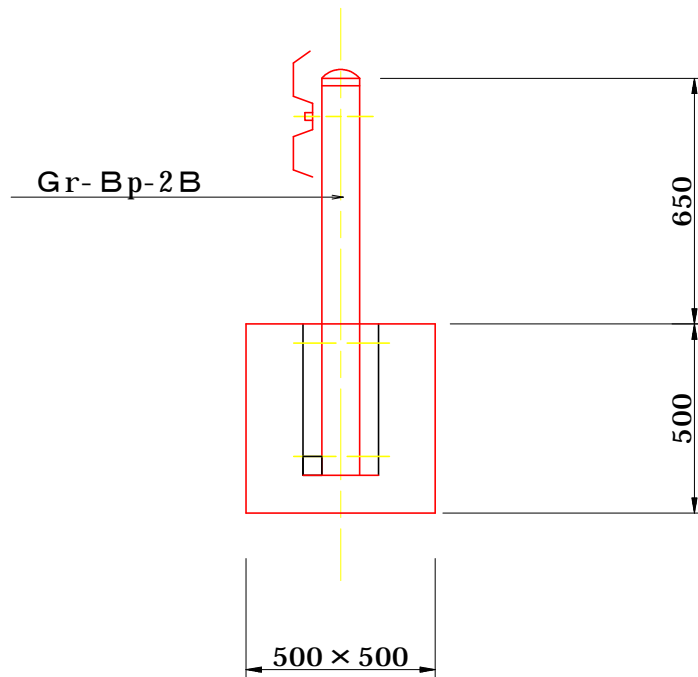
取付金具挿入位置 S=1/5

φ100 デリネーター				
品番	品名	数量	材質	備考
1	反射体	1(2)	ポリカーボネート樹脂	φ100
2	反射体取付枠	1	アルミニウム合金	—
3	取付金具	1	SPHC	溶融亜鉛めっき

※ 橙色反射体は、特殊蛍光プリズムレンズ使用

置き式ガードレール

(路側用－独立基礎) S=1:20



材料表

10m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
置き式ガードレール	独立基礎	m	10.00	